

水産業の動き

2016



船びき網漁業(26年47,954トン 全国1位)

食と緑の基本計画 2020 の施策体系

食と緑が支える
県民の豊かな暮らし

柱1 競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保

- (1) あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上
 - ア 幅広い分野の先端技術等を活用した技術の開発と普及
 - イ 幅広い需要に応える戦略的な品種の開発と普及
- (2) マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大
 - ア 多様なニーズに対応した生産・流通面の改善
 - イ 県内外に向けた戦略的な需要の拡大
 - ウ 農林水産物等の輸出の促進
- (3) 意欲ある人が活躍できる農業の実現
 - ア 多様な担い手の確保・育成
 - イ 優良農地の確保と集積・集約化の推進
 - ウ 農業生産基盤整備の推進
- (4) 資源を生かす林業の実現
 - ア 木材の安定供給
 - イ 生産を担う人材の確保・育成
 - ウ 林業生産基盤の充実
- (5) 持続可能で活力ある水産業の実現
 - ア 漁業生産基盤の機能強化
 - イ 持続的な漁業生産の確保
 - ウ 活力ある担い手の確保・育成
- (6) 食品の安全・安心の確保と環境への配慮
 - ア 食品の安全・安心の確保に向けた取組の強化
 - イ 環境に配慮した取組の推進

柱2 農林水産業への理解の促進と食料等の適切な消費の実践

- (1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進
 - ア 農林水産業への関心と理解を深める取組の推進
 - イ 幅広い世代に対する農林漁業体験の機会の提供
- (2) 食育の推進による健全な食生活の実践
 - ア 若い世代を中心とした生涯にわたる食育の推進
 - イ 食を通じた農林水産物や環境への理解と食文化の継承

柱3 自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり

- (1) 災害に強く安全で快適な生活環境の確保
 - ア 農山漁村地域の強靱化に向けた防災・減災対策の推進
 - イ 快適な生活環境の確保
- (2) 森林・農地・漁場の有する多面的機能の発揮
 - ア 多面的機能を適切に発揮させる森林・農地・漁場の保全・整備の推進
 - イ 地域で取り組む森林・農地・漁場の保全活動の推進
- (3) 農林水産業を核とした元気な地域づくり
 - ア 地域の特性を生かした農山漁村の活性化
 - イ 都市及び都市近郊における農業の振興

はじめに

伊勢湾・三河湾は、古来より魚介類の宝庫として知られ、我々の祖先も古くから、豊かな海の恵みを享受してきました。現在でも本県は、全体の漁業生産量こそ全国中位ではありますが、多くの魚種において全国有数の産地となっており、沿岸域を中心に特色ある水産業が営まれています。

水産業は、良質で多様な水産物の安定供給を通じて、健康的で豊かな日本型食生活に貢献しています。欧米の健康志向の高まりや、新興国の経済発展により、世界の食用水産物需要が年々増加を続けている今日、安全・安心な水産物を県民の食卓へ届ける本県水産業の役割はなお一層重要になってきています。

また、水産業は食料生産の面にとどまらず、水域への窒素・りんなどの栄養塩負荷を漁獲物という形で陸上に取り上げる水質浄化機能など、様々な多面的機能を有しており、広く県民の暮らしに貢献しています。

しかし、戦後の経済発展の中で水産業を取り巻く環境は大きく変わってまいりました。沿岸の各種開発に伴う干潟・藻場の喪失、赤潮や貧酸素水塊の発生による漁場生産力の低下、さらには流通形態の変化や消費者の魚離れ等による産地魚価の低迷や、高齢化、後継者不足等の諸問題が発生し、適切な対応が求められています。

こうした中、国では水産基本法に基づき策定している水産基本計画の見直しが平成24年3月に行われるなど、時代の流れを見据えて、水産行政も変化しつつあります。

本県におきましては、「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例」の理念の実現を図るため、平成23年度に策定した「食と緑の基本計画2015」に基づき、全ての県民に共通する生活者としての視点から、水産施策に取り組んでまいりました。そして、時代の流れに沿ってより新たな課題に対応するため、平成28年3月に「1. 競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保、2. 農林水産業への理解の促進と食料等の適切な消費の実践、3. 自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり」を「めざす姿」に掲げ、新たに「食と緑の基本計画2020」を策定したところです。

本書は、各種施策を効果的に実施するための基礎資料とするとともに、広く関係者に利用していただくため、県内水産業の動向を総合的にとりまとめたもので、昭和36年度から刊行を続けてまいり、平成22年度からは電子データで公表しています。

皆様に、本県水産業に対する理解を深めていただくとともに、水産業振興の一助としてご活用いただければ幸いです。

平成28年9月

愛知県農林水産部長

主な統計用語の説明

1 漁業経営体

(1) 海面

漁業及び養殖業を含みます。調査期日（最新数値は平成25年11月1日）前1年間に、利潤又は生活の資を得るため販売を目的として、水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯または事業所をいいます。（ただし、年間の海上作業従事日数が30日未満の個人経営体は除かれています。）経営体は、5年に1回の漁業センサスで調査されています。

(2) 内水面（養殖業）

調査期日（最新数値は平成25年11月1日）前1年間に、利潤又は生活の資を得るために内水面において販売を目的として計画的かつ持続的に投餌または施肥を行い、養殖用または放流用種苗の養成もしくは成魚を養成した世帯及び事業所をいいます。なお、調査対象は主要4魚種（ます類、あゆ、こい、うなぎ）のみです。5年に1回の漁業センサスで調査されています。

2 漁業就業者

海面漁業及び養殖業を含みます。調査期日（平成25年11月1日）現在満15歳以上で、過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した人をいいます。5年に1回の漁業センサスで調査されています。

3 生産量

(1) 海面

海面漁業漁獲量、海面養殖業収穫量の総称で、乗組員の船内食用、自家用、自家加工用、販売活餌等を含みます。全ての水産動植物の採捕時の原形重量であり、藻類は採捕時の生重量、貝類は殻付の重量です。

(2) 内水面漁業

河川・湖沼において採捕された水産動植物の量をいいます。本県の数値は、天然産種苗の採捕量及び自家用を含むほか、漁業権が設定されている全ての河川・湖沼における組合員・遊漁者の採捕量を含みます。一方、全国数値は18年以降、販売を目的として漁獲した数量となり、21年から、漁業権等が設定された年間漁獲量50t以上の河川及び湖沼並びに国の施策上毎年の調査が必要な河川及び湖沼（108河川21湖沼）に限定され、本県内の調査対象河川は主要河川（本県は4河川）のみです。なお、貝類の数値は内水面漁業生産統計調査の数値を用いています。

(3) 内水面養殖業

内水面養殖業経営体が食用を目的に収穫した量をいいます。自家用を含みますが種苗販売量は含めません。なお、調査対象は主要4魚種（ます類、あゆ、こい、うなぎ）のみです。

4 生産額

調査で得られた魚種別生産量に、魚種別産地市場価格を乗じて算出したものです。生産者の手取価格ではなく、販売手数料、輸送費等の販売諸経費を控除せず、また歩戻しを含めない、いわゆる産地市場価格です。

なお、内水面の生産額は15年の統計から調査対象外となったため、県水産課が生産量と全国平均単価により推計しています。

5 水産加工品（加工水産品）

水産動植物を主原料（50%以上）として製造された食用加工品及び生鮮冷凍水産物をいいます。なお、平成13年調査から生鮮冷凍水産物のうち海産ほ乳類及び塩蔵品等、並びに寒天、油脂、飼肥料の調査が中止されました。

記号

「－」：事実のないもの 「0」：単位に満たないもの 「…」：事実不詳又は調査を欠くもの
「×」：統計法の規定により、秘密保護上統計数値を公表しないもの

[水産業動向編]

目 次

1 愛知の水産業	○愛知県水産業の主要指標	1
	○県内産業のなかの水産業	2
	＜主要な問題の解説＞本県水産業の全国位置	3
2 漁業経営	○漁業経営体の動向	4
	＜主要な問題の解説＞漁業就業者数、新規漁業就業者数	5
	○漁業経済の動向	6
	＜主要な問題の解説＞漁労支出の構成	7
	○水産業協同組合の動向	8
	＜主要な問題の解説＞沿海漁協の経営状況	9
	○漁業金融の動向	10
	＜主要な問題の解説＞制度資金	11
	○漁船の動向	12
	＜主要な問題の解説＞27年の漁船海難の動向と対策、 海難の発生状況、海難防止のチェックポイント	13
	○漁港の動向	14
	＜主要な問題の解説＞漁港の整備、水産物供給基盤機能保全事業	15
3 漁場と資源	○漁場環境の動向	16
	＜主要な問題の解説＞貧酸素水塊と苦潮、 流油等の海上汚染事故、総量削減計画	17
	○漁業振興の動向	18
	＜主要な問題の解説＞漁村活性化総合対策事業	19
	○資源保護増大の動向	20
	＜主要な問題の解説＞栽培漁業センター、第7次栽培漁業基本計画	21
	○資源管理の動向	22
	＜主要な問題の解説＞水産資源の管理、資源管理計画・漁場改善計画	23
4 漁業生産	○漁業総生産の動向	24
	＜主要な問題の解説＞漁業生産量の推移、漁業生産額の推移	25
	○海面漁業生産の動向	26
	＜主要な問題の解説＞魚種別漁獲量、魚種別生産額	27
	○海面養殖生産の動向	28
	＜主要な問題の解説＞26年度のり養殖の概要	29
	○内水面生産の動向	30
	＜主要な問題の解説＞内水面漁業の振興策、内水面養殖業の振興策、 主要養殖業の動向	31

5	流通加工	○水産物流通の動向	32
		<主要な問題の解説>水産物の輸出入	33
		○水産物価格及び水産加工品の動向	34
		<主要な問題の解説>水産物の消費、水産物の自給率	35
6	技術の	○試験研究の動き	36
	開発・普及	<主要な問題の解説>	
		愛知県農林水産業の試験研究基本計画2020（水産業部門）	
		を策定しました	37
7	時の話題	○食と緑の基本計画2020	38・39
		○あさりとうなぎのブランド力強化の取組	40・41
		○もうかる漁業創設支援事業について	42・43
		○きんぎょの新品種を開発、そして新たな用途で特許取得！	44・45
	[資料編]		47～80

1 愛知の水産業

愛知県水産業の主要指標

区 分	単 位	愛 知 県			全 国		備 考
		21年 (2009)	26年 (2014)	26年/21年	26年 (2014)	26年/21年	
海面漁業経営体(A)	経営体	(H20)2,530	(H25)2,348	92.8	(H25)94,507	82.0	漁業センサス(*1)
海面個人経営体(B)	経営体	(H20)2,404	(H25)2,261	94.1	(H25)89,470	81.7	漁業センサス(*1)
(漁家率B/A)	%	95	96	—	95	—	
海面漁業世帯員数	人	(H20)9,663	(H25)8,704	90.1	(H25)284,948	77.5	漁業センサス(*1)
海面漁業就業者数	人	(H20)4,964	(H25)4,319	87.0	(H25)180,985	81.6	漁業センサス(*1)
内水面養殖経営体	経営体	(H20)341	(H25)290	85.0	(H25)3,129	83.1	漁業センサス(*1)
漁 船 総 隻 数	隻	5,992	5,222	87.1	257,045	86.0	漁船統計表
海 水 動 力 船	隻	5,617	4,965	88.4	242,629	86.1	漁船統計表
海 水 無 動 力 船	隻	50	47	94.0	4,274	87.3	漁船統計表
淡 水 動 力 船	隻	116	93	80.2	6,864	84.2	漁船統計表
淡 水 無 動 力 船	隻	209	117	56.0	3,278	80.7	漁船統計表
漁 業 総 生 産 量	t	98,035	102,396	104.4	4,768,189	87.8	全国値には捕鯨を含まない
海 面 漁 業	t	70,184	80,949	115.3	3,716,076	89.6	
海 面 養 殖 業	t	19,013	14,906	78.4	987,639	82.2	
(のり生産枚数)	千枚	495,053	382,303	77.2	7,105,725	80.6	
内 水 面 漁 業	t	272	319	117.3	30,603	73.4	愛知県は県水産課調べ
内 水 面 養 殖 業	t	8,566	6,222	72.6	33,871	82.0	きんぎよは含まない
き ん ぎ よ	千尾	13,290	9,195	69.2	—	—	県水産課調べ(*2)
漁 業 総 生 産 額	百万円	37,566	38,182	101.6	1,503,797	102.1	全国値には捕鯨を含む(*3)
海 面 漁 業	百万円	16,469	16,735	101.6	966,630	99.2	
海 面 養 殖 業	百万円	5,054	4,525	89.5	444,292	108.5	
内 水 面 漁 業	百万円	553	441	79.7	17,736	67.2	
内 水 面 養 殖 業	百万円	15,490	16,480	106.4	75,140	120.1	愛知県はきんぎよ(県水産課調べ)を含む(*4)

資料：特に注釈があるもの以外は農林水産統計（稼働量調査、海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査）

(*1)：19年から漁業センサス年を公表となり、20年と25年の数値で表記。

(*2)：前年12月1日から当該年11月30日までの集計値。すくい金魚含む。

(*3)：小数第1位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

(*4)：愛知県の内水面の生産額については、県水産課が全国平均単価を基に推計した。

県内産業のなかの水産業

●水産業の純生産額は124億円

あいちの県民経済計算によると、25年度の県内全産業の純生産額は24兆2,120億円で、前年度に比べ3.1%増加しました。

このうち水産業は約124億円で前年度に比べ17.2%減少し、全産業に占める割合は0.05%、第1次産業に占める割合は10.4%となっています（A図）。

●水産業就業者は全産業就業者の0.09%

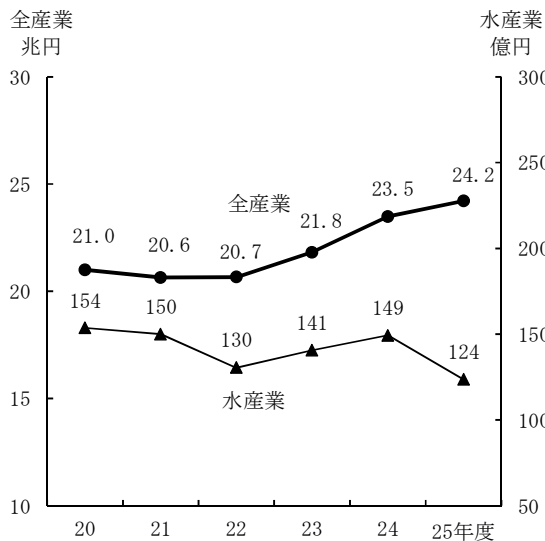
あいちの県民経済計算によると、25年度的全産業の就業者数（従業地ベース）は3,920千人で前年度に比べ0.4%増加していますが、第1次産業は66.5千人で前年度に比べ6.2%の減少となっています。

このうち水産業の就業者数は3.37千人で、前年度に比べ10.6%減少しており、水産業就業者数の全産業に占める割合は0.09%、第1次産業に占める割合は5.1%となっています（B図）。

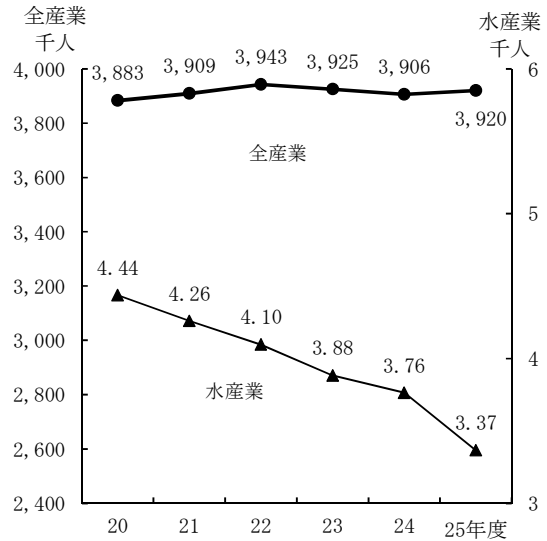
●水産業就業者1人当たりの純生産額は約367万円

25年度的全産業の就業者1人当たりの純生産額は前年度より2.7%増の618万円となっています。一方、水産業では前年度より7.4%減の367万円となっていますが、第1次産業全体の179万円の約2.1倍、農業の169万円の約2.2倍となっています（C図）。

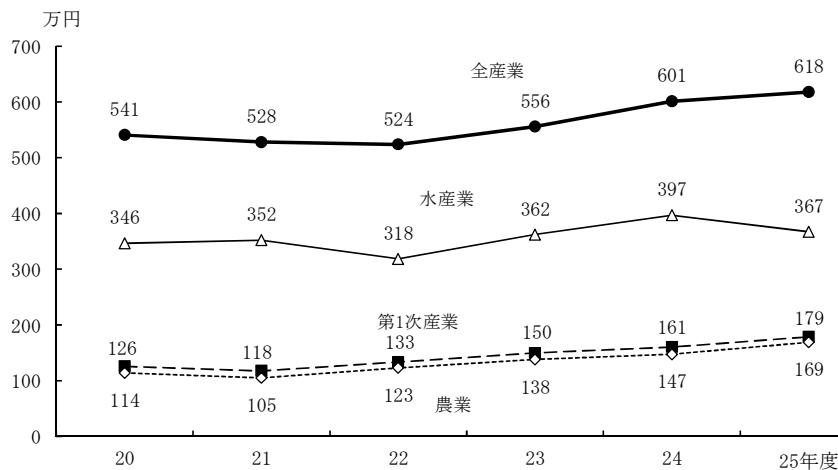
A図 純生産額の推移



B図 就業者数の推移



C図 就業者1人当たりの純生産額の推移



(資料 あいちの県民経済計算 (A~C図))

〈主要な問題の解説〉

＜本県水産業の全国位置＞

海面漁業・養殖業において本県の生産量は全国で第15位（秘匿値のある都県を除く）、生産額は第20位（秘匿値のある都県を除く）となっていますが（A表）、多くの漁業種類や魚種で上位を占めているのが特色です。

漁業種類別では、小型底びき網、船びき網、採貝・採藻等が盛んで、これらの生産量は全国的にもトップレベルにあります。

魚種別では、くろだい・へだい、がざみ類、あさり類、あゆ養殖が第1位、くるまえび、うなぎ養殖、きんぎょ養殖が第2位、しらす、あなご類、いかなごが第3位となっています。全国シェアでは、あさり類が54.3%と突出して高く、うなぎ養殖が27.9%、あゆ養殖が21.6%、いかなごが18.4%と高くなっています（B表）。

A表 愛知県水産業の全国順位（26年）

海面漁業・養殖業生産量*1		
順位	県名	(t)
全国		4,703,715
1位	北海道	1,242,340
2位	長崎	262,473
3位	宮城	250,235
4位	三重	208,185
5位	静岡	200,207
6位	青森	191,292
7位	岩手	146,073
8位	千葉	145,188
9位	広島	138,122
10位	愛媛	137,289
15位	愛知県	95,855

海面漁業・養殖業総生産額*2		
順位	県名	(億円)
全国		14,109
1位	北海道	3,085
2位	長崎	964
3位	愛媛	804
4位	鹿児島	799
5位	宮城	668
6位	静岡	532
7位	高知	495
8位	三重	484
9位	青森	478
10位	大分	430
20位	愛知県	213

*1 茨城県、東京都は秘匿値が含まれるため順位から除外した。

*2 山形県、茨城県、東京都は秘匿値が含まれるため順位から除外した。

（資料 海面漁業生産統計調査）

B表 主要な漁業種類・品目の全国順位（26年）

漁業種類・品目	1位	2位	3位	4位	5位	全国	本県シェア(%)
小型底びき網 (t)	北海道 368,205	愛知 12,328	愛媛 10,168	兵庫 8,747	島根 4,478	455,797	2.7%
船びき網 (t)	愛知 47,954	三重 36,287	兵庫 23,239	広島 13,208	静岡 10,730	211,113	22.7%
採貝・採藻 (t)	北海道 71,906	愛知 13,268	静岡 4,840	千葉 4,415	長崎 3,239	125,027	10.6%
かたくちいわし (t)	千葉 39,955	長崎 29,818	三重 27,616	愛知 27,386	愛媛 12,525	248,069	11.0%
しらす (t)	兵庫 10,739	静岡 9,586	愛知 8,936	大阪 3,587	愛媛 3,459	60,515	14.8%
このしろ (t)	熊本 1,471	千葉 815	大阪 466	神奈川 337	愛知(7位) 253	5,239	4.8%
にぎす類 (t)	石川 840	島根 498	新潟 419	愛知 377	兵庫 294	2,968	12.7%
あなご類 (t)	長崎 624	島根 459	愛知 456	宮城 449	愛媛 319	4,011	11.4%
くろだい・へだい (t)	愛知 409	広島 358	兵庫 266	愛媛 205	鹿児島 195	3,124	13.1%
すずき類 (t)	千葉 2,169	兵庫 815	神奈川 710	愛知 542	福岡 305	8,065	6.7%
いかなご (t)	兵庫 12,372	三重 8,180	愛知 6,230	宮城 3,582	大阪 1,129	33,813	18.4%
くるまえび (t)	愛媛 95	愛知 59	大分 50	福岡 45	香川 27	377	15.6%
がざみ類 (t)	愛知 341	愛媛 286	福岡 277	長崎 177	宮城 173	2,325	14.7%
あさり類 (t)	愛知 10,563	静岡 4,127	千葉 2,248	北海道 1,005	三重 446	19,449	54.3%
のり養殖(千枚)	佐賀 1,669,601	兵庫 1,372,422	福岡 1,169,648	熊本 856,097	愛知 382,303	7,105,725	5.4%
うなぎ養殖 (t)	鹿児島 6,838	愛知 4,918	宮崎 3,167	静岡 1,490	三重 292	17,627	27.9%
あゆ養殖 (t)	愛知 1,114	和歌山 992	岐阜 984	滋賀 466	栃木 325	5,163	21.6%
きんぎょ養殖(千尾)	奈良 65,957	愛知 9,195	-	-	-	-	-

注)きんぎょ養殖は県水産課調べ。すくい金魚を含む。

愛知県きんぎょは、25年12月1日から26年11月30日までの集計値のため、単純比較はできない。

（資料 海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査、県水産課調べ）

2 漁業経営

漁業経営体の動向

●海面漁業経営体は2,348経営体（2013年漁業センサス）

25年の海面漁業経営体数（養殖業を含む・年間の海上作業日数が30日未満のものを除く）は2,348経営体となっています。最も多いのが採貝・採藻の796経営体で33.9%を占め、以下小型底びき網492経営体（21.0%）、のり養殖233経営体（9.9%）が上位を占めています（A図）。

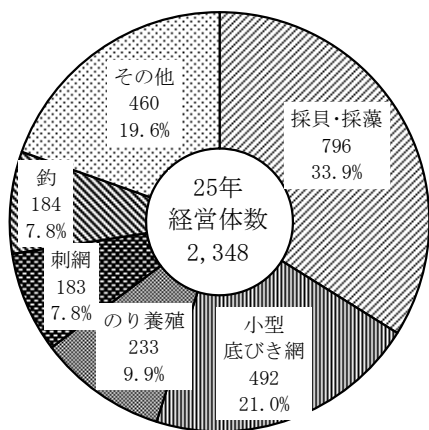
海面漁業経営体数は、5年前に比べ182経営体（7.2%）の減となっています（B図）。

（注：19年以降は漁業センサス年のみ公表となった。）

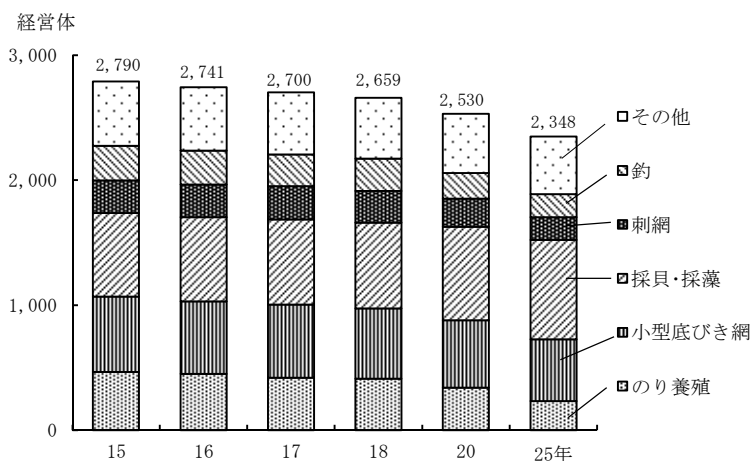
●内水面養殖業経営体数は285経営体（県水産課調べ）

26年のきんぎょを含めた内水面養殖業の経営体数は285経営体となり、5年前に比べ45経営体（13.6%）の減少となっています（C図、D図）。

A図 海面漁業・養殖業種類別経営体数の構成比



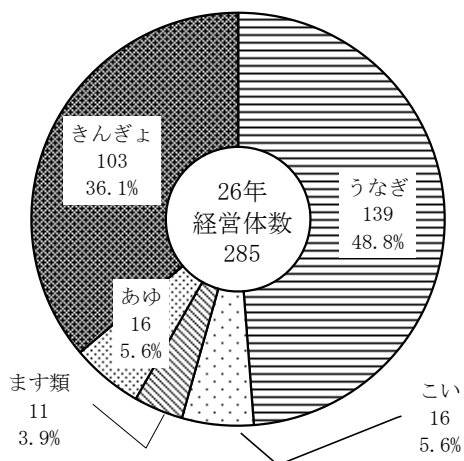
B図 海面漁業・養殖業種類別経営体数（30日未満を除く）の推移



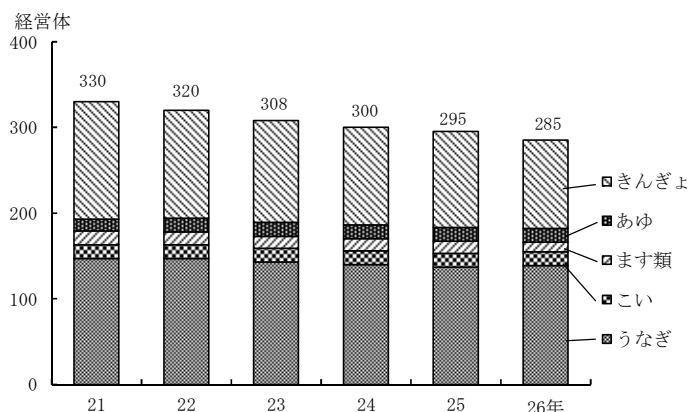
（資料 稼動量調査及び漁業センサス（A、B図））

19年以降は漁業センサス年のみ公表となった。

C図 内水面養殖業種類別経営体数の構成比



D図 内水面養殖業種類別経営体数の推移



（資料 県水産課調べ（C、D図））

＜主要な問題の解説＞

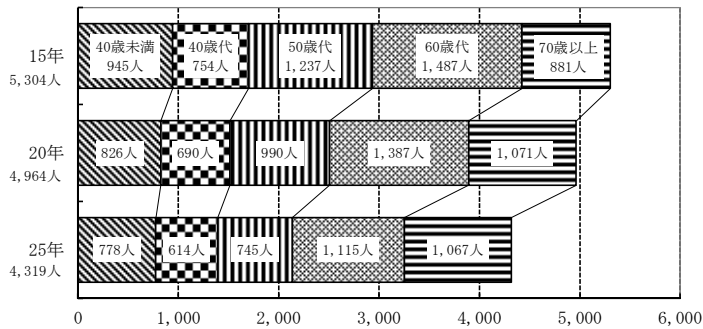
＜漁業就業者数＞

2013年（第13次）漁業センサスによると、25年の愛知県の海面漁業の就業者数は4,319人で、全国で第15位と10年前より順位は3つ上がりましたが、10年前の5,304人と比べると985人（18.6%）減少しています（A図）。

就業者の年齢別内訳を見ると、50歳以上の層が約7割を占め、中でも70歳以上の占める割合は1,067人で全体の24.7%を占めており、漁業就業者の高齢化が年々深刻となっています。

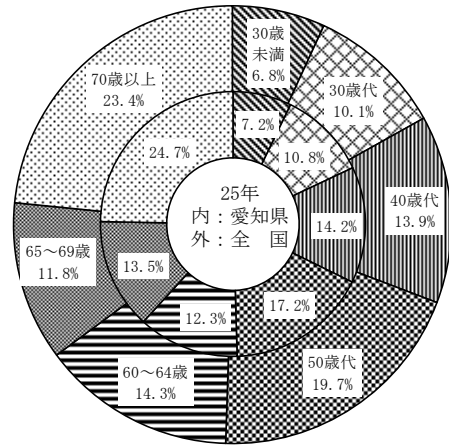
全国的にも漁業就業者の高齢化が進んでおり、本県も同様な傾向にあると言えます（B図）。

A図 海面漁業の就業者数の推移



（資料 漁業センサス（第11～13次））

B図 漁業就業者の年齢構成の比較



（資料 漁業センサス（第13次））

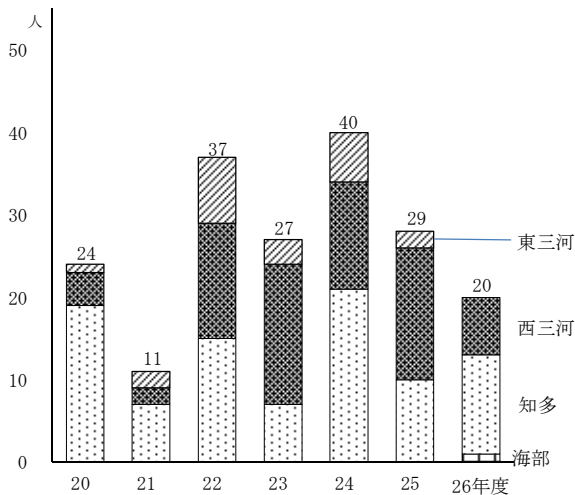
＜新規漁業就業者数＞

水産課では、後継者対策事業の基礎資料とするため、各漁業協同組合の協力により、新規漁業就業者の調査を3年度から行っています。

その結果によると、26年度は全県で20人の新規就業者がありました。地区別では知多地区が12人と60%を占めています（C図）。

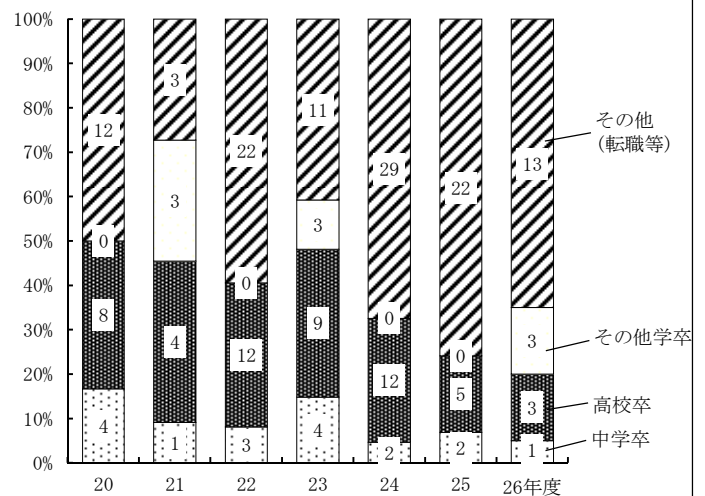
出身別では、新卒以外の転職等が13人と65%を占め、以下高校卒3人、その他学卒3人となっています（D図）。

C図 新規漁業就業者数の地区別推移



注）23年度から調査期間を変更している。

D図 新規漁業就業者の出身別構成比の推移



注）棒グラフ中の数値は人数を示す。

（資料 県水産課調べ）

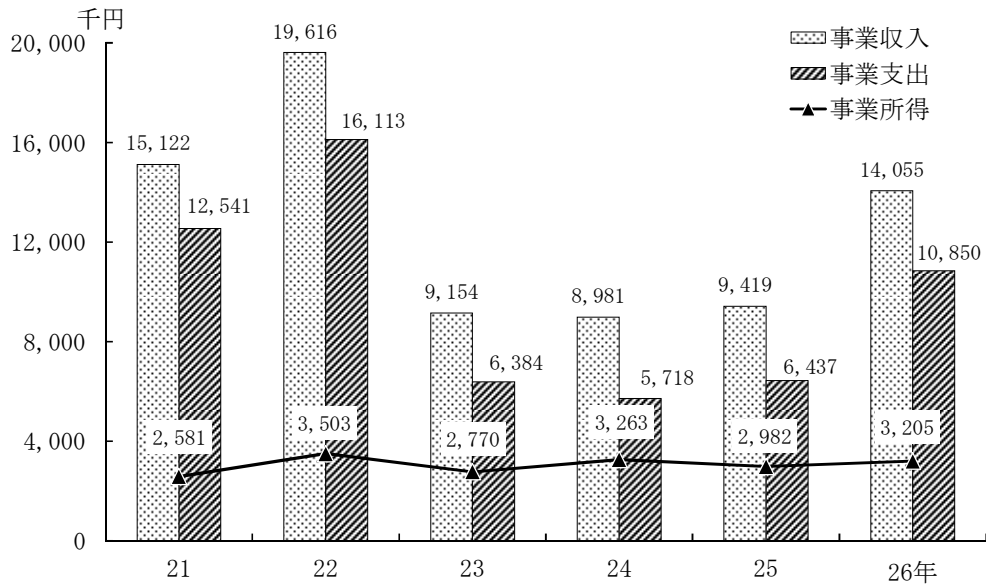
漁業経済の動向

●漁船漁業の事業所得は7.5%減、のり養殖業の事業所得は106.8%増

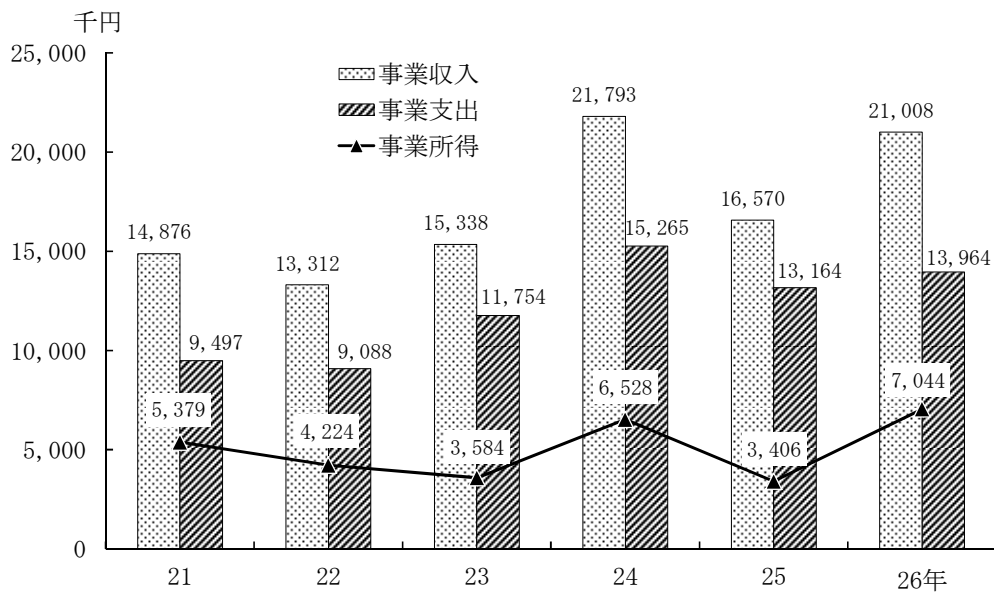
26年の漁業経営調査（標本調査）の結果によると、東海2県（愛知県と三重県）の漁船漁業における26年の事業所得は、3,205千円でした（A図）。

東海2県ののり養殖業における26年の事業所得は、7,044千円でした（B図）。

A図 事業収入・支出・所得の推移（漁船漁業）



B図 事業収入・支出・所得の推移（のり養殖業）



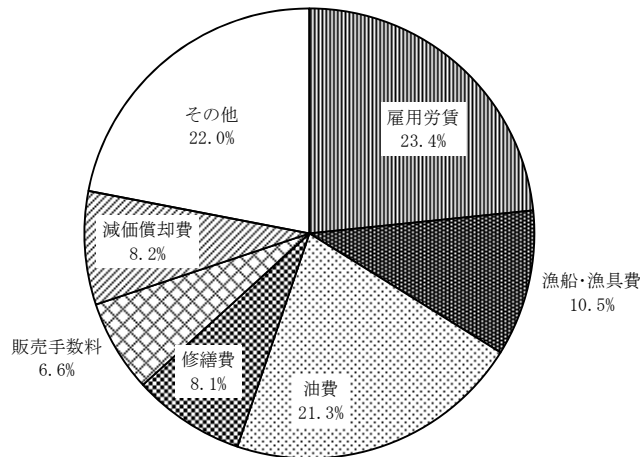
(資料 漁業経営調査報告 (A・B図))

〈主要な問題の解説〉

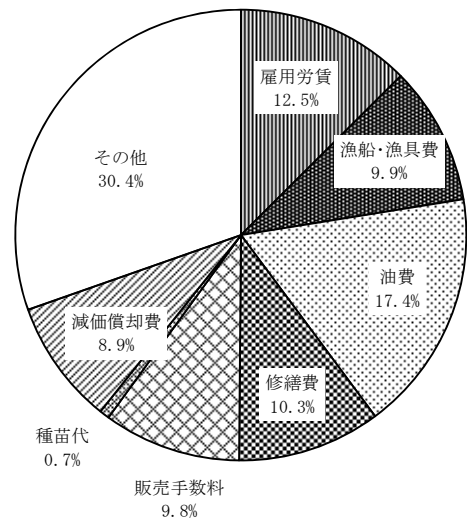
〈漁労支出の構成〉

26年の漁業経営調査の結果によると、漁労支出に占める項目別の構成は、東海2県の漁船漁業においては雇用労賃が最も多く23.4%、次いで油費21.3%、漁船・漁具費10.5%等となっています。一方、東海2県ののり養殖業では、油費が17.4%と最も多く、次いで雇用労賃12.5%、修繕費10.3%等となっています（A図、B図）。

A図 漁船漁業（個人経営体）の漁労支出構成比（26年）

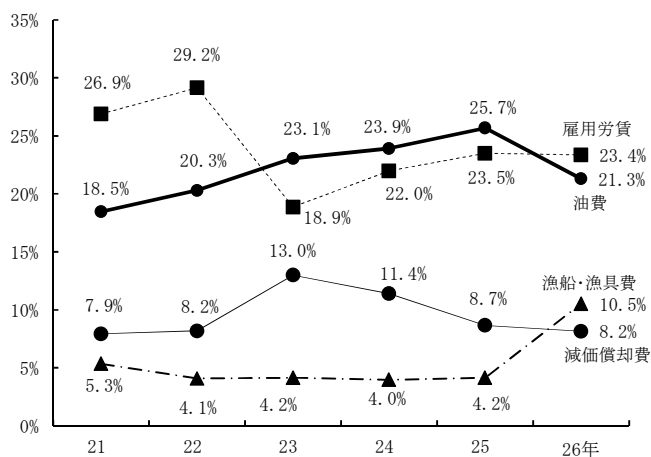


B図 のり養殖業（個人経営体）の漁労支出構成比（26年）

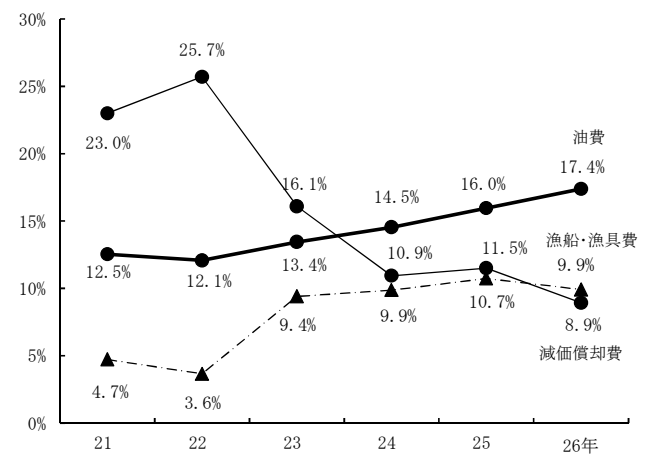


主な支出項目の構成比の推移を見ると、東海2県の漁船漁業では近年、油費の割合が高い傾向にありましたが、26年は雇用労賃の割合が最も高くなっています。また、東海2県ののり養殖業では、近年油費の割合が最も高くなっています（C、D図）。

C図 漁船漁業の主な支出項目の構成比推移



D図 のり養殖業の主な支出項目の構成比推移



（資料 漁業経営調査（A～D図））

水産業協同組合の動向

●組合数及び組合員数は、ともに減少傾向

水産業協同組合法（昭和 23 年法律第 242 号）に基づいて設立された組合は、昭和 24 年には 126 組合、35 年には最高の 134 組合に達しましたが、その後は名古屋港、衣浦港、三河港整備に伴う解散、あるいは、合併によって次第に減少し、平成 28 年 1 月 1 日現在の組合数は 55、連合会 3 となっています。

また、単位組合の組合員数は平成元年度（32,830 人）以降、毎年減少しており、26 年度には 16,949 人となっています。

表 組合数・組合員数の推移

年度	区分	沿海漁業 協同組合	内水面漁業 協同組合	業種別漁業 協同組合	水産加工業 協同組合	漁業生産組合	計	連 合 会	
20	組合数	33	19	9	1	4	66	3	
	組 合 員 数	正	4,420	6,642	734	21	27	11,844	113
		准	6,883	1,385	163	-	-	8,431	1
		計	11,303	8,027	897	21	27	20,275	114
21	組合数	23	19	8	1	3	54	3	
	組 合 員 数	正	4,101	6,413	732	20	29	11,295	91
		准	6,894	1,354	162	-	-	8,410	1
		計	10,995	7,767	894	20	29	19,705	92
22	組合数	23	19	8	1	3	54	3	
	組 合 員 数	正	3,621	6,123	699	18	29	10,490	91
		准	7,237	1,283	171	-	-	8,691	1
		計	10,858	7,406	870	18	29	19,181	92
23	組合数	23	19	8	1	5	56	3	
	組 合 員 数	正	3,480	5,913	679	17	57	10,146	91
		准	7,188	1,053	169	-	-	8,410	1
		計	10,668	6,966	848	17	57	18,556	92
24	組合数	23	19	8	1	5	56	3	
	組 合 員 数	正	3,394	5,740	606	16	53	9,809	92
		准	6,971	995	219	-	-	8,185	1
		計	10,365	6,735	825	16	53	17,994	93
25	組合数	23	19	8	1	5	56	3	
	組 合 員 数	正	3,330	5,523	594	13	55	9,515	92
		准	6,837	831	222	-	-	7,890	1
		計	10,167	6,354	816	13	55	17,405	93
26	組合数	23	19	8	-	5	55	3	
	組 合 員 数	正	3,218	5,368	567	-	53	9,206	91
		准	6,740	797	206	-	-	7,743	1
		計	9,958	6,165	773	-	53	16,949	92
27	組合数	23	19	8	-	5	55	3	

（27年度は28年1月1日現在）

（資料 県調べ）

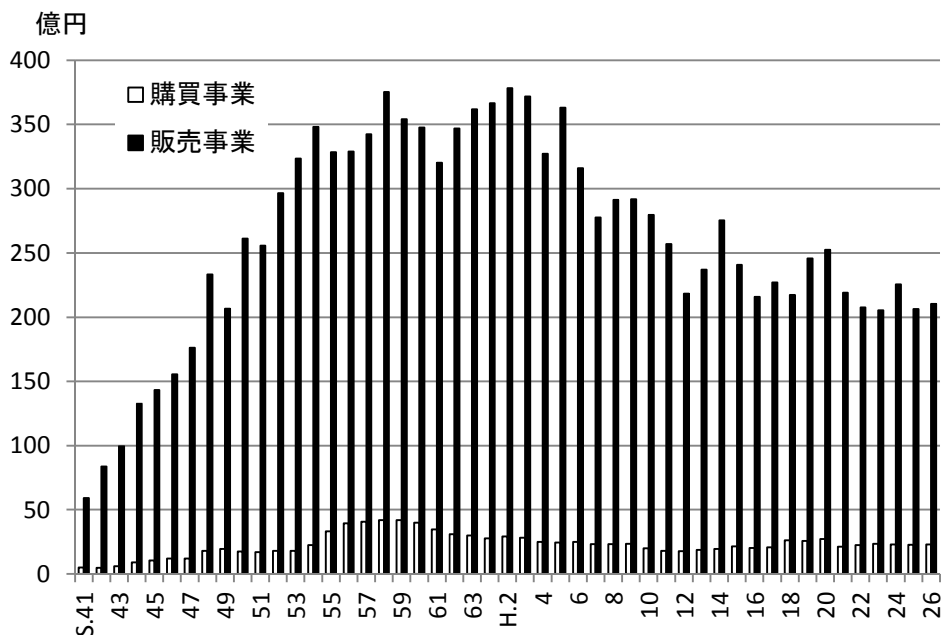
〈主要な問題の解説〉

〈沿海漁協の経営状況〉

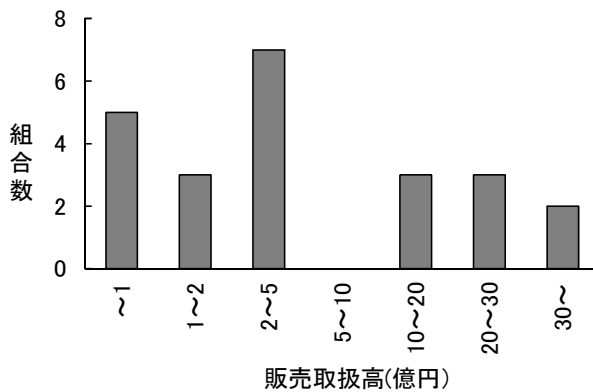
県内沿海漁協の主要事業である販売事業は、高度経済成長とともに増加しましたが、2年をピーク（販売事業取扱高：378億円）に減少傾向にあり、26年は210億円となっています（A図）。こうした中、組合当たりの販売事業取扱高は全国平均より低く、10億円未満の組合は全体の65%を占めています（B図）。

また、正組合員数が200人未満の小規模な組合が全体の74%を占め（C図）、事業管理費の大幅な削減が困難な状況にあり、更に、後継者不足や高齢化の進行、魚価の低迷、水産資源の減少や燃油価格の高騰など、漁協経営を取り巻く環境は厳しさを増していることから、早急に将来を見越した経営基盤の強化が必要となっています。

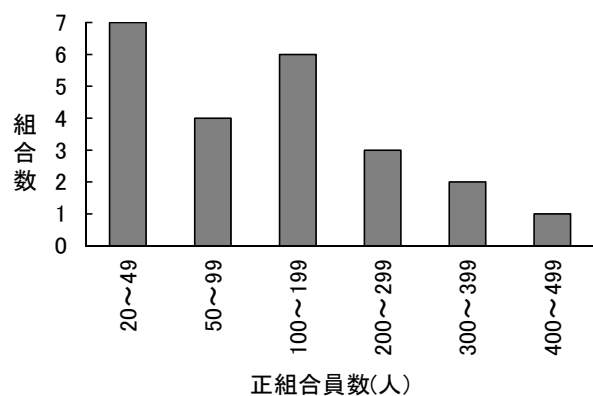
A図 販売事業取扱高の推移



B図 販売取扱高別の組合分布



C図 正組合員数別の組合分布



(資料 県調べ (A~C図))

漁業金融の動向

●漁協貯金は783億円に増加

26年度末における漁協貯金の残高は783億円で、前年度に比べて約0.64%増加しました（A図）。

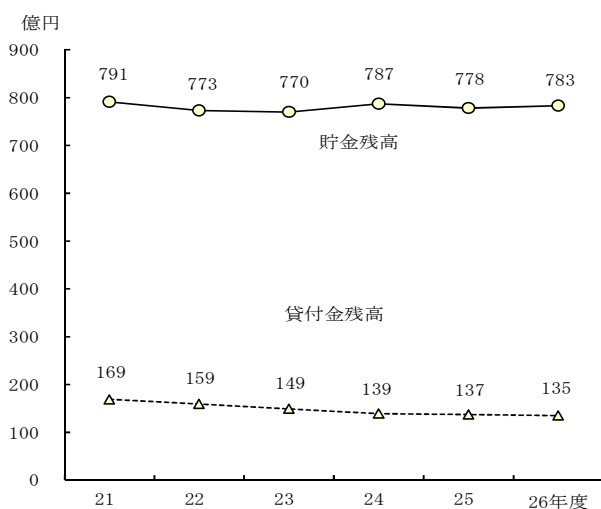
ペイオフの解禁に伴い、経営の健全性をより一層確保するため、漁協系統信用事業における「一県一信用事業責任体制」が、18年6月に構築されました。

●漁協貸付金残高は135億円に減少

26年度末における貸付残高（西三河漁協及び信漁連本支店等）は、135億円で前年度より減少しました（A図）。

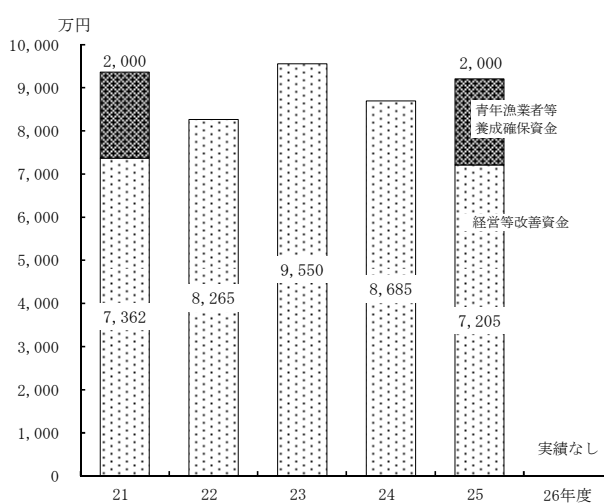
漁業金融においては、経営の効率化による財務基盤の強化が求められる中、漁業融資の相談機能確立等によって、漁業生産活動に必要な金融支援を適切に行うことが重要となっています。

A図 漁協における貯金及び貸付金残高の推移



(資料 県水産課調べ)

B図 沿岸漁業改善資金の推移



(資料 県水産課調べ)

C表 制度資金の概要

(28年 3月31日現在)

資金	区分	融資機関	利率		償還期限
			貸付利率	利子補給率	
漁業近代化資金		漁協、信漁連	年0.20% 【20t以上漁船】 年0.25%	年0.75 ～1.30% 【20t以上漁船】 年1.25%	5年以内～ 20年以内
漁業振興資金		信漁連	年1.5～1.9%	—	1年以内～ 5年以内
沿岸漁業改善資金		県（取扱窓口は 漁協、信漁連）	無利子		2年以内～ 10年以内

〈制度資金〉

○漁業近代化資金

漁業近代化資金は、資本整備の高度化、経営の近代化を図るため、漁業者等が漁船、漁具、養殖施設等の設備を取得する際、金融機関から一定の条件のもとで融資を受けた場合に、発生する利子の一部を県が利子補給する制度です。

主な融資対象としては、第1号資金の漁船資金（漁船建造、機関換装等）、第2号資金の施設資金（漁具倉庫、養殖池、水産物処理加工施設等）、第3号資金の機具資金、第4号資金の漁具資金、第5号資金の種苗購入資金があります。第2号資金は全国でも有数の生産量を誇るのり養殖における全自動のり製造機の導入資金等に、第5号資金は全国トップクラスの生産量を上げているうなぎ養殖のしらすうなぎ購入資金に利用されています。

本制度の融資承認枠は、昭和44年度の制度発足以来、漁業者等の旺盛な資金需要に対応し逐次拡大され、4年度には25億円となりました。4年度以降は需要の低下に伴って漸減していましたが、25年度は7.2億円、26年度は8.5億円となっており、近年資金需要が高まっています。

26年度の融資承認額は、53件、8億1,711万円（執行率96.1%）となり、25年度の7億1,935万円に比べ9,776万円の増加となりました。内訳は、第1号資金が31件3億7,276万円（45.6%）、第2号資金が9件7,576万円（9.3%）、第3号資金が3件741万円（0.9%）、第5号資金が9件1億1,590万円（14.2%）、共同利用施設が1件2億4,528万円（30.0%）でした。また、取扱い地区では、知多地区で26件2億1,517万円（26.3%）、西三河地区で21件2億4,500万円（30.0%）、東三河地区で1件8,700万円（10.6%）、本庁扱い5件2億6,994万円（33.0%）となっています。

○漁業振興資金

本制度は、漁業近代化資金制度で貸付対象とならない短期の運転資金等の資金需要に対応するため、5年度から制度化された資金です。系統金融機関預託方式により弾力性、自主性に富み、時代のニーズに対応した、漁業者等にとって借りやすく返しやすしい事業活動資金等の融通を行っています。

26年度の融資枠2億8,000万円に対して、融資実績は6件で1億9,450万円となっています。内訳は、漁協の運転資金等に2件1億7,000万円（87.4%）、漁業者、加工業者の運転資金等に4件2,450万円（12.6%）となっています。

○沿岸漁業改善資金

沿岸漁業従事者等が、漁業経営の健全な発展、漁業生産力の増大及び生活の改善を図ることを促進する目的で、無利子で貸付を行っています。

資金種類としては、大きく分類すると、経営等改善資金、生活改善資金、青年漁業者等養成確保資金があります。県内で需要が多い資金では、経営等改善資金のうち、操船作業省力化機器等設置資金（レーダー、GPS受信機等）、漁ろう作業省力化機器等設置資金（ラインホーラー、魚群探知機等）、燃料油消費節減機器等設置資金（省エネエンジンの設置等）、青年漁業者等養成確保資金のうち、漁業経営開始資金（青年漁業者等が沿岸漁業の経営を開始するのに必要な漁船等の購入資金等）があります。

26年度は国の新規事業整備（1/2以内助成）に伴って、沿岸漁業改善資金（無利子貸付）で要望の上がっていた案件が、その事業へ移行したため貸付実績はありませんでした。しかし、過去5年間（21年度から25年度）の貸付実績率は平均で93.9%となっており、26年度における貸付実績がない状況は、国の新規事業整備に伴う、特異的な状況だったと考えられます。

漁船の動向

●漁船隻数はやや減少

26年の海水動力漁船の隻数（漁船統計表、26年12月31日現在）は、やや減少し4,965隻となっています（A図）。

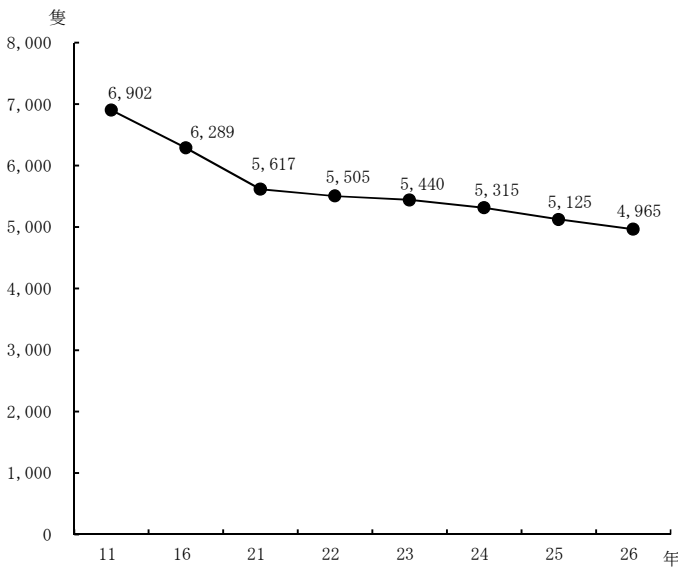
地区別の海水動力漁船の構成をみると、海部地区で0.9%（49隻）、知多地区で50.8%（2,522隻）、西三河地区で25.0%（1,239隻）、東三河地区で23.3%（1,155隻）であり、漁船漁業が盛んな南知多町を中心とした知多地区に5割以上が在籍しています（B図）。

トン数階層別にみると、1t未満が半数近くの46.9%（2,330隻）を占めており、5t未満では、85.4%（4,240隻）を占めています。10t以上は7.9%（394隻）となっています（C図）。

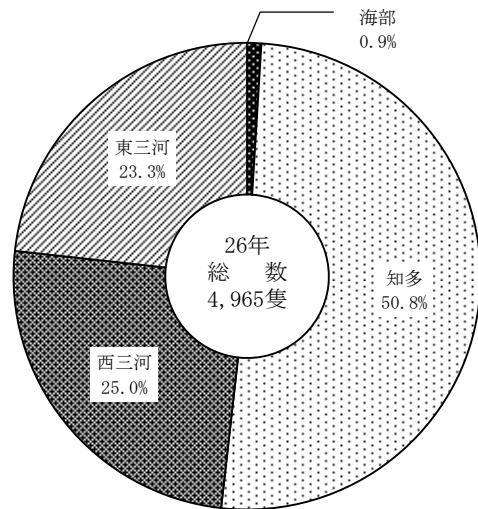
漁業種類別にみると、採介藻漁業が45.7%（2,270隻）を占めており、以下刺網漁業（15.4%、765隻）、底びき網（10.8%、534隻）、一本釣漁業（10.6%、527隻）の順となっています。（D図）。

1隻当たりの平均トン数及び平均馬力数は、それぞれ2.9t（前年2.9t）、98.4馬力(kw登録分含む）（前年93.4馬力）となっています。

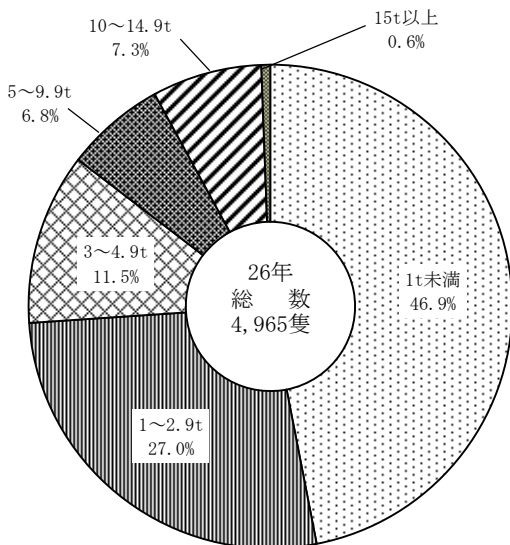
A図 海水動力漁船隻数の推移



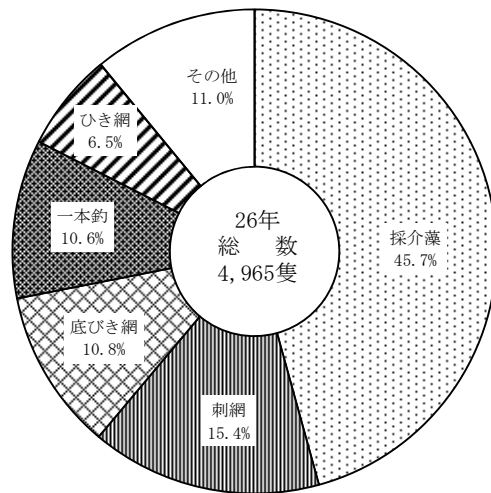
B図 地区別の海水動力漁船構成



C図 トン数階層別海水動力漁船隻数の構成



D図 漁業種類別海水動力漁船隻数の構成



（資料 漁船統計表（A～D図））

〈主要な問題の解説〉

〈27年の漁船海難の動向と対策〉

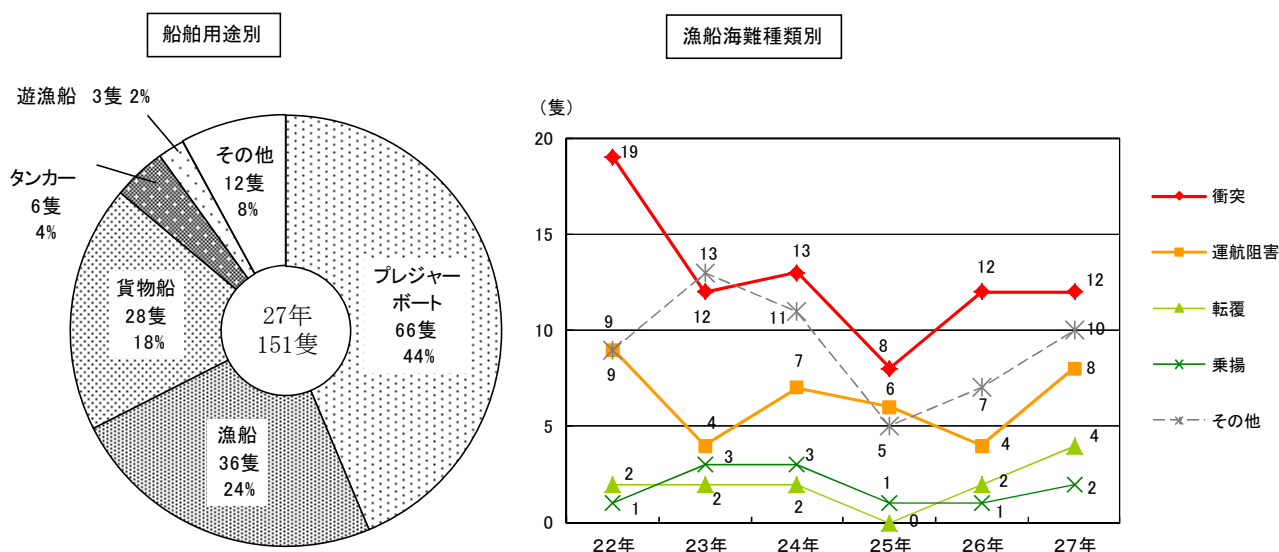
愛知・三重県の両沿岸及び沖合海域で27年1月1日から12月31日までの1年間に151隻の船舶事故が発生しています。そのうち漁船の事故は36隻と全体の24%で、プレジャーボートに次ぐ多さとなっています。

また、漁船の海難種類別で見ると、衝突が12隻と最も多く、次いでバッテリー過放電や燃料欠乏等からなる運航阻害が8隻と続いています。

県では、このような海難事故を防止するため、会議や講習会等の場で操業時の見張りの徹底やライフジャケットの着用等の海難防止策の普及啓発を行っています。また、漁業無線を使った安全操業や安全航行への呼びかけも実施しています。

今後も漁船の海難が1隻でも減るよう海難防止活動に努めていきます。

〈海難の発生状況〉



※第四管区海上保安本部交通部資料から作成

〈海難防止のチェックポイント〉

常に見張りをしていますか

- 双眼鏡、レーダーなどを活用見張っていますか
- 他の船舶、障害物、浅瀬が近くにありますか
- 今船がどこにいるか把握していますか

ルール、マナーを守っていますか

- 基本的な交通ルールを守り早めに避航
- 航路標識やブイに係留しない

しっかり発航前点検を行い、運航中も確認していますか

燃料

- 燃料は十分?
- こし器の目詰まりは?
- コックは?

エンジンオイル

- 規定量ありますか?
- エンジンからの漏れは?
- こまめな交換は?

冷却水

- 冷却水は規定量?
- こし器の目詰まりは?
- 海水取入弁は?

バッテリー

- 十分な電圧は?
- 端子の緩みは?
- バッテリー液は?

エンジン

- 運転音、排気ガスの温度、色、臭いは?
- 冷却水排出状況、温度及びオイル圧力は?
- 機関回転数は?

点検の一例は・・・

発航前点検

※詳しくは自船の取扱説明書等を確認ください。

最新の気象海象情報を入手していますか

- MICSなどで最新の天気予報を確認
- 風、雲、波などの変化に注意
- 仲間の船と情報交換

出航取り止めの勇気・早期帰航の決断!

衝突海難

■ 漁具のていれや漁獲物のしわけを行って見張りがおろそかになっていませんか

■ 早めに衝突をさけるようにしていますか

※ 海上保安庁作成のパンフレット『マリンセーフティガイド（漁船編）』より

漁 港 の 動 向

●漁港への陸揚量

本県の指定漁港は、第1種漁港（利用範囲が地元の漁業を主とするもの）が17港、第2種（利用が第1種より広く第3種に属さないもの）が13港、第3種（利用が全国的なもの）が3港、第4種（避難港等）が1港であり、このうち11港が県管理、23港が市町管理漁港です。

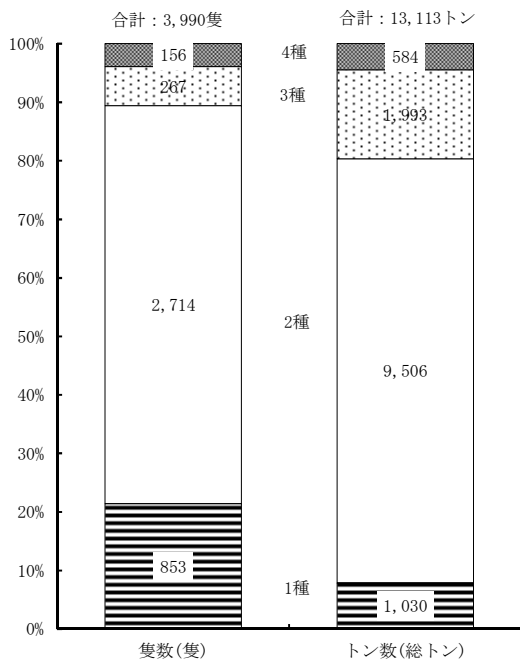
26年にこれらの漁港を根拠地とする登録漁船は、隻数が3,990隻、総トン数が13,113tでいずれも前年に比べてやや減少しました（A図、B図）。

なお、26年に漁港を利用した漁船は5,101隻、漁船以外の船舶は1,880隻となっています。

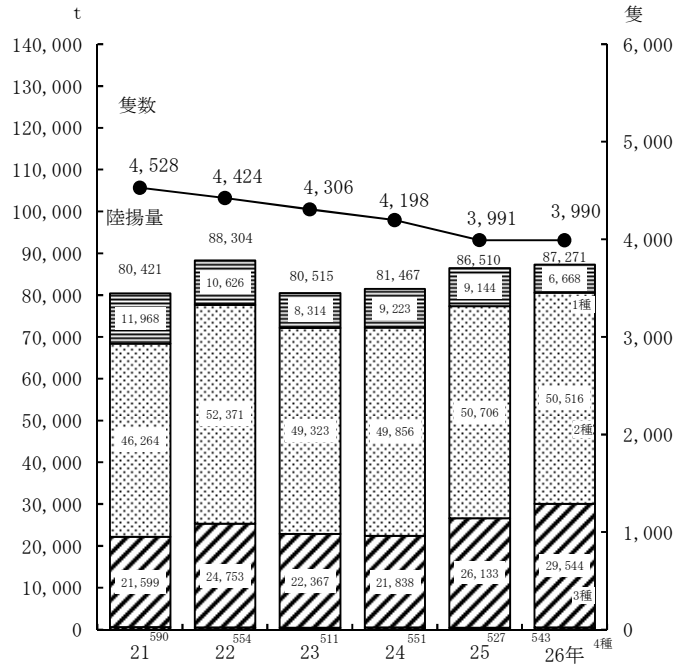
漁港における26年の陸揚量は、87,271tと前年より0.9%増加し（B図）、陸揚金額は200億円と前年と同額となりました。

陸揚実績の港種別の構成比は、第2種漁港が数量、金額とも多く、数量は全体の57.9%、金額は72.0%を占めています（C図）。

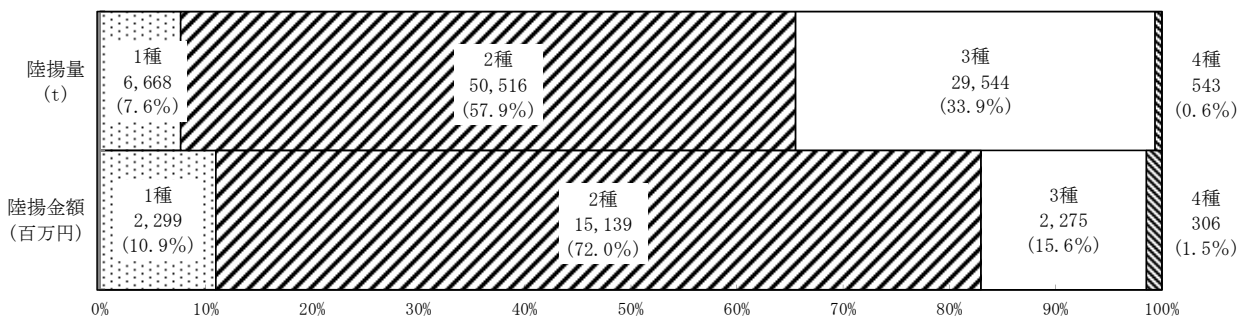
A図 港種別登録漁船隻数、トン数の構成（26年）



B図 漁船隻数及び陸揚量の推移



C図 港種別陸揚量及び金額の構成（26年）



（資料 県水産課調べ（A～C図））

＜主要な問題の解説＞

＜漁港の整備＞

漁港の整備は、漁港法（昭和25年法律第137号）に基づき、昭和26年に第1次漁港整備長期計画が策定されてから始まり、数次の改定を経て14年度からは漁港漁場整備法が制定されたことにより、漁港と漁場が一体となった新たな長期計画により整備を図っています。

24年度からは第3次漁港漁場整備長期計画（24～28年度5か年）等に基づき、延べ44漁港において水産流通基盤整備事業などによる整備を計画しています（A表）。

本県における25年度末の漁港の基本施設の整備状況は、外かく施設（防波堤など）の総延長145,956m、係留施設（物揚場など）の総延長38,617mであり、毎年着実に整備が進められています。

さらに近年は、漁港の持つ多くの機能を発揮させるため、長期計画に基づく基本施設の整備に加えて、漁業集落環境整備事業、都市と漁村の交流、漁村の活性化を図る交流基盤施設の整備にも積極的に取り組んでいます。

A表 第3次漁港漁場整備長期計画（24～28年度）等に基づく整備計画

事業名	港数	漁港地区名
水産流通基盤整備事業	4	鬼崎、豊浜、師崎、一色
水産生産基盤整備事業	1	赤羽根
水産物供給基盤機能保全事業（保全計画）	12	上野間、河和、日間賀、大井、栄生、衣崎、佐久島、宮崎、知柄、三谷、福江、赤羽根
〃（保全工事）	13	豊浜、師崎、篠島、日間賀、大井、大浜、一色、西幡豆、知柄、形原、三谷、福江、赤羽根
漁港施設機能強化事業（機能診断）	8	豊浜、師崎、篠島、一色、西幡豆、知柄、形原、赤羽根
〃（機能強化工事）	2	篠島、師崎
農山漁村地域整備交付金等	4	日間賀、一色、西幡豆、知柄
計	延 44	

＜水産物供給基盤機能保全事業＞

県の漁港施設（外かく・係留施設）は、21年現在で築造後30年以上経過している施設が全体の約40%に達しており、31年にはこれが約70%に達することから、施設の老朽化が課題となっています。特に鋼製構造物は老朽化により機能が低下するため、機能保全対策（長寿命化対策）の実施が急務となっています。

こうしたなか、20年度に水産物供給基盤機能保全事業（水産庁補助事業）が創設され、本県ではこれまでに県管理漁港を中心に漁港施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化・縮減を図る目的で、20年度から漁港施設の計画的な管理（施設の長寿命化に必要な日常管理や保全・更新工事を取りまとめた機能保全計画の策定、保全工事等の実施）を進めております（B表）。市町管理漁港についても、25年度から機能保全計画の策定を進めており、老朽化に応じ保全工事を進めていく予定です。

B表 水産物供給基盤機能保全事業取組状況

漁港名	種別	管理者	所在地	計画策定着手年度	保全工事着手年度		
豊浜	3	県	南知多町	H22	H24		
師崎	2			H21	H22		
篠島	2			H21	H22		
大浜	2			H20	H21		
一色	2		西尾市	H22	H24		
西幡豆	2			H21	H23		
知柄	2		蒲郡市	H22	H25		
形原	3			H20	H24		
三谷	3			H24	未定		
福江	2		田原市	H24	未定		
赤羽根	4			H20	H22		
鬼崎	2			常滑市	常滑市	(H28)	(H29)
小鈴谷	1					(H28)	未定
上野間	1		美浜町	美浜町	(H28)	未定	
河和	1	H24			未定		
大井	2	南知多町	南知多町	H25	H26		
日間賀	2			H24	H25		
寺津	1	西尾市	西尾市	(H29)	未定		
栄生	2			(H28)	未定		
味沢	2			(H28)	未定		
衣崎	1			H25	H29		
宮崎	2			(H28)	未定		
佐久島	2			H27	H29		
伊川津	1			田原市	田原市	H27	H29

3 漁場と資源

漁場環境の動向

●主要な漁場海域の環境基準はCODが全ての海域で全燐が三河湾で未達成

閉鎖性水域である伊勢湾・三河湾は、水質の浄化が大きな課題となっています。環境基本法に基づく水質環境基準の主要な漁場海域における達成状況を見ると、26年度の調査結果では、CODが全ての海域で未達成となっており、全窒素は伊勢湾と三河湾で達成されたものの、全燐は三河湾で未達成となっています（A表）。

●26年度の赤潮発生は26件で増加

赤潮は、植物プランクトンが異常繁殖し、海水が赤色等に変色する現象です。愛知県では海産生物に直接被害を及ぼすことは少ないですが、のり養殖の色落ちや、底層の貧酸素化の要因となっています。

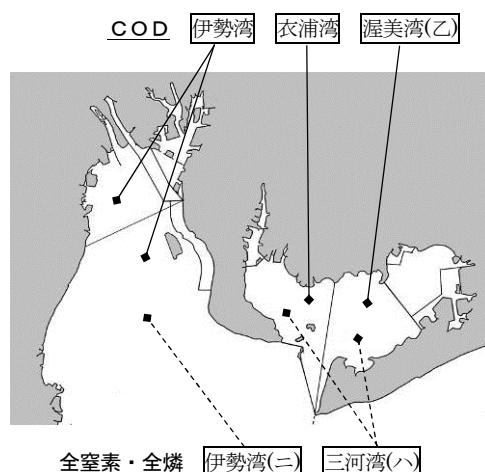
26年度の伊勢・三河湾における赤潮確認件数は26件、確認延日数は203日で、前年度より件数、延べ日数ともに増加しました。（B図、C図）。

A表 主要な漁場海域における環境基準の達成状況

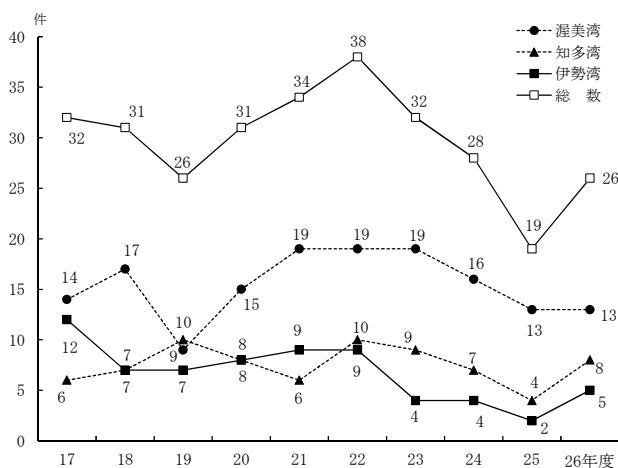
項目	水域名	21	22	23	24	25	26
COD	伊勢湾	×	×	×	×	×	×
	衣浦湾	×	×	×	×	×	×
	渥美湾(乙)	×	×	×	×	×	×
全窒素	伊勢湾(ニ)	○	○	○	○	○	○
	三河湾(ハ)	×	×	×	×	○	○
全燐	伊勢湾(ニ)	○	×	○	×	○	○
	三河湾(ハ)	×	×	×	×	×	×

(資料 公共用水域及び地下水の水質調査結果)

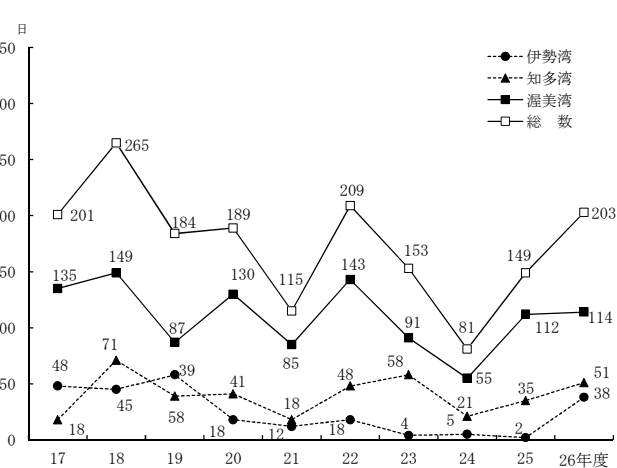
(水域区分図)



B図 赤潮確認件数の推移



C図 赤潮確認延日数の推移



(資料 県水産試験場調べ)

〈主要な問題の解説〉

〈貧酸素水塊と苦潮〉

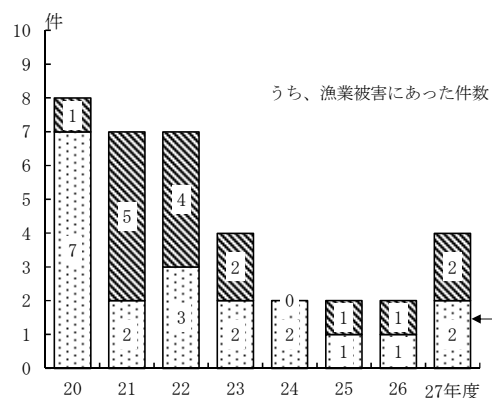
伊勢湾や三河湾では、毎年6月頃から10月頃にかけて、有機物の腐敗により底層の酸素が欠乏し、酸素が少ない水「貧酸素水塊」が海底を広く覆う現象が発生します。

貧酸素水塊は、生物が生息できる海域を狭め、時には風にあおられ岸近くに「苦潮」となって押し寄せて漁業被害を引き起こします。

本県では、毎年数件の苦潮が確認されています（A図）。

27年度の被害件数は2件でした。

A図 苦潮確認件数の推移



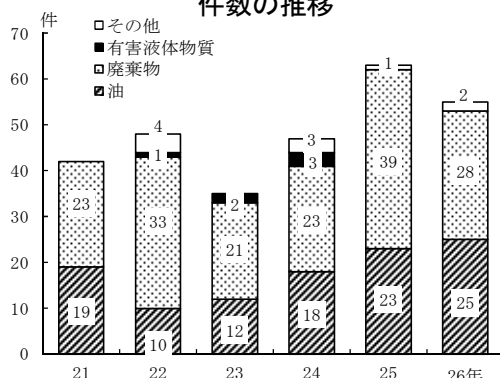
(資料 県水産試験場調べ)

〈流油等の海上汚染事故〉

水質の悪化だけでなく、流油や廃棄物などによる海域の汚染事故もたびたび起こっており、時に漁業への影響も生じています。

海上保安庁がとりまとめた、伊勢湾における海洋汚染事故の発生件数を見ると、近年、海上汚染事故の確認件数は増加傾向にあり、26年は油による事故が25件、廃棄物による事故が28件報告されています（B図）。

B図 伊勢湾の海上汚染事故件数の推移



(資料 海上保安庁 海洋汚染の現状)

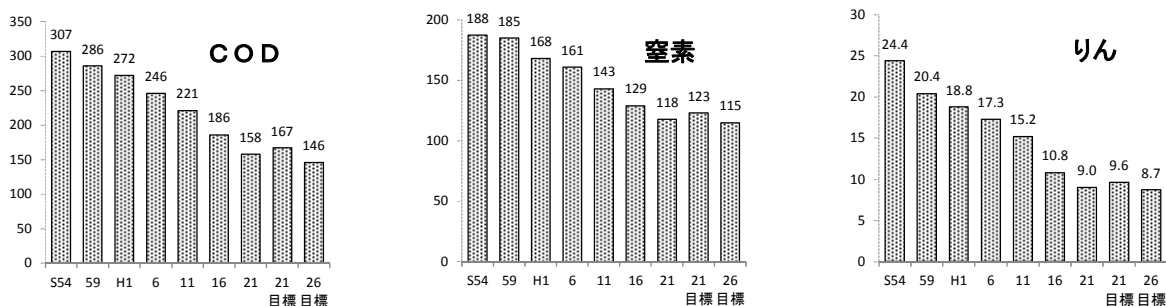
〈総量削減計画〉

伊勢湾（三河湾を含む）は、水質汚濁防止法に基づき、陸域からの流入負荷（COD、窒素、りん）の総量削減を図る地域に指定されており、24年2月には、26年度を目標とする愛知県の第7次の総量削減基本計画が策定されています。

この計画に基づき、県内の事業所には厳しい排水規制がかけられており、昭和55年の第1次計画策定以来、負荷削減の目標は着実に成果を上げています（C図）。

しかしその一方で、海域の環境基準には未だ達成できない項目もあります（16頁）。環境基準達成のためには、流入負荷削減だけでは難しいことが明らかになりつつあることから、海の浄化能力の回復を含めた総合的な対策が、環境省で議論されているところです。

C図 伊勢湾における流入負荷量の推移（単位：トン／日）



(注)三重県・岐阜県分も含む。21目標は第6次総量削減計画、26目標は第7次総量削減計画

漁業振興の動向

本県では、「持続可能で活力ある水産業の実現」を目指し、各種漁業振興策を推進しています。海の畑づくりとして大規模な魚礁設置等を行う『漁場整備事業』と沿岸漁業の経営改善を進めるための施設整備を中心とした『漁業構造改善事業』の国庫補助事業、小規模な施設整備等に対して助成する『県単独補助事業』を中心に漁業振興を図っています。

●漁場整備事業

従来の沿岸漁場整備開発事業と漁港事業を一体的に整備する制度を盛り込んだ漁港漁場整備法が14年度に施行され、漁港漁場整備長期計画に基づく漁場整備を行っています。

これまでは漁業生産の安定を図るため、三河湾では干潟・浅場造成を、渥美外海域では魚礁漁場を整備してきましたが、漁業生産力の増大とともに水産資源の増大も課題となっています。

そこで、25年度から内湾から外海まで県域全体の水産資源増大と漁場環境の改善を図るため、あさりとさかな漁場総合整備事業を開始しました。25年度及び26年度は三河湾ではあさり漁場となる干潟・浅場を西尾市と田原市地先で造成し、渥美外海域ではさかな漁場となる魚礁漁場を田原市沖に整備しました。

●漁業構造改善事業

沿岸漁業構造改善事業（通称：沿構事業）は、水産資源の維持増大や生産性の向上、漁家経営の改善等を図るため、昭和37年度から実施されており、漁業生産に必要な各種施設の整備や、都市部に比べ立ち遅れている漁村環境の改善等に大きく寄与してきました。施設整備の内容は、築いそ、荷さばき施設、冷蔵庫、漁具倉庫等、多岐に亘っており、本県でもこの事業により積極的に漁業振興策を展開してきました。

近年の実績としては、強い水産業づくり交付金事業として、17年度に西三河漁協において高度衛生管理型の水産物荷さばき施設を、24年度から鬼崎漁協においてのり共同加工施設を整備しています。

●県単独補助事業

漁業生産のための施設整備のうち、県単独補助事業は、昭和46年度から漁港機能施設整備事業として開始され、時代の諸問題に対応するため制度を再編して実施してきました。

60年度からは、沿岸漁業と内水面漁業の振興を図るため水産業振興事業（沿岸漁業振興事業、内水面漁業振興事業）として、国の採択基準に満たない小規模な施設等を中心に助成を行ってきました。

平成12年度からは、沿岸海域の大規模開発による影響等に対応するため沿岸漁業振興事業は、沿岸漁業振興特別対策事業として統合され19年度まで実施しました。この事業は、実施期間内（8年間）に421件と多くの事業が実施されました。

また、20年度からは、力強い漁業生産地づくりに向けて重点課題に取り組む漁村活性化総合対策事業が開始され、27年度には13件の事業が実施されました。

〈主要な問題の解説〉

〈漁村活性化総合対策事業〉

漁村活性化総合対策事業は、漁業・漁村を取り巻く厳しい環境や食の安心安全等に関わる課題に対応する施設の重点的な整備により、力強い漁業生産地づくりを推進し水産物の安定供給を図ろうとするものです。

重点的に整備する内容（事業種目）は、①就労環境改善事業、②合併漁協経営改善事業、③資源維持増加事業、④衛生管理強化事業、⑤耐震対策推進事業の5種目です。

○対象地域 海面漁業及び海面養殖業を営む地域

○事業主体 市町村、漁業協同組合連合会、その他の漁業団体

○事業実施主体 市町村、漁業協同組合、漁業協同組合連合会、その他の漁業団体

○漁村活性化総合対策事業メニュー

(○:対象 △:一部対象)

補助対象施設の内容	事業内容	事業種目				
		就労環境改善事業	合併漁協経営改善事業	漁業資源維持増加事業	衛生管理強化事業	耐震対策推進事業
漁場の耕耘整地、浚渫	耕耘・整地、浚渫			○		
築いそ	築いそ			○		
種苗生産施設	のり糸状体培養施設	○	○			○
漁船保全修理施設	漁船洗浄機、上架施設、ウインチ	○				○
燃油等補給施設	燃料タンク、給油船、タンクローリー		○			△
漁業用作業保管施設	漁具倉庫、漁具修繕施設、のり網脱水機	○	○			△
水産物荷さばき施設	荷さばき施設、のり集荷場、市場用水槽、選別機、海水井戸、取水施設、海水滅菌装置		○		○	○
水産物鮮度保持施設	冷凍冷蔵施設、製氷機		○		○	△
水産物加工処理施設	全自動のり製造機、金属検出機	○				△
運搬施設	フォークリフト、クレーン、ベルトコンベア、浮棧橋、運搬船	○				△
海浜環境活用施設	屋外トイレ等	○				○

○27年度実施件数

事業種目	実施件数	実施内容（施設）
	27年度	
就労環境改善事業	6	運搬施設、漁船保全修理施設、漁業用作業保管施設、種苗生産施設
合併漁協経営改善事業	1	燃料等補給施設
資源維持増加事業	1	漁場の整地
衛生管理強化事業	5	水産物鮮度保持施設、水産物荷さばき施設
耐震対策事業	—	
合計	13	

資源保護増大の動向

●栽培漁業の推進

本県の栽培漁業は、昭和53年10月に栽培漁業センターが開設され、54年度からくるまえび、あわび、あゆ種苗の大量生産・供給が始まりました。その後、栽培漁業センターの整備を行い、60年度からくろだいがざみ、61年度からあかがいを追加し、平成5年度からはあかがいに替えてなまこを、さらに17年度からはとらふぐとよしえびの種苗生産を開始し、栽培漁業の一層の推進を図っています。

A表 栽培漁業センター産種苗の供給実績 (22～27年度)

魚種	供給先	年度					
		22	23	24	25	26	27
くるまえび (千尾) (全長 1.5～2.0cm) (H19 まで全長 1.4～1.7cm)	常滑市	9,000	9,000	9,000	10,000	10,000	10,000
	西尾市 (旧一色町)	3,500	2,500	2,500	2,800	2,800	2,800
	西尾市 (旧幡豆町)	3,500	2,500	2,500	2,800	2,800	2,800
	西尾市 (三河湾)	—	2,000	2,000	2,200	2,200	2,200
	田原市 (旧渥美町)	2,000	2,000	2,000	2,200	2,200	2,200
	試験用	—	—	—	—	100	—
	計		18,000	18,000	18,000	20,000	20,100
がざみ (千尾) (甲幅 0.5～0.8cm) (H4 まで甲幅 0.3～0.5cm)	常滑市	170	170	170	170	170	170
	南知多町	330	330	330	330	330	330
	西尾市 (旧一色町)	100	100	100	100	100	100
	西尾市 (旧幡豆町)	400	400	400	400	400	400
	田原市 (旧渥美町)	400	400	400	400	400	400
	蒲郡市	100	100	100	100	100	100
	計		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
よしえび (千尾) (全長 1.1～1.7cm)	常滑市	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	南知多町	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	西尾市 (旧一色町)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	東三河漁協青年部連絡協議会	—	—	200	—	—	—
	計		4,000	4,000	4,200	4,000	4,000
とらふぐ (千尾) (全長 3.5～4.5cm) (H19 まで全長 2.5～3.0cm)	南知多町	120	120	120	130	130	130
計		120	120	120	130	130	130
くろだい (千尾) (全長 2.5～3.5cm) (H18 まで全長 1.0～2.0cm)	西尾市 (旧一色町)	50	50	50	25	25	25
	西尾市 (旧吉良町)	20	20	20	10	10	10
	西尾市 (旧幡豆町)	40	40	40	20	20	20
	田原市 (旧渥美町)	100	100	100	50	50	50
	養殖用	60	60	60	10	10	10
	計		270	270	270	115	115
あわび (千個) (殻長 1.0～2.0cm)	師崎漁協	60	60	60	60	60	60
	篠島 "	60	60	60	60	60	65
	日間賀島 "	60	60	60	60	60	60
	豊浜 "	60	60	60	60	60	60
	渥美、片名、愛知外海漁協他	40	42	37	34	32.5	35.5
	計		280	282	277	274	272.5
なまこ (千尾) (全長 0.5～1.0cm)	南知多町	380	380	380	380	380	380
	西尾市 (旧一色町)	35	35	35	35	35	35
	西尾市 (旧吉良町)	25	25	25	25	25	25
	西尾市 (旧幡豆町)	50	50	50	50	50	50
	蒲郡市	10	10	10	10	10	10
	田原市 (旧渥美町)	200	200	200	200	200	200
	試験用	—	—	—	—	2	—
	計		700	700	700	700	702
あゆ (千尾) (全長 3.0～3.9cm) (全長 4.0～5.0cm)	愛知県鮎養殖漁協等	—	—	—	400	400	500
		1,800	1,500	1,500	1,500	1,502	1,500
	計		1,800	1,500	1,500	1,900	1,902

〈主要な問題の解説〉

〈栽培漁業センター〉

栽培漁業センターは、栽培漁業振興施設整備費補助金、内水面漁業振興施設整備費補助金等の国庫補助金を得て、昭和50～53年度に基本施設、58～60年度に増築施設の整備が行われました。さらに、平成4年度と15年度にも増築施設の整備を行っています。

A表 施設の概要

施設区分		規模
基本施設	くるまえび棟	RC 200 m ³ ×4 面=800 m ³
	あわび棟	RC 12.4×22=272.8 FRP 1×12=12
	あゆ棟	RC 50×6=300
増築施設	たい・がざみ水槽	RC 200×2=400
	たい親魚棟	FRP 25×4=100
	クロレラ培養施設	キャンパス 100×8=800 " 50×3=150 " 10×5=50
	あゆ・餌料棟	RC 100×4=400 RC 40×1=40 RC 25.5×8=204 FRP 5×5=25
設	親魚調製池	RC 12.5×4=50
	*なまこ棟	FRP 12×10=120
	*展示普及棟	RC 310 m ²

B表 種苗生産計画 (28年度)

魚種	大きさ	数量 (千尾・千個)
くるまえび	全長 1.5～2.0 cm	20,000
がざみ	甲幅 0.5～0.8	1,500
よしえび	全長 1.1～1.7	4,000
とらふぐ	全長 3.5～4.5	130
くろだい	全長 2.5～3.5	115
あわび	殻長 1.0～2.0	275.5
なまこ	全長 0.5～1.0	700
あゆ	全長 3.0～5.0	2,000

注) RC : 鉄筋コンクリート
FRP : 強化プラスチック
*平成4年度に整備



○ 愛知県栽培漁業センター

〈第7次栽培漁業基本計画〉

浅海域の大規模開発などの影響により低迷している沿岸漁業資源の維持増大と漁業生産の安定を図るため、県は沿岸漁場整備開発法に基づき栽培漁業基本計画を策定し、栽培漁業の推進を図っています。

栽培漁業基本計画は、昭和59年度に目標年度を62年度とする第1次栽培漁業基本計画が策定され、その後、概ね5年ごとに更新されています。県は27年度に目標年度を33年度とする第7次栽培漁業基本計画を策定し、栽培漁業の一層の推進を図っています。

(第7次栽培漁業基本計画のポイント)

- 資源造成型栽培漁業を一層推進する。
- 都道府県の区域を越えて回遊する広域種については、太平洋南海域栽培漁業推進協議会において策定された「効率的かつ効果的な種苗生産及び種苗放流に関する計画 (広域プラン)」を踏まえ、種苗生産や放流等を実施するよう努める。

資源管理の動向

●資源管理体制の推進

水産資源の適切な管理と漁業経営の安定を図り、水産物の安定供給を確保するため、23年度から新たな資源管理制度が開始されました。この制度は、魚種ごと、漁業種類ごとの特性に応じた資源管理のあり方について、国と県が「資源管理指針」を定め、漁業者は、この指針に沿った内容の「資源管理計画」を作成して資源管理に取り組むものです（表）。

これまでの資源管理の取組は、漁業者により自主的に行われていましたが、新たな制度の下では、取組の確実な実施のために、資源管理協議会が取組みの履行を確認しています。取組みの履行が確認された漁業者には、水揚収入の減少を補填する漁業共済制度において、掛金等が優遇され収入の安定が図られるため「資源管理計画」を作成して参加する漁業者が増えています。

表 「資源管理計画」に基づく取組の例

魚種・漁業種類	取組みの例
いかなご	解禁日及び終漁日の設定による操業期間制限
いわし類	定期的な休漁 期間を定めた休漁
まき網漁業	定期的な休漁
小型底びき網漁業	定期的な休漁
あなご籠漁業	漁具数及び網目の制限
採貝漁業	定期的な休漁

●漁獲可能量制度の推進

8年の国連海洋法条約の批准にともない、我が国の排他的経済水域において生物資源の量的管理を行うことが義務付けられ、海洋生物資源の保存及び管理に関する法律が制定されました。漁獲可能量制度はこれに基づき、海洋生物資源の最大持続生産量の実現を目的に9年1月1日から始まった、数量による漁獲管理を行う制度で、通称TAC（Total Allowable Catch）制度と呼ばれています。

漁獲可能量の管理対象には現在7魚種（さんま、すけとうだら、まあじ、まいわし、まさば及びごまさば、するめいか、ずわいがに）が指定されており、国は、資源評価や社会情勢などを基に、魚種ごとに毎年の漁獲可能量を設定しています。

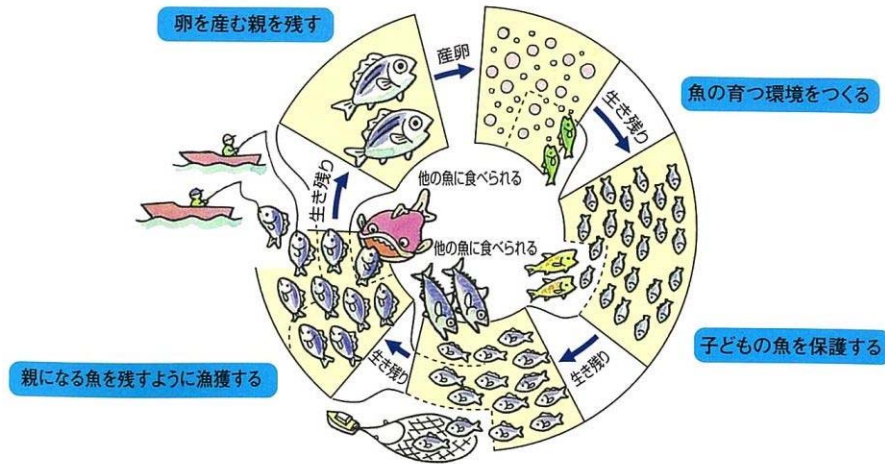
県は、対象魚種について産地魚市場から水揚情報を収集し、迅速な漁獲量の把握に努めるとともに、「愛知県の海洋生物資源の保存及び管理に関する計画」を定め、漁獲努力量を増加させない等の方針により、管理に努めています。

〈主要な問題の解説〉

〈水産資源の管理〉

水産生物資源は、使えばなくなってしまう鉱物などの資源とは異なり、成長して子を産むため、適切な管理を行えば、永続的に利用することも可能です。

A図 資源管理の概念図



〈資源管理計画・漁場改善計画〉

A表 資源管理計画・漁場改善計画の状況

資源管理計画

No.	資源管理計画名	計画参加者数			
1	大濱漁協中型まき網漁業	3	20	西三河漁協一色支所小型機船底びき網(渥美外海板びき網及び改良備前網)漁業	33
2	愛知県ばっち網漁業者組合イカナゴ	20	21	西三河漁協吉良支所及び幡豆漁協さし網漁業	3
3	愛知県ばっち網漁業者組合イワシ類	20	22	蒲郡漁協西浦支所小型機船底びき網(渥美外海板びき網及び改良備前網)漁業	9
4	愛知県しらす・いかなご船びき網連合会イカナゴ	87	23	幡豆漁協小型機船底びき網(改良備前網)漁業	5
5	愛知県しらす・いかなご船びき網連合会イワシ類	87	24	師崎漁協あなご籠漁業	3
6	蒲郡漁協西浦支所小型機船底びき網(えびけた網)漁業	4	25	東幡豆漁協小型機船底びき網(改良備前網)漁業	2
7	蒲郡漁協形原支所小型機船底びき網(えびけた網)漁業	1	26	西三河漁協吉良支所採貝(長柄まんが)漁業	5
8	蒲郡漁協形原支所小型機船底びき網(渥美外海板びき網及び改良備前網)漁業	5	27	西三河地区採貝(腰まんが)漁業	265
9	豊浜漁協小型機船底びき網(渥美外海板びき網)漁業	6	28	西三河地区小型機船底びき網(貝けた網(水流噴射式けた網))漁業	96
10	伊勢湾海域における小型機船底びき網(まめ板網)漁業	181	29	鬼崎漁協小型機船底びき網(貝けた網(水流噴射式けた網))漁業	44
11	愛知外海漁協しらす機船底びき網漁業	7	30	常滑漁協小型機船底びき網(貝けた網(水流噴射式けた網))漁業	26
12	東幡豆漁協小型機船底びき網(貝けた網及びえびけた網)漁業	5	31	小鈴谷漁協小型機船底びき網(貝けた網(水流噴射式けた網))漁業	30
13	幡豆漁協小型機船底びき網(渥美外海板びき網)漁業	6		計	991
14	幡豆漁協小型機船底びき網(貝けた網及びえびけた網)漁業	10	漁場改善計画		
15	日間賀島漁協小型機船底びき網(渥美外海板びき網)漁業	11	No.	漁場改善計画名	計画参加漁協数
16	三谷漁協小型機船底びき網(貝けた網及びえびけた網)漁業	4	1	知多地区のり	10
17	西三河漁協吉良支所小型機船底びき網(渥美外海板びき網、貝けた網及びえびけた網)漁業	8	2	西三河地区のり	3
18	片名漁協あなご籠漁業	4	3	東三河地区のり	3
19	三谷漁協小型機船底びき網(渥美外海板びき網)漁業	1		計	16

(28年3月31日現在)

4 漁業生産

漁業総生産の動向

●漁業・養殖業の総生産量は1.3%増加

26年の海面及び内水面の漁業・養殖業の総生産量は102,396 tで、前年（101,180t）に比べ1.3%増加しました。

このうち、海面漁業は80,949 tで前年に比べ0.1%減少しており、海面養殖業も14,906 tで2.8%の減少となりました。また、内水面漁業は319 tで前年に比べ24.4%減少し、内水面養殖業は6,222 tで前年に比べ42.0%増加しています。なお、内水面養殖漁業における増加は、うなぎ養殖における収穫量の大幅増加によるものです。

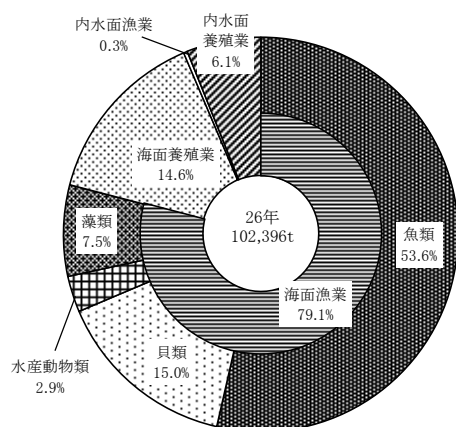
●漁業・養殖業の総生産額は13.9%増加

26年の漁業・養殖業の総生産額は381.8億円で、前年(335.3億円)に比べ13.9%増加しました。

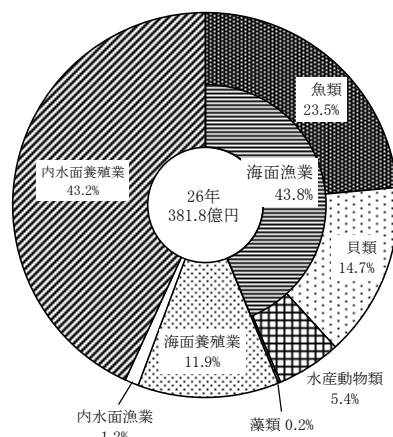
この内訳をみると、海面漁業は167.4億円で前年に比べ1.4%の増加、海面養殖業は45.3億円で23.3%の増加、内水面漁業は4.4億円で前年に比べ13.2%の減少、内水面養殖業は159.7億円で前年に比べ29.9%の増加となっています。

内水面漁業・養殖業の生産額（推計）は魚種別の生産量に全国平均単価を乗じて求めています。

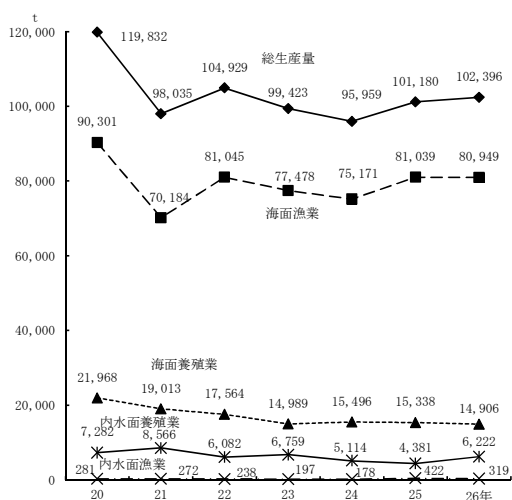
A図 漁業・養殖業の総生産量の内訳



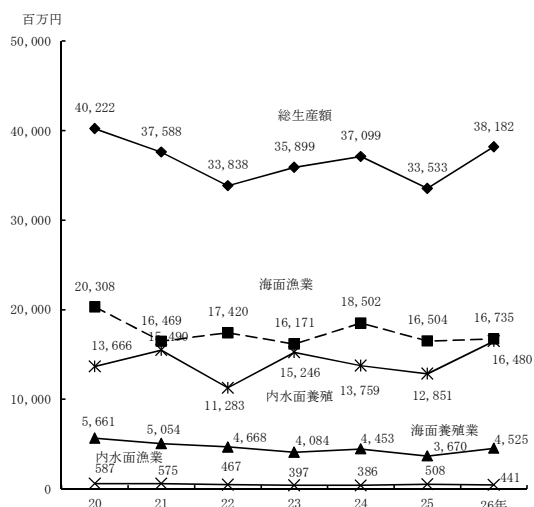
B図 漁業・養殖業の総生産額の内訳



C図 漁業・養殖業の総生産量の推移



D図 漁業・養殖業の総生産額の推移



内水面漁業および内水面養殖業の生産額は、県水産課が生産量に全国単価を乗じて求めた推計値。内水面養殖業は生産額（D図）のみきんぎよを含む。きんぎよは県水産課調べ

（資料 海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査、県水産課調べ（A～D図））

〈主要な問題の解説〉

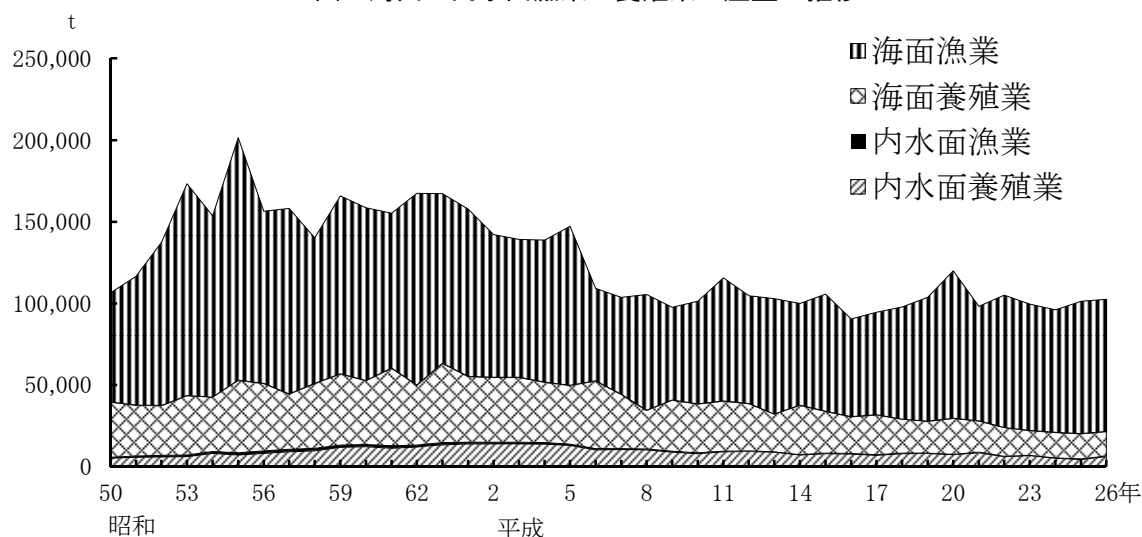
〈漁業生産量の推移〉

漁業・養殖業の生産量は、漁業活動による食料供給量の指標と考えることができます。漁業・養殖業の生産量は、昭和55年の20万tをピークに減少し、平成6年以降は10万t前後で横ばいに推移しています。生産量の内訳の推移を見ると、海面漁業は6～10万tの漁獲量で、常に全体の半分以上を占め、まいわしが減少した6年以降は8万t前後と、概ね一定の漁獲量となっています。また、海面養殖業は海面漁業に次ぐ収穫量で、かつては4万tを超えることもありましたが、近年はピーク時の約1/3の1万5千t前後に減少しています。内水面養殖業も、8年までは1万tを超える収穫量がありましたが、近年は4～6千tで推移しています。（A図）。

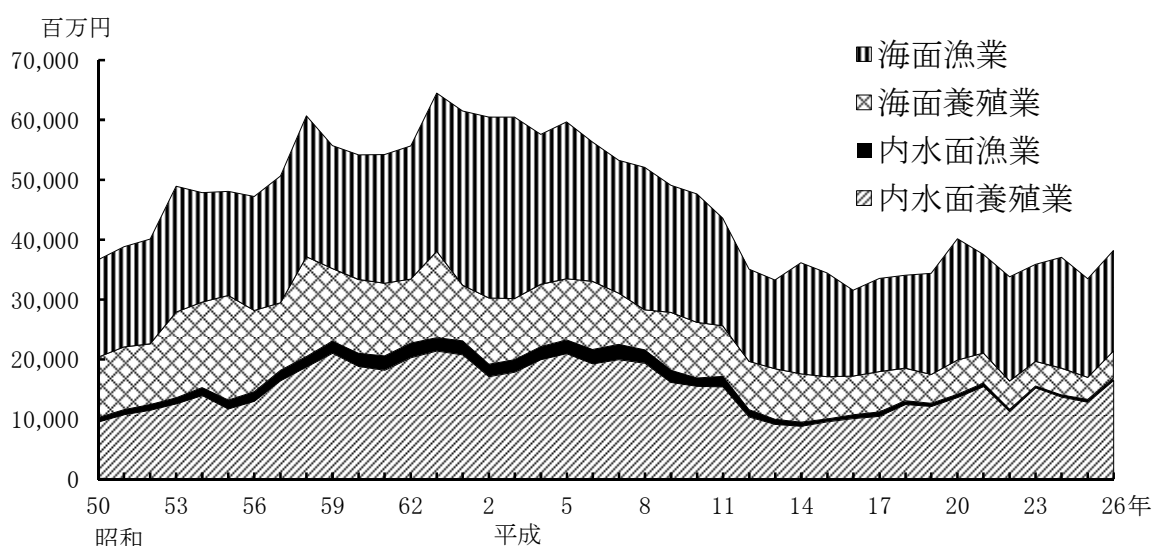
〈漁業生産額の推移〉

漁業生産額は、漁業活動によって創造された経済的価値の指標と考えることができます。漁業生産額は、昭和63年の645億円をピークに減少し、平成12年以降は350億円前後で横ばいに推移しています。漁業生産額の内訳の推移を見ると、海面漁業は平成初期には300億円を超えることもありましたが、近年は200億円を下回っています。海面養殖業は、平成初期までは100億円を超えていましたが、近年は40億円程度で、漁業総生産額に占める割合は1割程度となっています。これらに対して内水面養殖業は、平成14年前後には100億円を下回っていましたが、近年は100億円を上回り、漁業総生産額に占める割合が約4割となっています（B図）。

A図 海面・内水面漁業・養殖業生産量の推移



B図 海面・内水面漁業・養殖業生産額の推移



（資料 海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査、県水産課調べ（A、B図））

海面漁業生産の動向

●海面漁業漁獲量は前年とほぼ同じ。まいわしが大きく増加。

26年の海面漁業の漁獲量は80,949 tで、前年（81,039 t）とほぼ同じでした（A図）。

漁業種類別では、船びき網が47,954 tで最も多く、県全体の59.2%を占め、次いで、採貝・採藻が13,268 tで同16.4%と、初めて小型底びき網（12,328 t：15.2%）を上回りました（B図）。

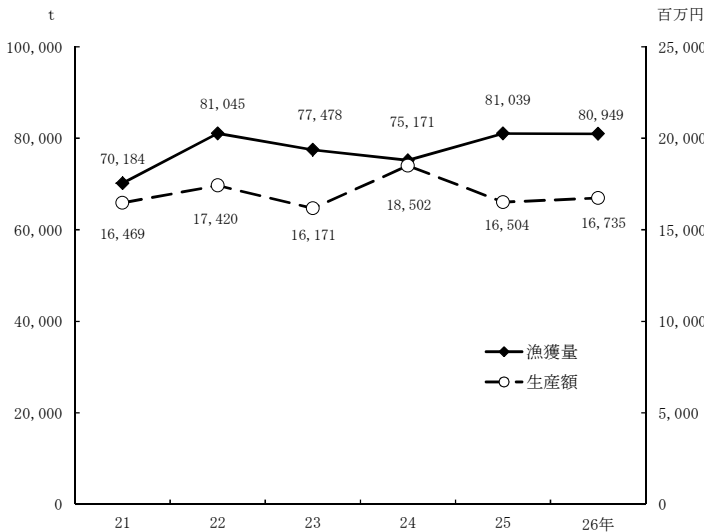
魚種別では、かたくちいわしが27,386 tで同33.8%、あさり類が10,563 tで同13.0%、しらすが8,936 tで同11.0%、いかなごが6,230 tで同7.7%を占めました。また、まいわしが5,927 tと前年（1,263 t）より大きく増加しました。これら上位5魚種で全体の約73%に達しています（C図）。

●海面漁業生産額は1.4%増加

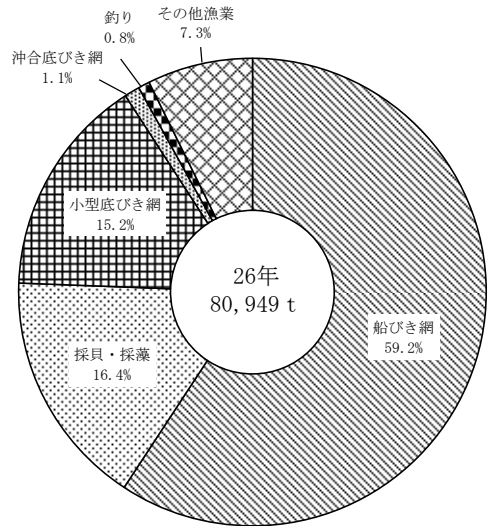
26年の海面漁業の生産額は167.4億円で、前年（165.0億円）に比べ1.4%増加しました（A図）。

魚種別に見ると、しらすが35.9億円で県全体の21.5%を占め、あさり類が30.5億円で同18.2%、次いでいかなごが9.1億円で同5.4%、かたくちいわしが8.2億円で同4.9%の順となっています（D図）。

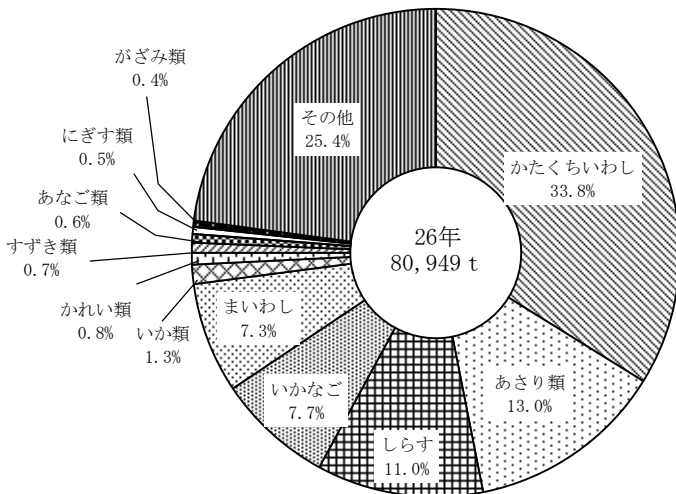
A図 海面漁業漁獲量及び生産額の推移



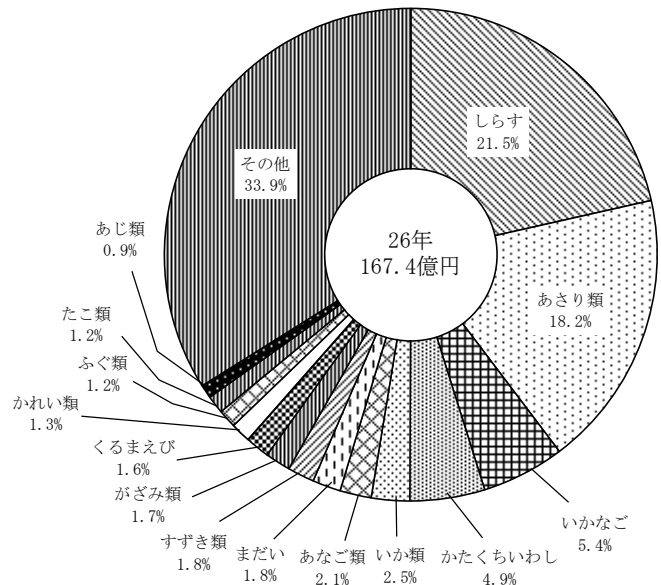
B図 海面漁業種類別漁獲量の構成



C図 海面漁業魚種別漁獲量の構成



D図 海面漁業魚種別生産額の構成



(資料 海面漁業生産統計調査 (A～D図))

＜主要な問題の解説＞

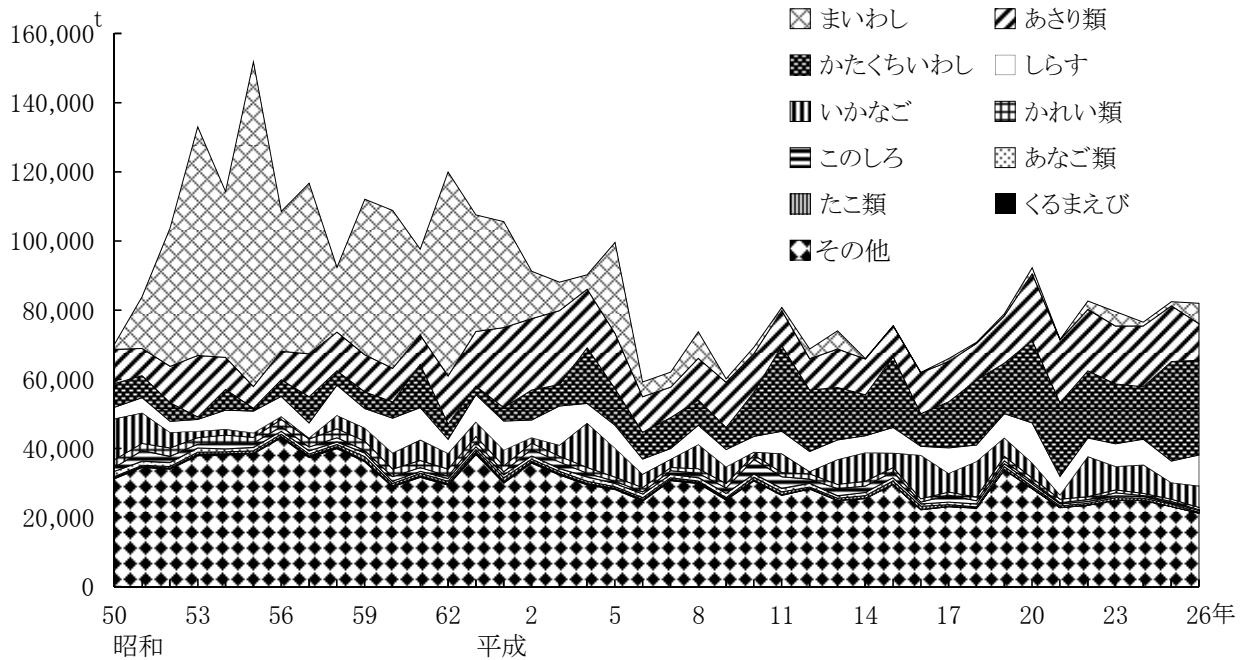
＜魚種別漁獲量＞

海面漁業のまいわしを除く漁獲量は、昭和50年から平成26年まで、6～8万t前後で概ね安定しています。まいわしは、昭和50年代から60年代にかけて漁獲量が非常に多く、最盛期には本県漁獲量の半分以上を占めていました（A図）。その後、かたくちいわしが増加し、現在ではあさり類とともに本県漁獲量の主体となっています。

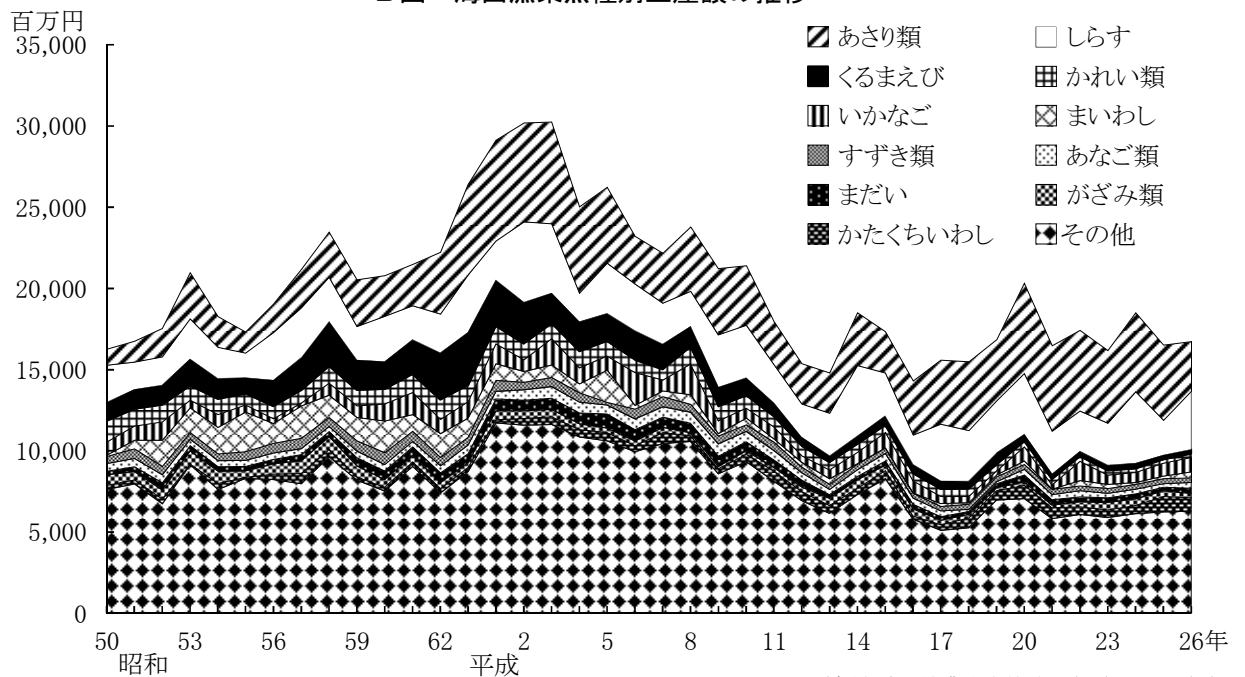
＜魚種別生産額＞

海面漁業の生産額は、昭和40年代から60年代にかけて増加し、その後平成3年をピークに減少傾向が続きました。10年代以降では概ね安定していますが、26年の生産額はピーク時の6割程度の約167億円でした（B図）。魚種別では、あさり類としらすの生産額の割合が大きくなっています。

A図 海面漁業魚種別漁獲量の推移



B図 海面漁業魚種別生産額の推移



(資料 海面漁業生産統計調査 (A、B図))

海面養殖生産の動向

●板のり生産枚数は3.0%減少（暦年）

26年の海面養殖業の収穫量は14,906 tで、前年に比べ2.8%減少しました。

本県海面養殖業における収穫量のほとんどはのり養殖業で、26年（1～12月）における板のりの生産枚数は3億8,230万枚となり、前年に比べ3.0%減少しました（A表）。また、26年の板のり平均価格は1,092円と昨年より3割ほど高くなりました。

地域別では、知多地区が3億1,391万枚で前年に比べ2.1%の減少、西三河地区が4,549万枚で12.3%の減少、東三河地区では2,290万枚で6.3%の増加となっています（B図）。

のり養殖生産額は41.7億円で27.3%増加しました（A表）。

●養殖年では22.7%減少

板のり生産枚数を養殖年で比較すると、26年度（26年11月～27年5月）は3億544万枚となり、前年度に比べ22.7%の減少となりました。地区別では、知多地区が枚数で21.3%の減少、西三河地区が同24.0%減少、東三河地区が同39.6%の減少となっています（C図）。

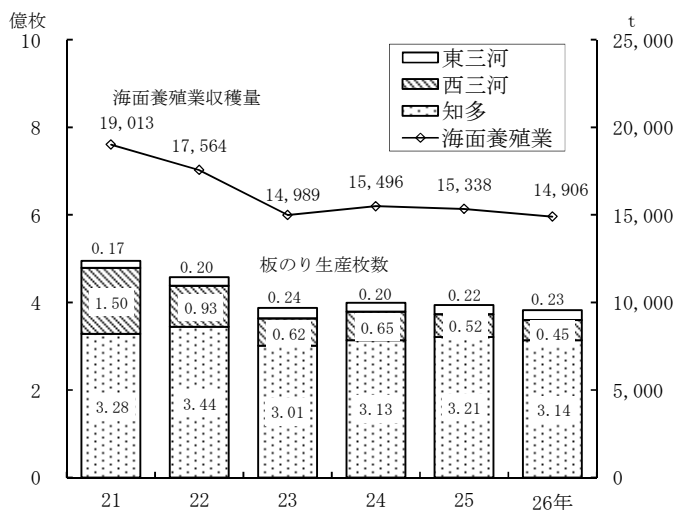
A表 板のり生産状況（暦年）

区 分		年	21	22	23	24	25	26
生産枚数 (千枚)	くろのり		482,367	439,995	365,227	380,456	374,405	359,883
	まぜのり		3,583	5,369	4,113	4,016	3,175	3,228
	あおのり		9,103	11,921	18,061	14,119	16,539	19,192
	板のり計		495,053	457,285	387,401	398,591	394,118	382,303
生産額 (万円)	合 計		476,600	438,700	374,800	404,200	327,700	417,300
板のり平均価格 (円/100枚)			963	959	967	1,014	832	1,092

(注)板のり平均単価は、ばらのり・生のりを含む。

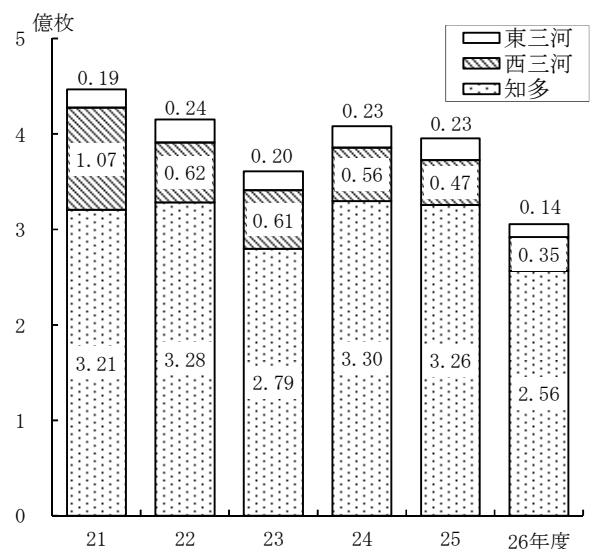
(資料 海面漁業生産統計調査)

B図 海面養殖業収穫量及び板のり生産枚数の推移（暦年）



(資料 海面漁業生産統計調査)

C図 板のり生産枚数の推移（養殖年度）



(資料 県水産課調べ)

＜主要な問題の解説＞

＜26年度（26年11月～27年5月）のり養殖の概要＞

1 養殖の経過

(1) 採苗状況

採苗は、各地区とも順調に経過しました。

(2) 育苗

水温は順調に低下しましたが、育苗開始時期の台風通過により、各地区の育苗開始は台風通過後となりました。育苗初期に、知多及び東三河で赤潮が発生しましたが、大きな影響は出ませんでした。育苗後期に芽落ちが発生した野間地区と白ぐされ症が発生した篠島地区では、生産不良の網が1割程度発生し、買網や秋芽網の再利用で対応することとなりました。

(3) 秋芽網生産

- ・知多地区は、生産初期に、栄養塩の低下により製品の色が浅く、共販価格は低くなりましたが、栄養塩の回復により順調な生産となりました。
- ・西三河地区は、期間をとおし、栄養塩が充分で順調な生産となりました。
- ・東三河地区は、食害や強風等の影響から、生産量が伸びませんでした。なお、系統外に自家消費で回る製品があり共販枚数減少の要因となりました。

(4) 冷蔵網生産

- ・漁期当初は、栄養塩は充分で概ね順調でしたが、知多地区は、年明けと2月中旬に、西三河地区は2月中旬に大きく栄養塩の低下が見られました。
- ・当該漁期は、全国的な減産傾向と同様に愛知県内の生産枚数も少なかったですが、共販での下物価格が堅調で生産金額は、平年並みとなりました。
- ・カモの食害は、2月初旬頃まで、被害が発生し、生産枚数の減少の要因の一つとなりました。

(5) 青のり生産

東三河地区では、例年どおり、秋芽網から冷蔵網への切り替えは行われず、2月に入ると黒ノリから青ノリへ生産の主力が移行し、5月まで生産が続きました。

○各地区の養殖経過（黒のり）

地区	陸上採苗開始	野外採苗開始	張り込み開始	摘採開始
知多地区	9月16日	—	10月18日	11月18日
西三河地区	9月22日	10月7日	10月11日	11月22日
東三河地区	9月29日	10月5日	10月8日	11月24日

2 養殖生産の結果

黒のり生産枚数は、3億2千万枚で平年（過去5ヵ年）の83%と低調でしたが、全国的な不作から共販価格が堅調で、生産金額は34億9千万円で平年（過去5ヵ年）の95%となりました。1経営体当たりでは生産枚数は、平年比112%、生産金額は平年比129%と好調な結果となりました。

○のり生産の推移

（単位：千枚・千円）

年度	経営体数 (黒のり)	生産枚数			生産金額			経営体当たり(黒のり)	
		黒のり	青のり	合計	黒のり	青のり	合計	生産枚数	生産金額
21	314	434,670	11,906	446,576	4,198,980	122,156	4,321,136	1,384	13,373
22	279	397,031	18,105	415,136	3,698,555	174,565	3,873,120	1,423	13,256
23	254	347,044	13,826	360,870	3,654,034	156,833	3,810,867	1,366	14,386
24	233	391,017	16,951	407,968	3,431,603	179,011	3,610,614	1,678	14,728
25	215	376,386	18,929	395,315	3,450,791	181,436	3,632,227	1,751	16,050
26	188	321,112	11,644	332,756	3,488,692	106,530	3,595,222	1,708	18,557
対前年比	87%	85%	62%	84%	101%	59%	99%	98%	116%
対平年比	73%	83%	73%	82%	95%	65%	93%	112%	129%

（資料 県水産課調べ）

内水面生産の動向

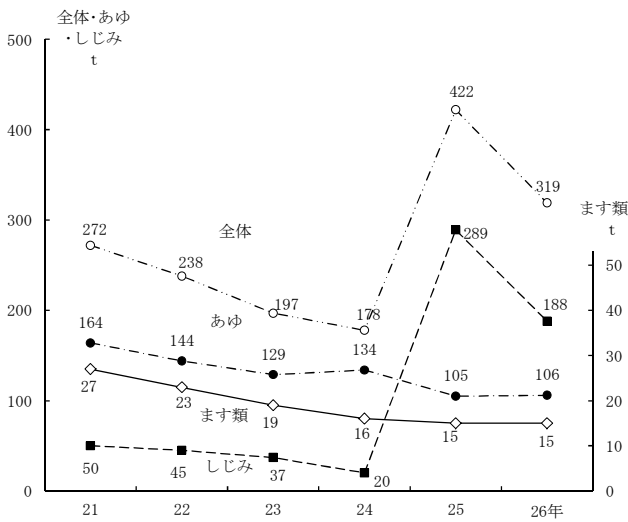
●内水面漁業漁獲量は319トン

26年の内水面漁業の漁獲量は319 tであり、前年に比べ24.4%の減少となりました。主な要因は、しじみの漁獲量が減少したことによります。また、あゆの漁獲量は106 tで、前年から1.0%の増加となっています（A図）。

●内水面養殖業収穫量は6,222トン

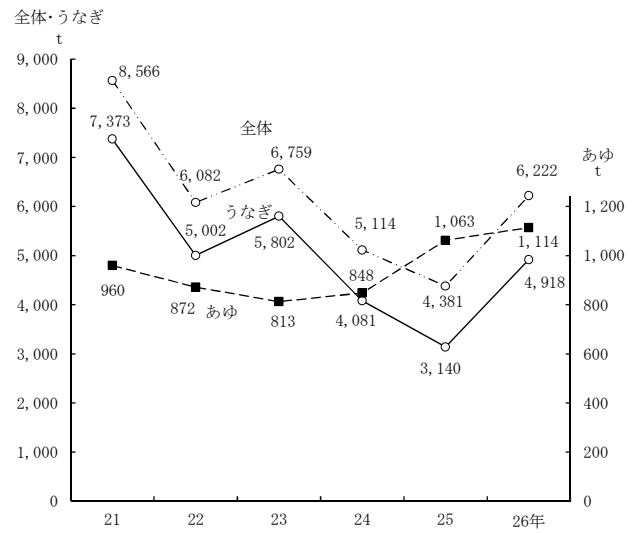
26年の内水面養殖業収穫量（観賞魚除く）は6,222 tであり、前年に比べ42.0%の増加となりました（B図）。あゆ養殖の収穫量は1,114 tであり、前年に比べ4.8%増加し、前年に続き全国1位となりました（B図）。26年の内水面養殖業の生産額は165億円であり、前年に比べ28.2%の増加となり、そのうちうなぎ養殖による生産額は139億円となっています（C図）。うなぎ養殖の収穫量は県内水面養殖業の約8割を占めており、26年は4,918 tで前年に比べ56.6%の増加となりました。全国の収穫量に占める割合は依然として高く、27.9%を占めています（D図）。

A図 内水面漁業魚種別漁獲量の推移

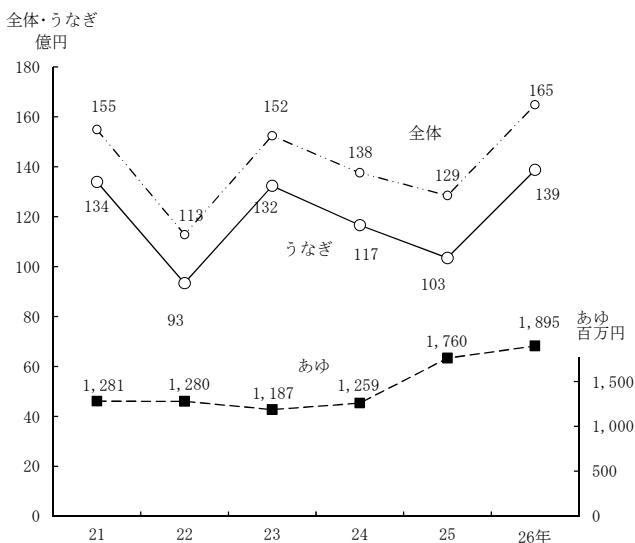


※しじみ漁獲量の集計方法は25年から変更

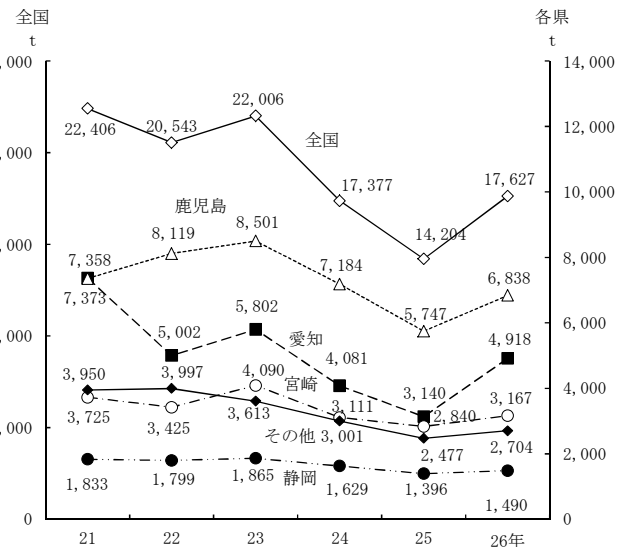
B図 内水面養殖業魚種別収穫量の推移



C図 内水面養殖業魚種別生産額の推移



D図 うなぎ養殖収穫量の主要県別推移



(資料 県水産課調べ (A図))

(資料 内水面漁業生産統計調査 (B, D図))

(資料 県水産課調べ (C図))

＜主要な問題の解説＞

＜内水面漁業の振興策＞

内水面漁業は、遊漁を通じた県民への憩いの場の提供や、健全な河川環境の確保など、山間地振興の一翼を担う公共的な役割を果たしています。

26年6月には内水面漁業の振興に関する初めての法律として「内水面漁業の振興に関する法律」が国会で成立しました。本県でも内水面漁業の主要魚種であるあゆについて、漁獲量増大のための種苗放流方法の検討を行うとともにあゆ種苗の特性評価を行っています。また、子供達に地元の河川で漁獲されるあゆ等に関する出前授業や放流体験を実施するとともに、漁場保全活動等を通じて、河川の持つ多面的機能を発揮するための取組を支援していきます。

＜内水面養殖業の振興策＞

本県の内水面養殖業は、うなぎ及びあゆ養殖を中心に盛んに行われています。食品の安全性に対する消費者の意識が高まる中、養殖業者等に対して水産用医薬品等の適正な使用、伝染性疾病のまん延防止の指導を行い、安全・安心な養殖水産物の生産・供給体制の確保に努めています。また、27年6月には内水面漁業の振興に関する法律に基づき、うなぎ養殖業が許可養殖業に指定され、うなぎ養殖を取り巻く環境が劇的に変化する中で、資源保護と養殖業の両立を目指すことが必要です。

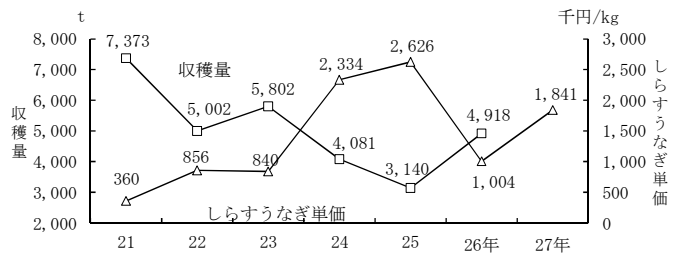
＜主要養殖業の動向＞

○うなぎ養殖業の動向

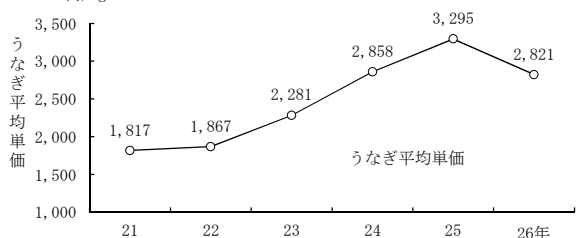
本県のうなぎ養殖は、西尾市（旧一色町）を中心とする西三河地区で盛んに行われており、26年は鹿児島県に次いで、全国第2位の収穫量となっています。

22年から25年の4年連続のしらすうなぎ採捕量低迷により、種苗単価の著しい上昇、池入れ量の減少がみられ、養殖経営、生産量に大きな影響を与えました（A図）。26年は採捕量が比較的多く種苗単価の低下がみられましたが、池入量制限が開始された27年には再上昇しています。このような池入量の低迷や制限による成鰻の品薄感から、うなぎ単価は高値で推移しています（B図）。

A図 うなぎ収穫量及びしらすうなぎ単価の推移



B図 うなぎ平均単価の推移



注) しらすうなぎ単価は、前年12月から当年4月までの平均単価
うなぎ平均単価は、全国平均単価

(資料 内水面漁業生産統計調査、県水産課調べ)

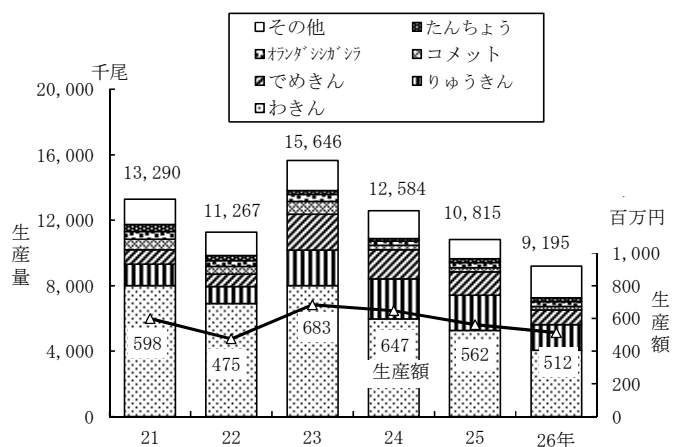
○きんぎょ養殖業の動向

県のきんぎょ養殖は、弥富市を中心に海部地区で行われており、奈良県に次いで全国第2位の生産（販売）量を上げています。

養殖品種は、わきん、りゅうきん、でめきんを中心に20種以上のきんぎょが、幅広く生産されています。本県は、他の生産県に比べ養殖対象となる品種が多く、特に高級魚が多いことが特徴となっています。

26年の生産量は9,195千尾で前年に比べ15.0%減少し、生産額は約5.1億円で前年に比べ8.9%減少しました（C図）。

C図 きんぎょ種類別生産量の推移



(資料 内水面漁業生産統計調査、県水産課調べ)

5 流通加工

水産物流通の動向

●中央卸売市場・地方卸売市場の流通量約224千 t

本県の水産物を取扱う市場は、27年4月現在で中央卸売市場2、産地地方卸売市場13、消費地地方卸売市場6の計21市場があり、26年に取引された水産物は224千 t、1,556億円でした。これは、前年(223千 t、1,489億円)と比べ数量で1,255 tの増加、金額では67億円の増加となっています。

本県の産地市場から県外へ移出された水産物の取扱量は約4千 t (6.9%)で、逆に県外から消費地市場へ移入された水産物の取扱量は約5千 t (32.8%)でした。

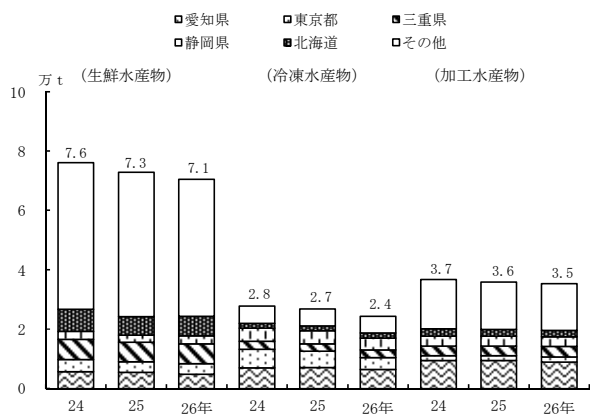
市場流通量224千 tのうち、名古屋市中央卸売市場における取扱量は前年より5,850 t減少の145千 tで、本県の取扱量の64.4%を占めており、水産物の基幹的な集配市場の機能を果たしています。

A図 26年の市場流通状況

		0		20		40		60		80		100%	
産地市場 13市場 63,928t	出荷先	県内 59,543t (93.1%)						県外 4,386t (6.9%)					
	品目	生鮮魚介類 63,873t (99.9%)						水産加工品 56t (0.1%)					
消費地市場 7市場 15,809t	入荷先	県内 10,620t (67.2%)						県外 5,189t (32.8%)					
	品目	生鮮魚介類 4,061t (25.7%)		水産冷凍品 7,482t (47.3%)		水産加工品 4,266t (27.0%)							
名古屋市 中央卸売 市場 144,517t	入荷先	愛知 24,232t (16.8%)	東京 11,016t (7.6%)	三重 13,394t (9.3%)	北海道 10,480t (7.3%)	静岡 10,775t (7.5%)	その他 74,620t (51.6%)						
	品目	生鮮水産物 70,510t (48.8%)			加工水産物 35,416t (24.5%)		冷凍水産物 24,320t (16.8%)		加工食料品 14,270t (9.9%)				

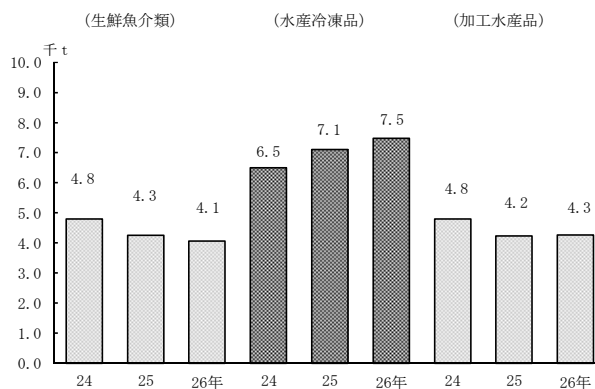
(資料 愛知県地方卸売市場年報、名古屋市中央卸売市場年報)

B図 名古屋市中央卸売市場入荷先別取扱量



(資料 名古屋市中央卸売市場年報)

C図 消費地市場取扱量



(資料 愛知県地方卸売市場年報)

〈水産物の輸出入〉

財務省の貿易統計によると、26年の水産物の総輸入額は1兆6,569億円、総輸出額は2,337億円で、対前年比でそれぞれ、4.9%、5.5%の増加となっています。輸入額は、9年をピークに減少傾向にありましたが、21年以降は増加に転じています（A図）。

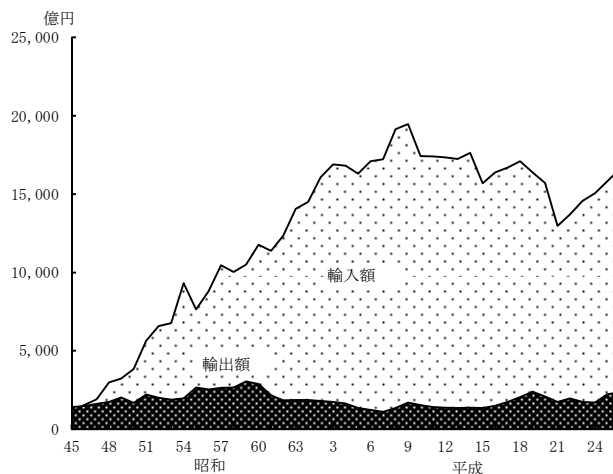
県水産業の主要品目について、近年の輸入量（全国）の推移を見ると、板海苔類は、17年をピークに減少傾向にありましたが、21年以降は再び増加傾向に転じています（B図）。

あさりは、23年に一旦減少後、24年以降は再び増加していましたが、26年は再び減少に転じています。

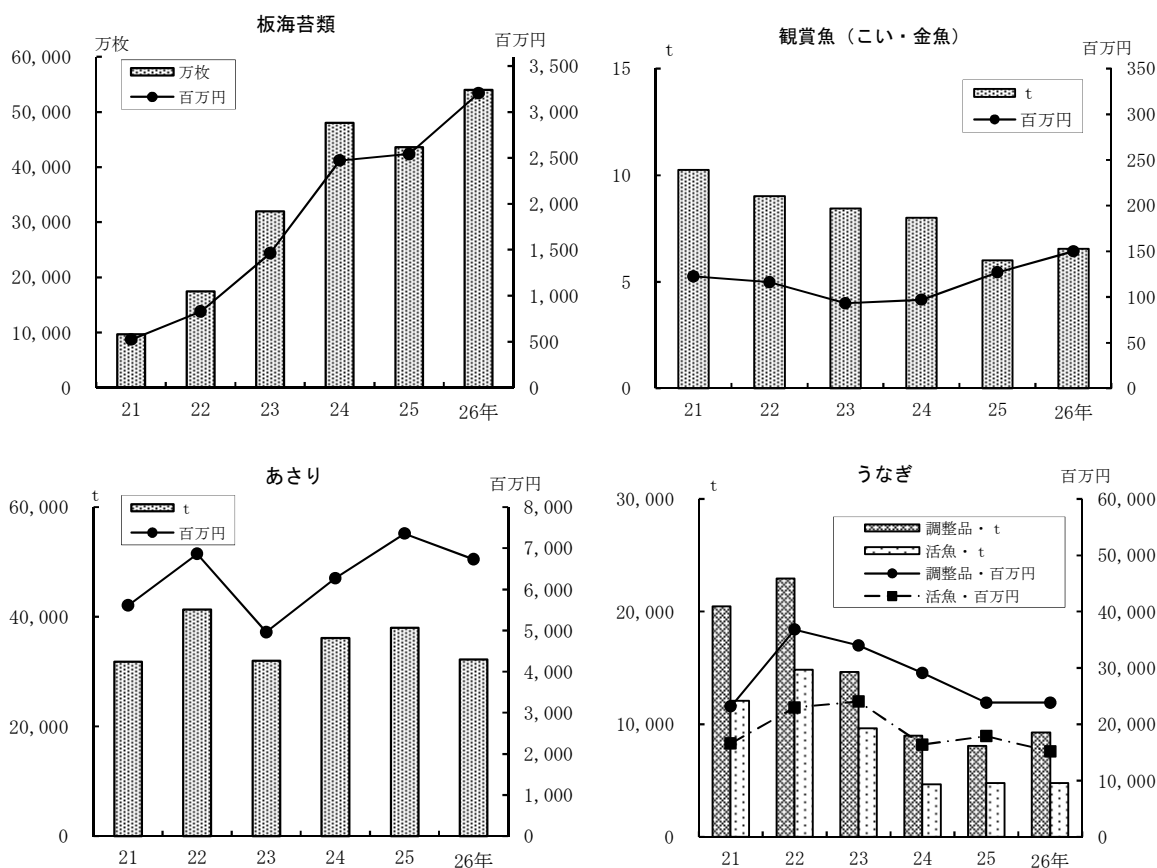
観賞魚（こい、金魚）は、減少傾向にありましたが、26年は増加に転じています。

うなぎは、減少傾向にあります。

A図 水産物の輸出入金額の推移



B図 品目別の輸入量・輸入金額の推移



（資料 貿易統計（A、B図））

水産物価格及び水産加工品の動向

●産地市場の平均単価は2.4%上昇

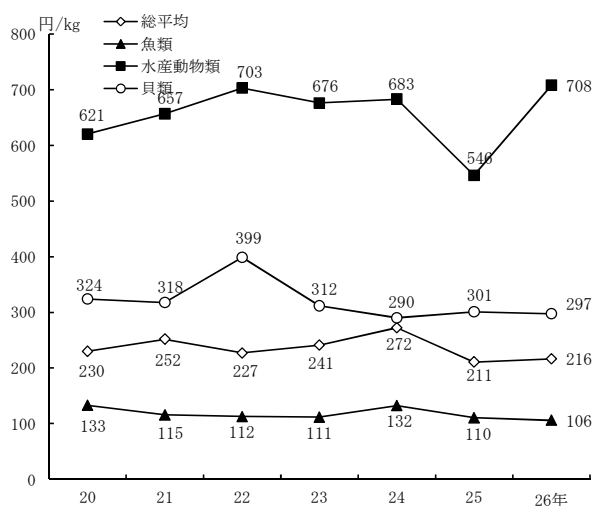
26年の産地市場（愛知県内の産地地方卸売市場13市場平均）における生鮮魚の1kg当たりの平均単価は216円となり、前年に比べ5円（2.4%）上昇しました。

種類別の単価では、魚類が106円で、前年に比べ4円（3.6%）低下、水産動物類は708円で162円（29.7%）上昇し、貝類は297円で4円（1.3%）低下しました（A図）。

●消費地価格の総平均は6.9%上昇

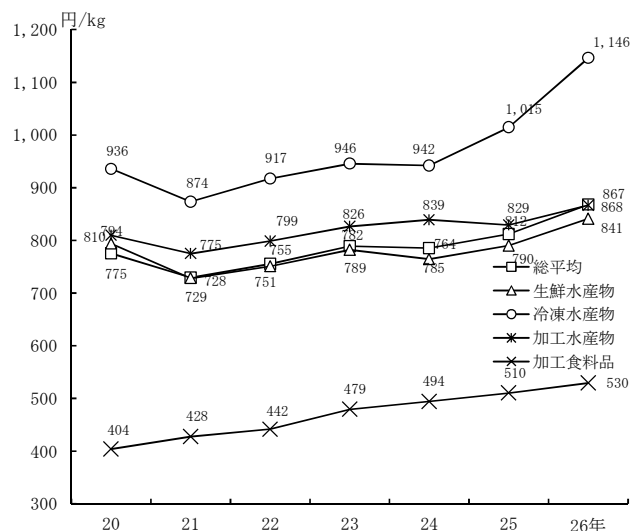
消費地市場（名古屋市中央卸売市場）における水産物の1kg当たりの総平均価格（取扱金額／取扱数量）は868円で前年に比べ56円（6.9%）上昇しました。また、種類別では、生鮮水産物は841円で前年より51円（6.5%）、冷凍水産物は1,146円で132円（13.0%）、加工食品は530円で19円（3.8%）、加工水産物は867円で38円（4.5%）上昇しました（B図）。

A図 産地市場における水産物価格の推移



（資料 愛知県地方卸売市場年報）

B図 消費地市場（名古屋市中央卸売市場）における水産物価格の推移



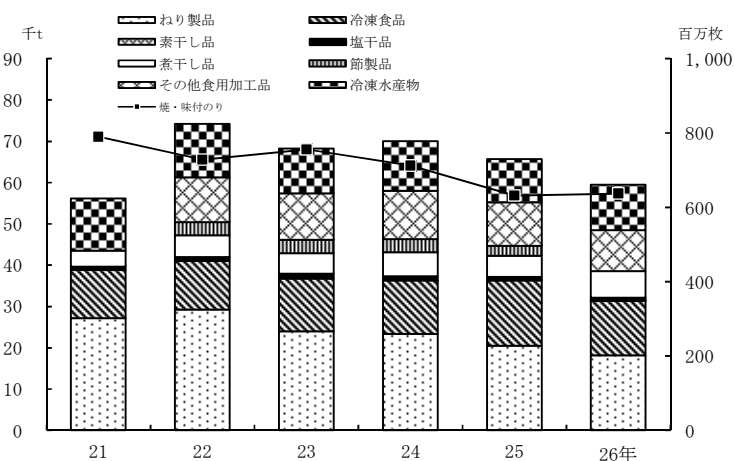
（資料 名古屋市中央卸売市場年報）

●焼・味付け海苔は0.9%増加

26年の水産加工品のうち、ねり製品は18,154 tで前年に比べ2,389 t（11.6%）、冷凍食品は13,171 tで2,618 t（16.6%）減少しました。

焼・味付け海苔は6億3,737万枚で、5,617万枚（0.9%）増加しました（C図）。

C図 水産加工品生産量の推移



（資料 水産加工統計調査）

〈主要な問題の解説〉

〈水産物の消費〉

四方を海に囲まれた我が国には、多彩な魚食文化が発展しました。しかし、近年、若年層を中心に急速な「魚離れ」が進行しており、年間1人当たりの魚介類消費は、10年前に比べて大きく減少しています(A表)。

世帯人数の減少等により簡便化志向が顕著になったことを背景として、消費者の調理のしやすさ、食べやすさが優先され、加工品を購入する傾向が強まったことで、消費者ニーズに応えるため水産物の規格化による大量流通が進みました。

水産物は、カルシウムを始めとするミネラルのほか、不飽和脂肪酸であるDHA(ドコサヘキサエン酸)やEPA(エイコサペンタエン酸、「別名EPA:エイコサペンタエン酸」)等、人の健康に有益な機能成分の宝庫でもあり、健全な食生活に向け、食育の推進が重要視されています。

〈水産物の自給率〉

26年度の水産物の自給率(重量ベース)は、魚介類(食用)で60%となりました。

国内生産量は若干増加しましたが、輸入量の減少に上回って輸出量が減少し国内消費仕向も若干増えたことにより、自給率は前年並となりました(B表)。

A表 年間1人当たりの魚介類品目別家計消費の推移(全国)

	平成17 (2005)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	増減率(%)	
						27/17	27/26
数量							
生鮮魚介計	12,690	10,085	9,935	9,366	9,222	▲ 27.3	▲ 1.5
鮮魚小計	11,435	9,117	9,028	8,534	8,397	▲ 26.6	▲ 1.6
まぐろ	1,011	728	774	763	725	▲ 28.3	▲ 5.0
あじ	541	393	357	338	369	▲ 31.8	9.0
いわし	254	224	241	225	255	0.3	13.5
かつお	449	300	324	315	334	▲ 25.5	6.0
かれい	423	351	338	342	313	▲ 26.1	▲ 8.6
さけ	960	1,021	999	847	907	▲ 5.6	7.1
さば	459	405	385	378	365	▲ 20.5	▲ 3.3
さんま	766	491	438	512	467	▲ 39.0	▲ 8.7
たい	259	193	164	198	193	▲ 25.6	▲ 2.5
ぶり	663	692	702	635	647	▲ 2.5	1.9
いか	972	759	749	682	652	▲ 32.9	▲ 4.4
たこ	289	190	257	224	225	▲ 22.1	0.4
えび	677	631	558	438	460	▲ 32.1	5.0
かに	329	230	202	181	185	▲ 43.8	2.3
貝類小計	1,242	963	903	827	815	▲ 34.3	▲ 1.4
あさり	424	343	345	303	300	▲ 29.3	▲ 0.9
しじみ	149	113	91	95	100	▲ 33.2	4.5
かき	253	164	162	165	161	▲ 36.4	▲ 2.6
ほたて	246	236	209	170	158	▲ 35.7	▲ 6.8
塩干魚介計	3,188	2,832	2,869	2,620	2,652	▲ 16.8	1.2
塩さけ	549	512	540	467	519	▲ 5.4	11.2
(参考) 生鮮肉	12,603	14,306	14,821	14,889	15,095	▲ 19.8	1.4
牛肉	2,289	2,197	2,258	2,167	2,067	▲ 9.7	▲ 4.6
豚肉	5,479	6,132	6,372	6,380	6,589	20.3	3.3
金額							
魚介類支出計	29,349	25,316	25,682	26,226	26,929	▲ 8.2	2.7
生鮮魚介計	17,669	14,497	14,724	15,036	15,388	▲ 12.9	2.3
鮮魚小計	16,073	13,191	13,431	13,783	14,129	▲ 12.1	2.5
まぐろ	2,209	1,672	1,756	1,903	1,887	▲ 14.6	▲ 0.8
あじ	527	404	382	399	432	▲ 18.1	8.1
いわし	220	165	183	193	216	▲ 2.0	11.8
かつお	653	454	498	526	536	▲ 17.9	1.9
かれい	513	405	393	419	392	▲ 23.7	▲ 6.5
さけ	1,205	1,390	1,381	1,379	1,511	25.3	9.6
さば	402	348	345	355	365	▲ 9.1	3.0
さんま	484	354	359	414	405	▲ 16.3	▲ 2.2
たい	457	344	322	361	376	▲ 17.8	4.2
ぶり	1,119	1,065	1,084	1,025	1,083	▲ 3.2	5.6
いか	963	742	763	737	771	▲ 19.9	4.7
たこ	474	375	458	442	455	▲ 4.0	3.0
えび	1,243	1,047	1,004	975	1,055	▲ 15.2	8.2
かに	768	612	602	632	637	▲ 17.1	0.8
貝類小計	1,597	1,306	1,292	1,253	1,260	▲ 21.1	0.6
あさり	366	326	335	304	310	▲ 15.4	2.1
しじみ	187	140	132	126	142	▲ 24.0	12.5
かき	415	299	292	315	317	▲ 23.6	0.5
ほたて	433	407	383	355	343	▲ 20.8	▲ 3.4
塩干魚介計	5,404	4,665	4,727	4,796	4,962	▲ 8.2	3.5
塩さけ	675	628	659	690	776	15.0	12.4
魚肉練製品	2,819	2,863	2,787	2,857	2,980	5.7	4.3
他の魚介加工品	3,457	3,291	3,445	3,536	3,599	4.1	1.8
(参考) 生鮮肉	18,819	19,182	20,314	22,415	23,622	25.5	5.4
牛肉	6,798	5,937	6,423	6,989	7,054	3.8	0.9
豚肉	7,314	7,762	8,180	9,135	9,867	34.9	8.0

資料：平成27年度水産白書(水産庁)より(総務省「家計調査」(二人以上の世帯(農林漁家世帯を除く))に基づき水産庁で作成)

B表 魚介類国内消費仕向量及び自給率の推移

	平成16年 年度 (2004)	21 (2009)	24 (2012)	25 (2013)	26 (2014) (概算)	増減率(%)	
						26/16 (2014/2004)	26/25 (2014/2013)
合計	10,519	9,154	8,297	7,868	7,963	▲ 24.3	1.2
食用魚介類	7,997	6,922	6,606	6,280	6,274	▲ 21.5	▲ 0.1
生鮮・冷凍	3,428	2,849	2,757	2,448	2,517	▲ 26.6	2.8
塩干・くん製・その他	4,220	3,759	3,514	3,501	3,419	▲ 19.0	▲ 2.3
かん詰	349	314	335	331	338	▲ 3.2	2.1
非食用(飼肥料)	2,522	2,232	1,691	1,588	1,689	▲ 33.0	6.4
国民1人・1年あたり供給純食料(kg)	34.6	30.1	28.9	27.4	27.3	▲ 21.1	▲ 0.4
食用魚介類自給率(%)	55	62	57	60	60	9.1	0.0
(参考) 非食用を含む自給率(%)	49	53	52	55	54	10.2	▲ 1.8

資料：平成27年度水産白書(水産庁)より(農林水産省「食料需給表」)

注：1) 自給率=国内生産量/国内消費仕向量×100

2) 数値は原魚換算したものであり、鯨類及び海藻類を含まない。

6 技術の開発・普及

試験研究の動き

水産試験場では、「愛知県農林水産業の試験研究基本計画2015」に基づいて、4つの重点研究目標の達成に向け計画的に試験研究を行いました。

27年度における重点研究目標ごとの研究事項数は、「豊かな漁業資源を育む内湾漁場環境の回復」が5項目、「水産資源の持続的利用による水産物の安定供給」が8項目、「生産技術の革新による競争力ある経営体の育成」が2項目、「ブランド力強化による水産業の展開」が5項目、合計20項目の研究事項に取り組みました。

4つの重点研究目標のそれぞれについて、特に優れたものや社会的関心の高かったものの成果又は進捗状況は以下のとおりです。

●重点研究目標ごとの主な成果又は進捗状況

重点研究目標	主な成果又は進捗状況
豊かな漁業資源を育む内湾漁場環境の回復	渥美湾奥部の干潟・浅場の重要性 渥美湾奥部には魚介類の稚仔魚が多く見られます。貧酸素水塊が発達する夏季には稚仔魚が見られなくなることから、貧酸素水塊がこれら魚介類の再生産を妨げていることがわかりました。
水産資源の持続的利用による水産物の安定供給	天然遡上アユ資源を有効活用する方法 天然遡上アユは、遡上初期の3月から終期の5月末にかけて、魚体サイズが小型化します。遡上初期の大型の天然遡上アユをダム等で遡上ができない漁場に移植放流することで天然資源を有効に活用できることがわかりました。
生産技術の革新による競争力ある経営体の育成	小型底びき網及びアナゴ籠の網目拡大による小型魚の保護 小型底びき網及びアナゴ籠では、商品サイズとしては小さい体長30cm未満のマアナゴの漁獲割合が大きい。漁獲データを基にした解析により、小型底びき網及びアナゴ籠の網目を拡大すると、漁獲量の増加と価格向上の効果のあることがわかりました。
ブランド力強化による水産業の展開	アルビノチョウテンガンの生産現場での評価 開発したアルビノチョウテンガンの生産現場から販売までの状況を調べました。生産現場では、26年に試験配布した稚魚が順調に成長・産卵しました。市場では、生産した魚が通常のチョウテンガンの約3倍の価格で取引され、付加価値の高い品種であることが確認できました。

●水産試験場公開デー

試験研究の成果を広く県民の皆様にPRするとともに、水産業に対する理解を深めていただくことを目的として、27年10月31日に「公開デー」を開催しました。27年度は、テーマを「見て！食べて！楽しんで！おさかな博士になろう」とし、愛知県の特産品であるアサリとウナギに着目した新企画、魚介類に触れる体験型企画、県産水産物の試食・販売、研究成果の展示、施設見学案内等を行いました。来場者数は小中学生とその保護者を中心として631名でした。



アサリとウナギの新企画の様子

〈主要な問題の解説〉

〈愛知県農林水産業の試験研究基本計画 2020（水産業部門）を策定しました〉

1 計画策定の経緯

愛知県では、16年4月に、「将来にわたって安全で良質な食料等の安定的な供給の確保並びにその適切な消費及び利用」、「森林等の有する多面的機能の適切かつ十分な発揮による安全で良好な生活環境の確保」の2つを基本理念とする「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例」を施行しました。この条例に基づき、食と緑に関する施策の基本的な方針として「食と緑の基本計画」を策定し、5ヵ年ごとに見直しを進めてきました。28年3月に32年度を目標年度とする「食と緑の基本計画 2020」が策定されたことに伴い、同年度を目標として農林水産業の技術的支援の指針となる「愛知県農林水産業の試験研究基本計画 2020」を策定しました。

水産試験場では、「愛知県農林水産業の試験研究基本計画 2020」の策定作業にあたり、今後5ヵ年の研究の道しるべとなる5つの重点研究目標を柱とする22項目の研究事項を掲げ、43項目の具体的な達成目標を設定しました。新たな重点研究目標と研究事項は次のとおりです。

2 水産業部門の重点研究目標と研究事項

【幅広い分野の先端技術等を活用した技術の開発】

重点研究目標	研究事項
多様な生態系を育む内湾環境の創出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内湾環境のモニタリングと情報発信及び予察による漁業被害軽減技術の開発 ○ 貝類の毒化がもたらす漁業被害を軽減させる技術の高度化 ○ アサリ稚貝大量発生機構の解明及びアサリ稚貝発生場の造成技術の開発 ○ 貧酸素水塊や硫化水素が生物に及ぼす影響の解明及び被害軽減技術の開発
水産資源の合理的な漁獲による持続的利用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 渥美外海及び内湾における海況モニタリングと情報発信 ○ 多獲性浮魚類の資源量予測の精度向上と資源管理手法の開発 ○ 環境変化や生態を考慮したイカナゴ資源管理手法の高度化 ○ 環境や生態を考慮した底生生物資源の資源管理手法の開発 ○ 資源への影響を低減する小型底びき網の漁具及び曳網方法の開発 ○ 効果的な漁場整備のための魚礁効果調査
環境変化に対応した増養殖技術による安定的な漁業生産の実現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 藻場の再生技術の開発 ○ アサリの安定生産技術の開発 ○ 環境変化に対応した種苗放流技術の開発 ○ 生態を考慮した栽培漁業技術の開発 ○ 環境変化に対応した藻類養殖技術の開発
内水面水産資源の維持・増大と養殖技術の高度化	<ul style="list-style-type: none"> ○ ウナギ資源増大のための放流技術の開発 ○ 再生産を考慮したアユ資源の維持・増大技術の開発 ○ ウナギ人工種苗生産技術の開発 ○ 「絹姫サーモン」の生産管理手法の開発 ○ サツキマス新たな養殖技術の開発 ○ 養殖魚の防疫体制の確立と食品としての安全性の確保

【幅広い需要に応える戦略的な品種の開発】

重点研究目標	研究事項
愛知の強みを生かした戦略的な品種開発による幅広い需要への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 産地の競争力を高めるノリ及びキンギョの品種開発

7 時の話題

食と緑の基本計画 2020

本県では、農林水産業と商工業がバランスよく発展し、産地と大消費地が隣接しているという本県の強みを生かして、本県農林水産業の振興、パワーアップを図るため、32年度(2020年度)を目標年度とする「食と緑の基本計画 2020」(以下「計画」という。)を策定しました。

この計画は、食と緑に関する施策の基本的な方針や目標を取りまとめたほか、本県の強みや特長を生かした12の重点的なプロジェクトを打ち出すなど、日本一元気な愛知にふさわしい競争力のある農林水産業の実現に向けた新たな計画として推進していきます。

1 基本計画の趣旨

この計画は、16年4月に施行した「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例(以下「条例」という。)」の基本理念を実現するために策定するもので、食と緑に関する施策の基本的な方針であるとともに県民一人ひとりが身近な農林水産業を見つめ直し、積極的に関わっていくための、県民の自主的な取組の指針となることも期待するものです。

2 計画期間

28年度(2016年度)から32年度(2020年度)

3 特長

(1) 施策を3つの「めざす姿」で整理・体系化

条例の基本理念に基づき「競争力の高い農林水産業」、「農林水産業への理解」、「元気な地域づくり」の3つの視点から、32年度にめざす姿を掲げ、その柱のもとに、施策を体系化しています。

柱1：競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保

柱2：農林水産業への理解の促進と食料等の適切な消費の実践

柱3：自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり

(2) 「主要目標」と「施策に対応した数値目標」を設定

「めざす姿」全体に対応した目標を「主要目標」とするとともに、計画の進捗を評価するため32の目標項目とそれに対応した36の数値目標を設定しています。

ア 主要目標

農林水産業県内総生産の全国シェア 3.5%

イ 施策に対応した数値目標(水産関係の主な項目)

- ・ 持続可能で活力のある水産業の実現

漁場の整備面積 5年間で160ha

栽培漁業センターにおける放流種苗の生産尾数 毎年28,700千尾・個

新規漁業就業者数 毎年35人

- ・ 森林・農地・漁場の有する多面的機能の発揮

森林・農地・漁場の保全・整備面積 干潟・浅場 毎年5ha

森林・農地・漁場の保全活動面積 漁場 2,400ha

(3) 重点プロジェクトを設定

本県の強みや特長を生かした12の重点的なテーマを設定し、その実現に必要な各種の取組を「重点プロジェクト」としてパッケージ化しています。

表 重点プロジェクト

No.	プロジェクト名	No.	プロジェクト名
1	次代の「やる気」応援！農業担い手プロジェクト	7	あいちの水産を支える伊勢湾・三河湾の生産力強化プロジェクト
2	あいちの水田農業強化プロジェクト	8	いいともあいち・ブランド力強化プロジェクト
3	あいちの施設園芸高度化プロジェクト	9	直売所の交流&感動拠点化プロジェクト
4	「花の王国あいち」パワーアッププロジェクト	10	農山漁村地域の防災・減災対策プロジェクト
5	あいちの畜産強化プロジェクト	11	緑豊かなあいちづくりプロジェクト
6	あいちの森林資源を生かす林業プロジェクト	12	三河山間地域の賑わいづくりプロジェクト

(重点プロジェクト No. 7)

あいちの水産を支える伊勢湾・三河湾の生産力強化プロジェクト

～干潟・浅場の造成、漁村の活性化や資源管理の取組を進め、

水産資源の持続的利用を推進します～

干潟・浅場の造成や藻場の保全と漁村の活性化に合わせて、資源管理の取組を強化し、あいちの水産を支える伊勢湾・三河湾の生産力をさらに高め、水産資源の持続的利用を推進します。

背景

- 魚類や貝類などは、適切な管理により持続的な利用が可能となる循環型資源であり、資源管理の強化が求められています。
- 伊勢湾・三河湾は、水産資源の産卵場や保育場として、あいちの水産を支える大切な役割を果たす干潟や藻場が広がる豊かな漁場です。
- 今後も、多種多様なあいちの水産物を、安定的に供給することが期待されています。

主な取組

【干潟・浅場の造成と藻場の保全】

- ・干潟・浅場の造成と機能回復を図ります。
- ・藻場などの保全活動を推進します。

【漁村の活性化】

- ・水産物の安定供給を支えるための施設整備を重点的に支援し、力強い漁業生産地をつくります。

【資源管理の取組の強化】

- ・新たな漁業調査船を活用した小型魚を保護する改良漁具の開発や漁業者の資源管理の取組を強化します。
- ・日本一のあさり漁業を支える六条潟の研究や効果的な種苗放流を推進します。

あさりとうなぎのブランド力強化の取組

愛知県の代表的な水産物であるあさりの漁獲量は全国1位（26年：10,563 t、全国シェア 54.3%）、養殖うなぎの生産量は全国2位（26年：4,918 t、27.9%）ですが、消費者の認知度は高くありません。このため、県ではあさりとうなぎのブランド力の強化に取り組んでいます。

1 あさりのブランド力強化

(1) 親子あさり漁業体験学習

- ・ 実施日 平成27年7月30日（木）、31日（金）
- ・ 場 所 三河湾一色干潟（西尾市一色町衣崎海岸）
- ・ 参加者 小学生の親子72名
- ・ 内 容

あさりやあさり漁への理解促進を図るため、漁業体験学習会を開催しました。

学習会当日はとても暑い日になりましたが、参加者は、漁業者の指導を受け、熱心に漁業体験に取り組んでいました。また、漁業体験の後は、地元あさりを使ったみそ汁の試食を行い、あさりや愛知の海の豊かさを知ってもらうことができました。



漁業体験



試食体験

(2) あいちのあさり料理コンテスト

- ・ 開催日 平成27年10月10日（土）
- ・ 場 所 名古屋文化短期大学（名古屋市東区）
- ・ 参加者 応募者37名（うち、実技審査10名）
- ・ 内 容

あさりの消費拡大を図るため、家庭でできるアイデア料理コンテストを開催しました。

書類審査を通過した10名による実技審査の結果、あさりと愛知県産の農林水産物（野菜、豚、うずらの卵）をコラボさせた「あいちのあっさりしゅうまい」が最優秀賞である「愛知県知事賞」に選ばれました。

入賞レシピは、下記webページにて公開しています。

→<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/suisan/ryourikonntesuto.html>



コンテストの様子



あいちのあっさりしゅうまい

(3) あさりの魅力発信イベント

- ・ 開催日 平成 28 年 2 月 21 日 (日)
- ・ 場 所 金山総合駅連絡通路橋内 イベント広場 (名古屋市熱田区)
- ・ 来場者 約 1,300 名
- ・ 内 容

全国一の漁獲量を誇るあさりのブランド力強化と消費拡大を図るため、愛知県漁業協同組合連合会とともに、旬を迎えるあさりのPRイベントを実施しました。

イベントでは、知事によるトップセールスを始め、あさりみそ汁の試食、あさり料理のレシピやパンフレットの配付、あさりを使ったゲームなどを行いました。

イベントには、複数のテレビ局の取材があり、多くの県民に愛知県産あさりをPRすることができました。



知事のトップセールス



あさりを使ったゲーム

2 うなぎのブランド力強化

うなぎの消費喚起推進イベント

- ・ 開催日 平成 28 年 2 月 27 日 (土)
- ・ 場 所 金山総合駅連絡通路橋内 イベント広場(名古屋市熱田区)
- ・ 来場者 約 1,000 名
- ・ 内 容

養殖生産量全国 2 位の「愛知県産うなぎ」のブランド力強化と消費量の少なくなる時期の消費拡大を図るため、愛知県養鰻漁業者協会の協力を得て、PRイベントを開催しました。

イベントでは、元ナゴヤキャッスル名誉総料理長の高恒夫シェフが考案したうなぎ料理の試食及び高恒シェフの講演、うなぎPR隊によるうなぎ体操、水産加工品の販売などを行いました。



うなぎの試食



うなぎPR隊の体操

もうかる漁業創設支援事業

1 もうかる漁業創設支援事業について

もうかる漁業創設支援事業は、より厳しい経営環境下でも操業を継続できるよう、漁業者や地域が一体となって、新しい操業体制や生産体制へ転換することを目的に、改革型漁船の導入等による収益性向上を実証する際の経費を助成する事業です。

この事業では、地域の漁業者等で構成する地域プロジェクト協議会が収益性の向上に向けた取組内容を記載した「改革計画」を作成し、国の承認を得た後、事業を実施します。

2 県内における事例について

県内では、蒲郡地域プロジェクト協議会により、沖合底びき網漁業の収益性向上に向けた改革計画が作成されています。この計画は、従来よりも少ない人数で操業する体制や、省エネ・省コスト化、漁獲物の高付加価値化、地域が一体となって流通・販売対策に取り組むことで収益性の改善を図ることを取組内容とし、27年9月から蒲郡漁業協同組合により、改革型漁船を導入して実施されています。

なお、改革型漁船の建造には、漁業近代化資金*という漁業制度資金が活用されています。

※漁業近代化資金とは、漁業者が漁船や漁業用施設などを取得する資金を融資機関から借りる際に、その借入金に係る利子の一部に対して、県が利子補給を行っている制度です。

(1) 蒲郡地域プロジェクト改革計画

○ 計画期間

27年度から32年度まで

○ 実証事業の種類

収益性改善の実証事業

○ 改革のコンセプト

作業性・安全性向上や就労環境改善の取組により乗組員の定着を促進しつつ、現状より少ない乗組員でも操業可能な省人化操業体制の実現を目指す。

加えて、省エネ・省コスト化、漁獲物の高付加価値化及び地域が一体となって取り組む流通・販売対策などの取組により収益性の改善を図り、乗組員定着促進の取組に伴う水揚げの減少を補い、足腰の強い沖合底びき網漁業経営を実現する。

(2) 事業実施の内容

○ 事業実施主体

蒲郡漁業協同組合

○ 改革型漁船

・ 船名：寿丸

(総トン数：19トン 進水：H27.8)

・ 漁業種類：沖合底びき網漁業



改革型漁船（寿丸）

○ 取組内容

① 乗組員の定着促進に関する事項

- ・ 操業体制の見直し
操業体制の見直しや油圧クレーンを導入
- ・ 安全性の向上
船側通路の拡大、サイドスラスタ等を導入
- ・ 就労環境の改善
定期休漁日制の導入、居室環境の改善等



油圧クレーンによる搬出作業の軽労化

② 漁船の省エネ・省コスト化に関する事項

- ・ 省エネ・省コスト化対策：低燃費型主機関の導入、軽合金製漁船の導入

③ 漁獲物の高付加価値化に関する事項

- ・ 漁獲物の高鮮度化
海水滅菌装置及びシルクアイス装置、
魚倉クーラー等の導入



鮮度向上による、生食向けの出荷

④ 流通・販売の拡大に関する事項

- ・ 県内消費の拡大
蒲郡メヒカリの PR 活動
- ・ 関係機関との連携
蒲郡市観光協会等との連携



めひかりロゴマークとキャラクター

(3) 改革の取り組みにより想定される波及効果

漁業経営の改善と乗組員の安定確保が可能となり、本県沖合底びき網漁業全体の持続的発展が期待できる。また、高鮮度な沖底漁獲物の供給が可能となり、蒲郡ならではの魚介類を求める観光客の期待に応えることができる。

沖合底びき網漁業について

沖合底びき網漁業は、水深約 100～500 メートルの深い海で操業する底びき網漁業のことです。

愛知県の沖合底びき網漁業者は、一隻の漁船で、操業しようとする漁場を広く取り囲むように、曳縄 → 網 → 曳縄の順に投入した後、約 1 時間網を曳いて操業します。

主な漁獲物はにぎす、あおめえそ(めひかり)、あかざえび、あかむつ等です。



きんぎょの新品種を開発、そして新たな用途で特許取得！

1 弥富金魚の歴史と現状

海部地域（弥富市、津島市、愛西市及び飛島村）の金魚養殖業は、江戸時代末期に大和国郡山（奈良県大和郡山市）の金魚商人が名古屋へ行商に行く途中、前ヶ須（弥富市）の池で休ませていたきんぎょを地元の人々が購入して飼育し販売したことが始まりで、現在のような養殖形態となったのは明治時代からといわれています。

この地域は木曾川下流の水郷地帯で、水量・土質共に金魚養殖に最適な土地であったことから、農業の副業として金魚養殖は盛んに行われるようになりました。昭和50年頃には生産量日本一となり、名実ともに一大生産地となりました。

しかし、近年、生産地の都市化による養殖面積の減少、生活様式の変化や趣味の多様化などによる需要の低迷、高齢化や新規参入者の減少による生産者の減少などの影響により、生産量は最盛期と比較すると大幅に減少したことから、地元業者からは産地復活に向け、「話題性のあるきんぎょの開発」や「観賞以外の用途の開発」などの強い要望があります。

2 水産試験場における新品種開発と生産現場における評価

水産試験場では、昭和63年から眼が赤く見える「アルビノ」という形質を持った新品種を開発することに取り組み、平成19年に「アルビノリュウキン」、20年に「アルビノランチュウ」、25年には、目が上を向いていることから「赤い眼」という特徴をさらに際立たせた「アルビノチョウテンガン」(A図)を開発しました。

これらの新品種は弥富金魚漁業協同組合の研究会員に試験配布され飼育試験が行われましたが、いずれの品種も良好な飼育結果が得られました。また、水産試験場が金魚卸売市場でこれら新品種1尾あたりの価格を調査したところ、いずれの品種も眼の黒い通常の品種と比べて約2～5倍の値段となり、付加価値の高い品種であることが確認できました。

今後も業界のニーズに沿った付加価値の高い新品種を開発を進めていきます。

新品種の市場取引価格

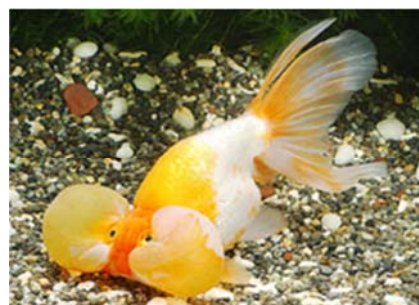
品種	リュウキン		ランチュウ		チョウテンガン	
	アルビノ種	通常種	アルビノ種	通常種	アルビノ種	通常種
価格（1尾あたり）	100～120円	60～70円	300～500円	150～200円	500～700円	150～300円

※通常種：通常の黒い眼の品種

（県水産試験場調べ）



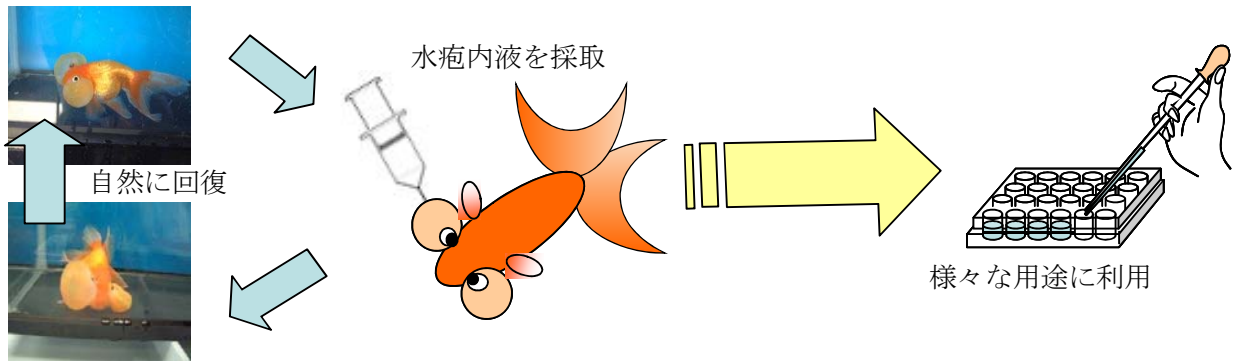
A図 アルビノチョウテンガン



B図 スイホウガン

3 きんぎょの新たな用途の開発と特許の取得

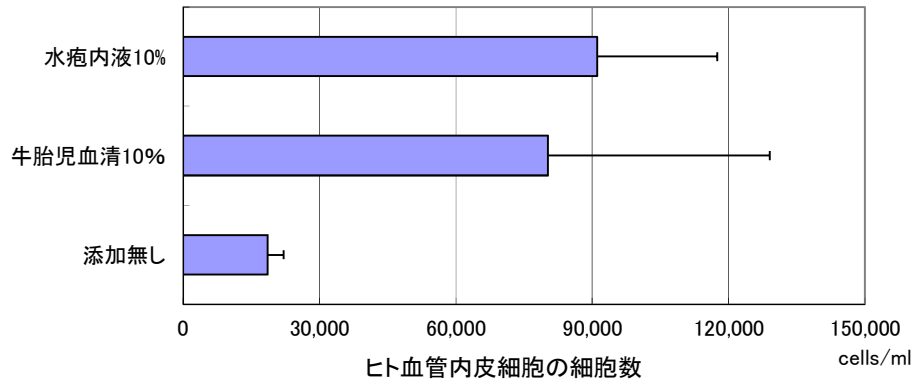
水産試験場では、きんぎょの観賞以外の用途について研究を進めてきました。きんぎょの品種の一つであるスイホウガン（B 図）は、両目の周囲に大きな水疱が形成され、この水疱はリンパ液のような液体（以下「水疱内液」という。）で満たされています。水疱内液は、体長 10cm 体重 150g 程度の大型個体であれば、注射器を用いて一度に最大 40mL 程度を採取でき、引き続き飼育すれば数か月で元の状態に戻るため、同じ個体から何度も採取することができます（C 図）。



採取後のスイホウガン

C 図 水疱内液の採取と利用

この水疱内液について、名古屋大学との共同研究等を進めた結果、①魚類未受精卵の保存、②魚類細胞を培養する際の増殖促進、③動物細胞を培養する際の増殖促進、④免疫関連物質の蓄積、といった用途で利用できる可能性が示されました。このうち、③動物細胞を培養する際の増殖促進については、ヒト血管内皮細胞の細胞培養において、一般的に培養添加剤として使用される牛胎児血清に匹敵する増殖効果が水疱内液で確認できました（D 図）。



D 図 ヒト血管内皮細胞を水疱内液と牛胎児血清で培養した場合の比較

現在、医学や試験研究の分野を中心に動物細胞の培養が広く行われています。培養した細胞により、ヒトや動物の様々な組織から採取した細胞の性状の研究、医薬品の有効性の評価、ワクチンや抗体、医薬品などの生産、病気の診断などが古くから行われてきました。また近年 iPS 細胞などで注目される再生医療では、細胞培養は中心となる技術となっており、こうした分野で水疱内液を利用できれば、広い範囲で応用できます。また、安全面については、魚類と哺乳動物ではウイルスやプリオンなど、ろ過により取り除けない病原体による共通感染症が確認されていないため、水疱内液は臨床で使用する上で安全性が高いと考えられます。これらのことから、水疱内液を培地添加剤として動物細胞培養で利用する技術について特許の出願を行い、特許の取得に至りました（平成 27 年 12 月 11 日 特許第 5849257 号「培地添加剤及びその利用」）。

今後は、更に別の用途についても探索を進めるとともに、免疫関連物質を蓄積する性質の有効利用や細胞培養培地添加剤としての使いやすさの向上、応用範囲の拡大などの研究を進めていきます。

[資料編]

目次

I 愛知の水産業

1 経済活動別県内純生産	47
2 経済活動別就業者数	47
3 愛知県の漁業・養殖業全国順位	48
4 主要品目別全国順位	49

II 漁業経営

5 階層別地域別海面漁業・養殖業経営体数	50
6 主とする漁業種類別経営体数	51
7 営んだ漁業種類別経営体数	51
8 市町別海面漁業・養殖業経営体数	52
9 内水面養殖業経営体数	52
10 男女別男子年齢別漁業就業者数	52
11 新規漁業就業者数	52
12 高校卒業者の卒後状況	53
13 漁業権免許件数一覧表	53
14 遊漁船業者登録件数	53
15 漁家経済	53
16 漁業近代化資金利子補給承認状況	54
17 漁業振興資金融資状況	54
18 沿岸漁業改善資金融資状況	54
19 地域別海水動力漁船隻数	55
20 海水動力漁船階層別隻数、トン数及び馬力数	56
21 海水動力漁船漁業種類別隻数、トン数及び馬力数	56
22 海水動力漁船階層別船質別隻数	57
23 海水動力漁船漁業種類別船質別隻数	57
24 海水動力漁船機関種類別隻数、トン数及び馬力数	58
25 農林水産統計による漁船隻数	58
26 漁業種類別機器装備状況	59
27 地区別のり養殖機器設備設置状況	59
28 漁港種別登録漁船隻数及び総トン数	60
29 漁港種別陸揚量及び陸揚金額	60
30 漁港基本施設整備状況	61
31 漁港整備計画別事業費実績	61

III 漁場と資源

32 海域におけるCODの経年変化	62
33 河川・湖沼における主要環境基準地点のBOD(COD)の経年変化	63
34 海域における全窒素・全燐の年平均値の経年変化	63
35 赤潮の経年変化(月別、水域別)、苦潮発生状況とその漁業被害	64
36 沿岸漁業構造改善事業等実績	65
37 水産振興対策事業実績	66
38 漁場整備事業実績	67・68

IV 漁業生産

39 漁業総生産	69
40 海面の種類別生産量	69
41 海面漁業種類別地域別漁獲量	70
42 海面漁業魚種別漁獲量	71
43 海面漁業魚種別生産額	72
44 海面漁業種類別魚種別漁獲量	73
45 主要市町別海面漁業・養殖業生産量	73
46 地域別のり生産枚数(暦年)	74
47 地区別のり生産枚数(養殖年)	75
48 内水面漁業魚種別漁獲量	76
49 内水面漁業魚種別生産額	76
50 内水面養殖業魚種別収穫量	76
51 内水面養殖業魚種別生産額	76
52 観賞魚養殖状況	77
53 しらすうなぎ池入数量	77

V 流通加工

54 中央卸売市場における水産物の取扱数量・金額、平均価格	78
55 水産加工品生産量	78

(付属資料)

56 沿海漁業協同組合及び内水面漁業協同組合の位置図	79
57 平成27年の主な水産年譜	80
58 愛知県の水産業に関する地勢	80

*使用上の注意

◎表によっては、四捨五入のため計と内訳が一致しない場合がある。

◎内水面養殖業の総生産量には、観賞魚の生産量を含まない。

◎内水面養殖業の総生産額には、観賞魚の生産額を含む。

I 愛知の水産業

1 経済活動別県内純生産

(単位：百万円)

項目	年度				
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
1 産 業	20,639,004	20,657,109	21,818,549	23,484,574	24,211,953
(1) 第 1 次 産 業	99,408	106,050	112,091	113,741	118,771
農 業	83,811	92,441	97,473	98,340	106,101
林 業	602	564	562	472	311
水 産 業	14,994	13,045	14,055	14,928	12,359
(2) 第 2 次 産 業	7,352,374	7,143,076	8,197,078	9,797,691	10,387,376
鉱 業	6,824	6,971	7,245	7,458	7,745
製 造 業	5,915,830	5,854,286	6,866,479	8,444,666	8,869,038
建 設 業	1,429,720	1,281,819	1,323,354	1,345,567	1,510,593
(3) 第 3 次 産 業	13,187,224	13,407,983	13,509,381	13,573,142	13,705,804
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	418,004	400,818	279,950	283,563	247,239
卸 売 ・ 小 売 業	3,521,602	3,635,280	3,734,996	3,763,914	3,832,342
金 融 ・ 保 険 業	923,099	868,020	820,284	769,195	752,786
不 動 産 業	2,159,222	2,210,998	2,264,277	2,319,598	2,310,070
運 輸 業	1,114,932	1,223,005	1,222,602	1,221,644	1,196,540
情 報 通 信 業	991,978	986,478	997,634	998,883	1,024,578
サ ー ビ ス 業	4,058,387	4,083,384	4,189,638	4,216,345	4,342,249
2 政 府 サ ー ビ ス 生 産 者	1,539,576	1,502,006	1,512,202	1,458,936	1,435,399
3 対 家 計 民 間 非 営 利 サ ー ビ ス 生 産 者	424,147	439,111	480,590	490,910	484,842
合 計	22,602,727	22,598,226	23,811,342	25,434,419	26,132,194

資料：あいちの県民経済計算（県統計課）

2 経済活動別就業者数（従業地ベース）

(単位：人)

項目	年度				
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
1 産 業	3,909,324	3,942,637	3,925,265	3,906,020	3,920,051
(1) 第 1 次 産 業	84,513	79,528	74,887	70,853	66,487
農 業	79,871	75,061	70,646	66,741	62,782
林 業	383	371	359	348	339
水 産 業	4,259	4,096	3,882	3,764	3,366
(2) 第 2 次 産 業	1,260,539	1,282,643	1,253,485	1,240,446	1,258,039
鉱 業	1,213	1,180	1,183	1,189	1,143
製 造 業	963,301	949,659	926,363	921,651	939,683
建 設 業	296,025	331,804	325,939	317,606	317,213
(3) 第 3 次 産 業	2,564,272	2,580,466	2,596,893	2,594,721	2,595,525
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	32,469	32,672	33,477	33,869	34,298
卸 売 ・ 小 売 業	833,673	837,714	838,380	837,443	835,786
金 融 ・ 保 険 業	93,079	95,689	96,242	94,860	94,122
不 動 産 業	54,095	49,093	49,236	49,410	49,600
運 輸 業	233,758	229,212	227,602	233,242	232,700
情 報 通 信 業	93,512	94,878	95,558	95,894	96,060
サ ー ビ ス 業	1,223,686	1,241,208	1,256,398	1,250,003	1,252,959
2 政 府 サ ー ビ ス 生 産 者	196,153	197,140	197,571	197,823	197,944
3 対 家 計 民 間 非 営 利 サ ー ビ ス 生 産 者	116,522	119,259	120,627	121,311	121,654
合 計	4,221,999	4,259,036	4,243,463	4,225,154	4,239,649

資料：あいちの県民経済計算（県統計課）

注）「あいちの県民経済計算」の計数は、最近の年度を中心に推計方法の改善等により改定を行うことがあります。

3 愛知県の漁業・養殖業全国順位 (26年)

(1) 生産量

(単位：t)

	海面漁業	海面養殖業	内水面漁業	内水面養殖業
全国	3,716,076	987,639	30,603	33,871
1位	北海道 1,103,885	北海道 138,455	北海道 11,238	鹿児島 6,943
2位	長崎 240,390	広島 120,050	青森 5,388	愛知 6,222
3位	茨城 223,721	宮城 73,785	島根 3,731	宮崎 3,902
4位	静岡 197,137	兵庫 66,121	茨城 2,352	静岡 2,864
5位	三重 183,420	佐賀 64,518	岩手 1,117	長野 1,566
	13位 愛知 80,949	19位 愛知 14,906	18位 愛知 192(319)	

資料：海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）内水面漁業における括弧内の数値は県調べ。

海面漁業以外の愛知県順位は秘匿県を除いた参考値である。

(2) 生産額

(単位：億円)

	海面計	海面漁業	海面養殖業
全国	14,109	9,666	4,443
1位	北海道 3,085	北海道 2,636	愛媛 550
2位	長崎 964	長崎 638	鹿児島 544
3位	愛媛 804	静岡 509	北海道 449
4位	鹿児島 799	宮城 472	長崎 326
5位	宮城 668	青森 382	大分 281
6位	静岡 532	三重 313	熊本 269
7位	高知 495	岩手 303	高知 218
8位	三重 484	千葉 296	佐賀 200
9位	青森 478	高知 278	宮城 196
10位	大分 430	宮崎 256	広島 196
	20位 愛知 213	19位 愛知 167	22位 愛知 45

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）内水面生産額の都道府県別統計は公表されていない。

海面漁業以外の愛知県順位は秘匿県を除いた参考値である。

4 主要品目別全国順位

品目	年	順位					全国
		1位	2位	3位	4位	5位	
くるまえばい(t)	21	愛媛 143	大分 119	愛知 76	福岡 55	山口 40	584
	22	愛媛 158	愛知 77	福岡 71	大分 65	山口 32	551
	23	愛媛 154	愛知 83	大分 74	福岡 46	熊本 38	558
	24	愛媛 150	愛知 91	大分 51	福岡 46	長崎・熊本 22	492
	25	愛媛 133	愛知 62	大分 50	福岡 41	熊本 35	440
	26	愛媛 95	愛知 59	大分 50	福岡 45	香川 27	377
あなご類(t)	21	長崎 868	愛知 613	福島 559	愛媛・兵庫 460	宮城 431	5,959
	22	長崎 681	島根 630	愛知 535	愛媛 522	福島 509	5,371
	23	長崎 734	島根 704	愛媛 468	愛知 415	兵庫 386	4,374
	24	長崎 886	島根 577	兵庫 495	愛媛 429	愛知 413	4,609
	25	長崎 775	島根 626	宮城 537	山口 408	(7位)愛知 313	4,503
	26	長崎 624	島根 459	愛知 456	宮城 449	愛媛 319	4,011
がざみ類(t)	21	福岡 332	山口 288	大分 268	長崎 233	愛知 196	2,319
	22	愛知 457	福岡 391	大分 273	山口 262	愛媛 230	2,665
	23	愛知 606	福岡 301	愛媛 276	山口 182	大分 159	2,680
	24	愛知 629	愛媛 296	福岡 282	岡山 204	長崎 163	2,750
	25	愛知 492	福岡 304	愛媛 262	長崎 246	岡山 189	2,783
	26	愛知 341	愛媛 286	福岡 277	長崎 177	宮城 173	2,328
あさり類(t)	21	愛知 18,263	静岡 5,610	三重 2,092	熊本 1,436	北海道 1,248	31,655
	22	愛知 17,635	静岡 3,029	三重 1,267	北海道 1,221	熊本 1,009	27,185
	23	愛知 16,703	静岡 4,776	三重 2,131	熊本 1,922	北海道 1,088	28,793
	24	愛知 17,562	三重 3,957	静岡 2,479	熊本 1,167	北海道 907	27,300
	25	愛知 16,063	三重 1,976	千葉 1,425	静岡 1,404	北海道 977	23,049
	26	愛知 10,563	静岡 4,127	千葉 2,248	北海道 1,005	三重 446	19,449
板のり(千枚)	21	佐賀 1,802,059	兵庫 1,458,018	福岡 1,347,822	熊本 1,063,256	(6位)愛知 495,053	8,811,457
	22	佐賀 1,998,386	兵庫 1,455,950	福岡 1,195,909	熊本 1,009,472	(6位)愛知 457,285	8,502,697
	23	佐賀 1,894,109	福岡 1,348,763	兵庫 1,087,568	熊本 967,664	(6位)愛知 387,401	7,557,761
	24	佐賀 2,139,681	兵庫 1,671,781	福岡 1,412,530	熊本 1,183,528	(6位)愛知 398,591	8,816,303
	25	佐賀 2,092,277	福岡 1,394,960	兵庫 1,146,979	熊本 1,062,324	(6位)愛知 394,118	8,132,540
	26	佐賀 1,669,601	兵庫 1,372,422	福岡 1,169,648	熊本 856,097	愛知 382,303	7,105,725
うなぎ養殖(t)	21	愛知 7,373	鹿児島 7,358	宮崎 3,725	静岡 1,833	高知 544	22,406
	22	鹿児島 8,199	愛知 5,002	宮崎 3,425	静岡 1,799	高知 483	20,543
	23	鹿児島 8,501	愛知 5,802	宮崎 4,090	静岡 1,865	徳島 361	22,006
	24	鹿児島 7,184	愛知 4,081	宮崎 3,111	静岡 1,629	高知 347	17,377
	25	鹿児島 5,747	愛知 3,140	宮崎 2,840	静岡 1,396	三重 263	14,204
	26	鹿児島 6,838	愛知 4,918	宮崎 3,167	静岡 1,490	三重 292	17,627
あゆ養殖(t)	21	和歌山 1,074	愛知 960	岐阜 703	宮崎 559	徳島 551	5,837
	22	和歌山 1,131	愛知 872	岐阜 794	滋賀 566	徳島 464	5,676
	23	和歌山 1,056	岐阜 824	愛知 813	滋賀 512	宮崎 464	5,420
	24	和歌山 948	岐阜 871	愛知 848	滋賀 508	宮崎 431	5,195
	25	愛知 1,063	和歌山 966	岐阜 911	滋賀 488	宮崎 391	5,279
	26	愛知 1,114	和歌山 992	岐阜 984	滋賀 466	栃木 325	5,163

資料：海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

Ⅱ 漁業経営

5 階層別地域別海面漁業・養殖業経営体数

年	階層 地域	総数	漁船 非使用	無動力船	船外機船	1 t 未満	1 ~ 3 t	3 ~ 5 t	5 ~ 10 t	10 t 以上	小型定置 地びき網	浅海養殖
14	県計	2,938	121	—	—	734	361	512	292	304	85	529
	海部	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	知多	1,487	54	—	—	184	266	321	129	186	28	319
	西三河	864	49	—	—	264	64	120	106	84	13	164
	東三河	584	18	—	—	286	31	71	57	34	44	43
15	県計	2,790	75	1	—	768	312	508	262	296	78	490
	海部	3	×	—	—	×	×	×	×	×	×	3
	知多	1,349	2	—	—	152	245	331	123	182	27	287
	西三河	847	×	—	—	×	×	×	×	×	×	×
	東三河	591	26	1	—	325	17	63	47	33	37	42
16	県計	2,741	71	—	—	762	319	482	250	309	73	475
	海部	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	知多	1,325	1	—	—	163	247	303	120	185	23	283
	西三河	797	45	—	—	×	×	×	×	×	×	×
	東三河	616	25	—	—	×	×	×	×	×	×	×
17	県計	2,700	61	—	—	780	300	486	239	304	75	455
	海部	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	知多	1,302	—	—	—	161	231	309	120	185	23	273
	西三河	764	×	—	—	×	×	×	×	×	×	×
	東三河	631	×	—	—	×	×	×	×	×	×	×
18	県計	2,659	63	—	—	775	292	477	230	301	74	447
	海部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	知多	1,281	—	—	—	153	227	301	119	185	23	273
	西三河	762	×	—	—	×	×	×	×	×	×	×
	東三河	616	×	—	—	×	×	×	×	×	×	×
20	県計	2,530	96	2	776	29	263	438	245	270	47	364
	知多	1,199	1	—	152	16	198	272	125	175	20	240
	西三河	736	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	東三河	595	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	県計	2,348	58	1	780	71	263	394	222	248	44	267
25	知多	1,104	1	—	189	11	158	234	117	163	20	211
	西三河	695	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	東三河	549	23	1	245	58	83	27	44	27	15	26
	県計	2,348	58	1	780	71	263	394	222	248	44	267

資料：平成13年までは「漁業動態調査」、14～18年は「稼動量調査」、20、25年は「漁業センサス」
(農林水産省統計部)

注) ×は統計法に基づく秘匿数値
19年以降は漁業センサス年のみの公表(県計のみ)となった。

6 主とする漁業種類別経営体数

区分 \ 年	15	16	17	18	20	25
県 計	2,790	2,741	2,700	2,659	2,530	2,348
沖合底びき網	4	4	4	4	4	4
小型底びき網	603	581	584	563	539	492
まき網	3	3	3	3	4	-
刺網	263	261	264	251	226	183
釣	276	269	256	260	204	184
はえ縄	29	26	26	26	23	7
地びき網	16	15	19	18
船びき網	115	116	114	115	106	102
小型定置網	62	58	56	56	47	44
その他の網漁業	21	4
採貝	649	657	657	660
採藻	17	17	25	25
採貝・採藻	747	796
潜水器漁業	126	129	125	124	113	124
その他の漁業	137	130	112	107	132	141
のり養殖業	467	449	421	413	341	233
わかめ養殖業	14	16	26	26	19	31
その他養殖業	9	10	8	8	4	3

資料：14～18年は「稼動量調査」、20、25年は「漁業センサス」（農林水産省統計部）

注）19年以降は漁業センサス年のみ公表となった。

7 営んだ漁業種類別経営体数

区分 \ 年	15	16	17	18	20	25
県 計	4,558	4,427	4,311	4,215	3,598	3,094
沖合底びき網	4	4	4	4	4	4
小型底びき網	783	718	715	683	676	587
まき網	4	4	4	3	4	3
刺網	497	506	477	461	370	289
釣	587	558	540	534	348	272
地びき網	17	17	19	20
船びき網	146	139	131	130	139	118
小型定置網	123	107	103	100	83	63
その他の網漁業	28	25
潜水器	141	142	159	157	138	139
採貝	1,082	1,055	1,009	1,026
採藻	137	90	92	89
採貝・採藻	1,027	981
その他の漁業	489	517	496	475	356	267
わかめ養殖業	58	92	100	99	58	95
のり養殖業	481	468	454	426	358	244
その他養殖業	9	10	8	8	9	7

資料：14～18年は「稼動量調査」、20、25年は「漁業センサス」（農林水産省統計部）

注）19年以降は漁業センサス年のみ公表となった。

8 市町別海面漁業・養殖業経営体数

年 市町	15	16	17	18	20	25
県計	2,790	2,741	2,700	2,659	2,530	2,348
弥富市	3	3	3	-	-	-
常滑市	227	211	210	195	189	171
南知多町	989	983	963	957	893	828
美浜町	133	131	129	129	117	105
碧南市	56	54	53	53	47	60
西尾市	62	60	51	49	52	634
一色町	531	496	477	480	459	
吉良町	95	87	86	84	79	
幡豆町	102	99	96	95	98	
刈谷市	1	1	1	1	1	
蒲郡市	95	99	94	82	81	66
豊橋市	9	9	13	14	15	-
田原市	58	63	524	520	499	483
赤羽根町						
渥美町	429	445				

資料：14～18年は「稼動量調査」、20、25年は「漁業センサス」（農林水産省統計部）

注) 15年に田原市と赤羽根町が合併したため、統計上の区分が田原市となった。
 17年に田原市と渥美町が合併したため、統計上の区分が田原市となった。
 23年に西尾市、一色町、吉良町、幡豆町が合併したため、統計上の区分が西尾市となった。
 19年以降は、漁業センサス年をみの公表となった。

9 内水面養殖業経営体数

年 区分	21	22	23	24	25	26
ます類	16	15	14	14	14	11
あゆ	14	16	16	16	16	16
こい	16	16	16	16	16	16
うなぎ	147	147	143	140	137	139
きんぎょ	137	126	119	114	112	103
計	330	320	308	300	295	285

資料：県水産課調べ

10 男女別男子年齢別漁業就業者数

年 区分	合計	男子					女子
		計	15～24才	25～39才	40～59才	60才以上	
13	5,650	4,290	180	650	1,640	1,820	1,360
14	5,570	4,230	140	650	1,540	1,900	1,340
15	5,304	4,091	178	679	1,467	1,767	1,213
20	4,964	4,015	132	637	1,356	1,890	949
25	4,319	3,555	159	586	1,142	1,668	764

資料：漁業動態調査、稼動量調査、漁業センサス（農林水産省統計部）

11 新規漁業就業者数

年度	海部	知多	西三河	東三河	計	中学校卒	高等学校卒	その他学卒	その他(転職等)
20	0	19	4	1	24	4	8	0	12
21	0	7	2	2	11	1	4	3	3
22	0	15	14	8	37	3	12	0	22
23	0	7	17	3	27	4	9	3	11
24	0	21	13	6	40	2	9	0	29
25	0	10	16	3	29	2	5	0	22
26	1	12	7	0	20	1	3	3	13

注) 23年度から調査期間を変更している。

資料：県水産課調べ

12 高校卒業者の卒後状況

年	新卒者 総数	大学等 進学者	就業者						その他	漁業就業者 /全就業者 (%)
			総数	第1次産業			第2次産業	第3次産業 ・その他		
				小計	農業	林業				
20	59,606	34,835	12,133	43	26	17	8,057	4,033	12,638	0.14
21	59,097	34,833	11,774	32	24	8	7,887	3,855	12,490	0.07
22	59,261	35,576	9,980	47	33	14	5,893	4,040	13,705	0.14
23	60,168	35,464	10,278	48	33	15	6,383	3,847	14,426	0.15
24	60,584	35,471	10,869	58	43	15	6,691	4,120	14,244	0.14
25	62,695	36,553	11,127	34	26	8	6,542	4,551	15,015	0.07
26	61,326	35,861	11,432	50	39	11	6,435	4,947	14,033	0.10
27	63,156	37,139	11,819	35	24	11	6,896	4,888	14,198	0.09

注) 各年3月卒業者

資料: 学校基本調査結果(県統計課)

13 漁業権免許件数一覧表

種類 内訳	共同漁業権				区画 漁業権	合計	
	第1種 第2種	第3種 (つきいそ)	第5種	計			
海面	知多	12	71	-	83	37	120
	西三河	5	30	-	35	23	58
	東三河	19	19	-	38	32	70
	小計	36	120	0	156	92	248
内水面	-	-	23	23	4	27	
県計	36	120	23	179	96	275	

注) 1. 海面第3種共同漁業権については、
つきいそ以外は第1種・第2種の欄に
含めてある。

2. 28年1月1日現在の件数である。

資料: 県水産課調べ

14 遊漁船業者登録件数(27年3月31日現在)

地区	尾張・名古屋市	海部	知多	西三河	東三河	その他	計
遊漁船業者数 (うち漁協所属業者数)	48 (0)	10 (0)	184 (169)	15 (6)	26 (18)	7 (0)	290 (193)
遊漁船隻数 (うち漁船隻数)	58 (0)	17 (0)	208 (192)	32 (21)	32 (22)	7 (0)	354 (235)

*その他は、豊田加茂地区、新城設楽地区の合計

資料: 県水産課調べ

15 漁家経済

(単位: 千円)

年	項目	事業 所得	漁労 所得	漁労外 事業 所得	漁労外事業所得		漁労所得									
					漁労外 事業 収入	漁労外 事業 支出	漁労支出									
					漁 労 収 入	漁 労 支 出	計	雇 用 労 賃	漁 船・ 漁 具 費	油 費	種 苗 代	修 繕 費	販 売 手 数 料	減 価 償 却 費	そ の 他 支 出	
漁船漁業	21	2,581	2,558	23	144	121	14,978	12,420	3,339	664	2,294	-	1,251	605	985	3,282
	22	3,503	3,451	52	313	261	19,303	15,852	4,621	647	3,218	-	1,109	756	1298	4,203
	23	2,770	2,251	519	761	242	8,393	6,142	1,159	255	1,416	-	770	419	798	1,325
	24	3,263	2,680	583	910	327	8,071	5,391	1,185	214	1,289	-	532	451	615	1,105
	25	2,982	2,892	90	386	296	9,033	6,141	1,443	255	1,577	-	518	520	532	1,296
	26	3,205	3,121	84	108	24	13,947	10,826	2,529	1,138	2,307	-	873	713	883	2,383
のり養殖業	21	5,379	4,819	560	1,523	963	13,353	8,534	562	403	1,069	96	243	698	1,963	3,500
	22	4,224	3,352	872	1,568	696	11,744	8,392	532	306	1,013	78	362	603	2,157	3,341
	23	3,584	3,032	552	1,614	1,062	13,724	10,692	1,149	1,006	1,437	88	909	905	1,720	3,478
	24	6,528	5,857	671	1,630	959	20,163	14,306	2,085	1,412	2,080	91	1,880	1,331	1,564	3,863
	25	3,406	2,885	521	1,568	1,047	15,002	12,117	1,734	1,301	1,933	99	1,088	994	1,393	3,575
	26	7,044	6,373	671	1,579	908	19,429	13,056	1,637	1,294	2,270	95	1,345	1,285	1,166	3,964

注) 調査期間は、歴年(1~12月)。

数値は、東海2県の数値である。

資料: 漁業経営調査(農林水産省統計部)

16 漁業近代化資金利子補給承認状況

承認額	資金種類		1号資金(漁船)				2号資金		3号資金		4号資金		5号資金		7号資金		共同利用施設	
	件数	金額	20t以上		20t未満		漁船漁具保管 修理施設等		漁場造成 器具等		漁具養殖 いかだ等		種苗購入等		大臣特認		件数	金額
年次	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
		千円		千円		千円		千円		千円		千円		千円		千円		千円
21	42	423,050	-	-	17	189,830	8	105,840	3	10,780	-	-	14	116,600	-	-	-	-
22	31	334,660	-	-	17	174,360	2	32,000	1	2,000	-	-	11	126,300	-	-	-	-
23	36	441,430	-	-	20	253,730	1	40,000	3	5,200	-	-	11	132,500	-	-	1	10,000
24	43	627,100	-	-	22	202,900	4	23,920	3	5,130	-	-	11	143,500	-	-	3	251,650
25	75	719,350	-	-	61	539,360	3	48,540	-	-	-	-	9	123,150	-	-	2	8,300
26	53	817,110	-	-	31	372,760	9	75,760	3	7,410	-	-	9	115,900	-	-	1	245,280
合計	280	3,362,700	-	-	168	1,732,940	27	326,060	13	30,520	-	-	65	757,950	-	-	7	515,230

資料：県水産課調べ

17 漁業振興資金融資状況

(単位：千円)

年度	件数	貸付額
21	11	257,250
22	19	269,000
23	10	234,000
24	9	219,000
25	7	196,500
26	6	194,500

資料：県水産課調べ

18 沿岸漁業改善資金融資状況

(単位：千円)

年度	合計				資金種類別内訳											
	年度内融資		年度末貸付残高		経営等改善資金				生活改善資金				青年漁業者等養成確保資金			
	年度内融資		年度末貸付残高		年度内融資		年度末貸付残高		年度内融資		年度末貸付残高		年度内融資		年度末貸付残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
21	8	93,616	45	257,216	7	73,616	37	175,993	-	-	-	-	1	20,000	8	81,223
22	7	82,650	42	283,230	7	82,650	35	216,988	-	-	-	-	-	-	7	66,242
23	7	95,500	47	314,281	7	95,500	41	261,020	-	-	-	-	-	-	6	53,261
24	6	86,850	42	325,417	6	86,850	38	283,417	-	-	-	-	-	-	4	42,000
25	5	92,050	42	350,608	4	72,050	37	296,608	-	-	-	-	1	20,000	5	54,000
26	0	0	38	277,676	-	-	33	231,676	-	-	-	-	-	-	5	46,000
合計	33	450,666	-	-	31	410,666	-	-	-	-	-	-	2	40,000	-	-

資料：県水産課調べ

19 地域別海水動力漁船隻数

年	地 域	総数	5t未満	5～10t	10～15t	15t以上
11	全 県	6,902	5,906	498	456	42
	海 部	43	43	-	-	-
	知 多	3,681	3,089	278	299	15
	西 三 河	1,753	1,487	136	118	12
	東 三 河	1,425	1,287	84	39	15
16	全 県	6,289	5,402	444	406	37
	海 部	31	31	-	-	-
	知 多	3,207	2,674	249	270	14
	西 三 河	1,652	1,416	116	109	11
	東 三 河	1,399	1,281	79	27	12
21	全 県	5,617	4,806	390	385	36
	海 部	21	21	-	-	-
	知 多	2,867	2,347	241	266	13
	西 三 河	1,416	1,222	87	97	10
	東 三 河	1,313	1,216	62	22	13
22	全 県	5,505	4,711	374	384	36
	海 部	23	23	-	-	-
	知 多	2,815	2,297	237	267	14
	西 三 河	1,367	1,185	79	93	10
	東 三 河	1,300	1,206	58	24	12
23	全 県	5,440	4,660	367	379	34
	海 部	49	49	-	-	-
	知 多	2,778	2,263	237	264	14
	西 三 河	1,335	1,165	72	90	8
	東 三 河	1,278	1,183	58	25	12
24	全 県	5,315	4,542	359	379	35
	海 部	51	51	-	-	-
	知 多	2,703	2,192	235	261	15
	西 三 河	1,311	1,143	68	92	8
	東 三 河	1,250	1,156	56	26	12
25	全 県	5,125	4,376	348	368	33
	海 部	51	51	-	-	-
	知 多	2,598	2,098	231	254	15
	西 三 河	1,274	1,115	64	88	7
	東 三 河	1,202	1,112	53	26	11
26	全 県	4,965	4,240	331	364	30
	海 部	49	49	-	-	-
	知 多	2,522	2,033	222	253	14
	西 三 河	1,239	1,088	59	85	7
	東 三 河	1,155	1,070	50	26	9

注) 名古屋市分は海部地区に含む。

資料：漁船統計表（水産庁）

20 海水動力漁船階層別隻数、トン数及び馬力数

年	トン数階層 区分	0~0.9	1~2.9	3~4.9	5~9	10~14	15~19	20~29	30~49	50~99	100~199	200~	県計
		隻数	トン数	馬力数	隻数	トン数	馬力数	隻数	トン数	馬力数	隻数	トン数	
11	隻数	3,277	1,861	768	498	456	31	-	4	3	1	3	6,902
	トン数	2,168	2,888	3,228	3,913	5,855	569	-	161	228	135	910	20,054
	馬力数	99,106	69,927	42,187	32,800	59,170	5,585	-	1,250	1,440	640	1,800	313,905
16	隻数	3,009	1,657	736	444	406	32	-	3	1	-	1	6,289
	トン数	1,969	2,524	3,114	3,487	5,199	585	-	114	75	-	450	17,517
	馬力数	98,576	73,520	65,178	49,760	73,224	8,032	-	1,530	280	-	520	370,620
21	隻数	2,644	1,501	661	390	385	30	-	3	2	-	1	5,617
	トン数	1,729	2,261	2,803	3,063	4,932	542	-	114	129	-	299	15,872
	馬力数	101,389	92,181	80,713	64,651	92,468	9,628	-	1,659	2,874	-	1,620	447,183
22	隻数	2,593	1,480	638	374	384	30	-	3	2	-	1	5,505
	トン数	1,695	2,218	2,710	2,931	4,922	540	-	117	129	-	299	15,561
	馬力数	100,934	97,146	79,916	62,324	97,756	11,214	-	3,499	2,874	-	1,620	457,283
23	隻数	2,563	1,471	626	367	379	28	-	3	2	-	1	5,440
	トン数	1,677	2,192	2,667	2,880	4,849	508	-	117	129	-	299	15,318
	馬力数	102,498	100,825	80,071	63,783	100,290	10,454	-	3,499	2,874	-	1,620	465,914
24	隻数	2,505	1,424	613	359	379	29	-	3	2	-	1	5,315
	トン数	1,634	2,123	2,616	2,819	4,852	526	-	117	129	-	299	15,114
	馬力数	102,575	102,266	79,681	64,525	104,234	10,994	-	3,499	2,874	-	1,620	472,268
25	隻数	2,419	1,370	587	348	368	27	-	3	2	-	1	5,125
	トン数	1,576	2,026	2,511	2,743	4,721	487	-	117	129	-	299	14,609
	馬力数	102,145	104,920	78,494	65,145	109,468	10,644	-	3,499	2,874	-	1,620	478,809
26	隻数	2,330	1,340	570	331	364	24	-	3	2	-	1	4,965
	トン数	1,521	1,978	2,444	2,620	4,672	435	-	117	129	-	299	14,216
	馬力数	102,388	107,818	79,527	64,677	115,954	10,104	-	3,499	2,874	-	1,620	488,461

注) 小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

資料: 漁船統計表(水産庁)

21 海水動力漁船漁業種類別隻数、トン数及び馬力数

年	漁業種類 区分	内水面	採介藻	定置網	一本釣	はえなわ	刺網	まき網(網船)	まき網(付属船)	底びき網	ひき網	官公庁船	運搬船	雑漁業	県計
		隻数	トン数	馬力数	隻数	トン数	馬力数	隻数	トン数	馬力数	隻数	トン数	馬力数	隻数	
11	隻数	34	3,046	51	733	20	1,057	27	5	789	482	19	90	549	6,902
	トン数	34	2,682	61	1,794	48	1,874	521	569	5,876	4,417	658	755	764	20,054
	馬力数	1,103	97,052	1,383	36,138	878	44,242	4,380	2,020	40,359	50,312	2,715	10,495	22,828	313,905
16	隻数	22	2,853	43	720	13	936	20	4	693	401	18	83	483	6,289
	トン数	19	2,530	55	1,888	45	1,667	314	58	5,150	3,700	662	689	739	17,517
	馬力数	883	104,653	1,280	43,923	733	46,760	3,640	630	74,368	52,040	2,783	13,085	25,842	370,620
21	隻数	21	2,532	31	629	5	851	16	2	609	381	17	80	443	5,617
	トン数	17	2,310	35	1,714	17	1,478	250	23	4,502	3,650	520	663	694	15,872
	馬力数	1,106	121,504	875	52,273	285	52,600	3,812	270	89,821	71,618	5,937	17,627	29,455	447,183
22	隻数	23	2,506	31	605	4	835	17	1	583	372	15	82	431	5,505
	トン数	19	2,280	35	1,675	15	1,462	268	7	4,332	3,578	503	694	694	15,561
	馬力数	1,266	125,667	875	52,782	240	54,154	4,281	120	87,056	74,689	7,309	18,629	30,215	457,283
23	隻数	17	2,466	26	588	4	833	18	1	595	362	15	85	430	5,440
	トン数	14	2,252	31	1,654	15	1,455	282	7	4,219	3,480	503	718	690	15,318
	馬力数	873	128,693	740	53,379	240	55,519	4,891	120	87,009	76,302	7,309	20,729	30,110	465,914
24	隻数	21	2,405	26	561	5	817	18	1	578	356	16	83	428	5,315
	トン数	16	2,195	30	1,643	28	1,429	282	7	4,123	3,467	507	705	684	15,114
	馬力数	993	130,894	830	54,675	370	56,256	4,891	120	85,236	79,558	7,537	21,192	29,716	472,268
25	隻数	21	2,324	21	547	5	791	17	1	552	346	15	78	407	5,125
	トン数	16	2,132	24	1,610	28	1,372	262	7	3,927	3,412	502	672	646	14,609
	馬力数	1,043	135,118	700	55,436	370	55,064	4,731	120	85,829	82,392	7,502	20,992	29,512	478,809
26	隻数	20	2,270	22	527	5	765	16	-	534	325	15	76	390	4,965
	トン数	16	2,105	26	1,580	28	1,321	242	-	3,799	3,318	502	658	621	14,216
	馬力数	1,103	139,458	781	55,133	370	54,562	4,933	-	89,332	84,815	7,502	21,420	29,052	488,461

注) 小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

資料: 漁船統計表(水産庁)

22 海水動力漁船階層別船質別隻数

年	トク階層 区分	0~0.9	1~2.9	3~4.9	5~9	10~14	15~19	20~29	30~49	50~99	100~199	200~	県計
11	鋼船	-	1	9	10	26	10	-	4	3	1	3	67
	木船	43	38	12	32	25	6	-	-	-	-	-	156
	FRP船	3,593	2,210	762	478	420	24	-	3	-	-	-	7,490
	計	3,636	2,249	783	520	471	40	0	7	3	1	3	7,713
16	鋼船	-	5	9	11	26	7	-	1	3	1	3	66
	木船	13	15	6	10	10	1	-	-	-	-	-	55
	FRP船	3,264	1,841	753	477	420	23	-	3	-	-	-	6,781
	計	3,277	1,861	768	498	456	31	0	4	3	1	3	6,902
21	鋼船	-	8	8	11	25	4	-	2	2	-	1	61
	木船	5	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	7
	FRP船	2,639	1,493	652	379	359	26	-	1	-	-	-	5,549
	計	2,644	1,501	661	390	385	30	0	3	2	0	1	5,617
22	鋼船	-	8	9	11	27	3	-	3	2	-	1	64
	木船	4	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	6
	FRP船	2,589	1,472	628	363	356	27	-	-	-	-	-	5,435
	計	2,593	1,480	638	374	384	30	0	3	2	0	1	5,505
23	鋼船	-	7	10	11	27	3	-	3	2	-	1	64
	木船	4	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	6
	FRP船	2,559	1,464	615	356	351	25	-	-	-	-	-	5,370
	計	2,563	1,471	626	367	379	28	0	3	2	0	1	5,440
24	鋼船	-	7	10	11	27	3	-	3	2	-	1	64
	木船	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	5
	FRP船	2,502	1,417	602	348	351	26	-	-	-	-	-	5,246
	計	2,505	1,424	613	359	379	29	0	3	2	0	1	5,315
25	鋼船	-	7	10	11	27	3	-	3	2	-	1	64
	木船	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	FRP船	2,417	1,363	576	337	341	24	-	-	-	-	-	5,058
	計	2,419	1,370	587	348	368	27	0	3	2	0	1	5,125
26	鋼船	-	7	10	9	25	3	-	3	2	-	1	60
	木船	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	FRP船	2,328	1,333	559	322	339	21	-	-	-	-	-	4,902
	計	2,330	1,340	570	331	364	24	0	3	2	0	1	4,965

資料：漁船統計表（水産庁）

23 海水動力漁船漁業種類別船質別隻数

年	漁業種 区分	内水面	採介藻	定置網	一本釣	はえなわ	刺網	まき網 (網船)	まき網 (付属船)	底びき網	ひき網	官公庁船	運搬船	雑漁業	県計
11	鋼船	-	-	-	5	-	3	1	5	31	8	3	-	10	66
	木船	4	3	-	6	-	9	1	-	12	15	-	1	4	55
	FRP船	30	3,043	51	722	20	1,045	25	-	746	459	16	89	535	6,781
	計	34	3,046	51	733	20	1,057	27	5	789	482	19	90	549	6,902
16	鋼船	-	-	-	5	-	2	-	2	31	4	3	-	11	58
	木船	1	1	-	1	-	4	-	-	3	3	-	-	1	14
	FRP船	21	2,852	43	714	13	930	20	2	659	394	15	83	471	6,217
	計	22	2,853	43	720	13	936	20	4	693	401	18	83	483	6,289
21	鋼船	-	3	-	6	-	3	-	1	31	4	4	1	8	61
	木船	-	1	-	1	-	2	-	-	1	1	-	-	1	7
	FRP船	21	2,528	31	622	5	846	16	1	577	376	13	79	434	5,549
	計	21	2,532	31	629	5	851	16	2	609	381	17	80	443	5,617
22	鋼船	-	3	-	6	-	4	-	1	32	4	5	1	8	64
	木船	-	1	-	1	-	1	-	-	1	1	-	-	1	6
	FRP船	23	2,502	31	598	4	830	17	-	550	367	10	81	422	5,435
	計	23	2,506	31	605	4	835	17	1	583	372	15	82	431	5,505
23	鋼船	-	4	-	6	-	4	-	1	32	4	5	1	7	64
	木船	-	1	-	1	-	1	-	-	1	1	-	-	1	6
	FRP船	17	2,461	26	581	4	828	18	-	562	357	10	84	422	5,370
	計	17	2,466	26	588	4	833	18	1	595	362	15	85	430	5,440
24	鋼船	-	4	-	6	-	4	-	1	32	4	5	1	7	64
	木船	-	1	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	1	5
	FRP船	21	2,400	26	555	5	812	18	-	545	351	11	82	420	5,246
	計	21	2,405	26	561	5	817	18	1	578	356	16	83	428	5,315
25	鋼船	-	4	-	6	-	4	-	1	32	4	5	1	7	64
	木船	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	3
	FRP船	21	2,319	21	541	5	787	17	-	519	342	10	77	399	5,058
	計	21	2,324	21	547	5	791	17	1	552	346	15	78	407	5,125
26	鋼船	-	5	-	6	-	4	-	-	30	3	5	1	6	60
	木船	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	3
	FRP船	20	2,264	22	521	5	761	16	-	503	322	10	75	383	4,902
	計	20	2,270	22	527	5	765	16	-	534	325	15	76	390	4,965

資料：漁船統計表（水産庁）

24 海水動力漁船機関種類別隻数、トン数及び馬力数

年	機関種類	総 数			5トン未満			5トン以上		
		隻 数	ト ン	馬力数	隻 数	ト ン	馬力数	隻 数	ト ン	馬力数
11	ジーゼル	2,708	16,677	180,206	1,712	4,906	77,521	996	11,771	102,685
	電気点火	4,194	3,378	133,699	4,194	3,378	133,699	-	-	-
	計	6,902	20,054	313,905	5,906	8,284	211,220	996	11,771	102,685
16	ジーゼル	2,328	14,293	229,848	1,441	4,383	96,502	887	9,910	133,346
	電気点火	3,961	3,224	140,772	3,961	3,224	140,772	-	-	-
	計	6,289	17,517	370,620	5,402	7,607	237,274	887	9,910	133,346
21	ジーゼル	2,030	12,893	285,451	1,219	3,814	112,551	811	9,079	172,900
	電気点火	3,587	2,980	161,732	3,587	2,980	161,732	-	-	-
	計	5,617	15,873	447,183	4,806	6,794	274,283	811	9,079	172,900
22	ジーゼル	1,962	12,608	290,544	1,168	3,670	111,257	794	8,938	179,287
	電気点火	3,543	2,953	166,739	3,543	2,953	166,739	-	-	-
	計	5,505	15,561	457,283	4,711	6,623	277,996	794	8,938	179,287
23	ジーゼル	1,915	12,369	293,237	1,135	3,587	110,717	780	8,783	182,520
	電気点火	3,525	2,949	172,677	3,525	2,949	172,677	-	-	-
	計	5,440	15,318	465,914	4,660	6,536	283,394	780	8,783	182,520
24	ジーゼル	1,867	12,235	297,061	1,094	3,493	109,315	773	8,742	187,746
	電気点火	3,448	2,879	175,207	3,448	2,879	175,207	-	-	-
	計	5,315	15,113	472,268	4,542	6,372	284,522	773	8,742	187,746
25	ジーゼル	1,776	11,812	299,728	1,027	3,316	106,478	749	8,495	193,250
	電気点火	3,349	2,798	179,081	3,349	2,798	179,081	-	-	-
	計	5,125	14,609	478,809	4,376	6,114	285,559	749	8,495	193,250
26	ジーゼル	1,706	11,475	305,118	981	3,202	106,390	725	8,273	198,728
	電気点火	3,259	2,741	183,343	3,259	2,741	183,343	-	-	-
	計	4,965	14,216	488,461	4,240	5,943	289,733	725	8,273	198,728

注) 小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

資料：漁船統計表（水産庁）

25 農林水産統計による漁船隻数

年	総 数	無動力船	船外機付船	動 力 船				
				計	3 t 未満	3 ~ 5 t	5 ~ 10 t	10 t 以上
15	4,920	47	2,916	1,957	480	643	396	438
16	4,559	2	2,485	2,072	526	657	432	457
17	4,339	2	2,334	2,003	482	650	420	451
18	4,308	-	2,335	1,973	471	643	410	449
20	4,426	17	2,621	1,788	406	581	382	419
25	4,021	5	2,299	1,717	496	524	322	375

資料：稼働量調査、20, 25年は「漁業センサス」（農林水産省統計部）

注) 使用漁船（ただし運搬船、遊漁船は除く）

19年以降は漁業センサス年次のみ公表となった。

26 漁業種類別機器装備状況 (26年11月1日現在)

区分\漁業種類		沖合底 びき網	小型底 びき網	まき網	船びき網・ ばっち網	延縄	刺網	その他	計
調査経営体数		3	519	7	142	37	248	527	1,483
動力漁船隻数		3	519	26	374	37	243	555	1,757
運航機器	エンジン遠隔 操縦装置	隻数	292	20	277	37	117	307	1,053
		装着率	56%	77%	74%	100%	48%	55%	60%
	オートパイ ロット	隻数	230	4	163	35	30	33	498
		装着率	44%	15%	44%	95%	12%	6%	28%
	無線機(固 定式)	隻数	460	25	367	35	104	286	1,280
		装着率	89%	96%	98%	95%	43%	52%	73%
レーダー	隻数	433	21	267	37	78	195	1,034	
	装着率	83%	81%	71%	100%	32%	35%	59%	
漁ろう 機器	魚群探知機	隻数	512	26	366	37	189	506	1,639
		装着率	99%	100%	98%	100%	78%	91%	93%
	ネット ローラー	隻数	266	13	250	5	43	11	591
		装着率	51%	50%	67%	14%	18%	2%	34%
	ブイ ローラー	隻数	14	5	16	1	36	4	79
		装着率	3%	19%	4%	3%	15%	1%	4%
	ワイヤー ローラー	隻数	187	0	133	26	49	114	509
		装着率	36%	0%	36%	70%	20%	21%	29%
	ネット ホーラー	隻数	16	1	23	10	83	34	167
		装着率	3%	4%	6%	27%	34%	6%	10%
	ワイヤー コントロール ウィンチ	隻数	127	0	12	0	8	8	155
		装着率	24%	0%	3%	0%	3%	1%	9%
	ロープ ワインダー	隻数	56	0	18	25	20	18	137
		装着率	11%	0%	5%	68%	8%	3%	8%
パワー ブロック	隻数	3	0	0	0	8	0	11	
	装着率	1%	0%	0%	0%	3%	0%	1%	

資料：県水産課調べ

27 地区別のり養殖機器設備設置状況

年		知多	西三河	東三河	県計
26	経営体数	159 [34]	21 [0]	8 [0]	188 [34]
	摘み取り装置	164 (103)	22 (105)	19 (238)	205 (109)
	（カッター式）	(0 (0))	(0 (0))	(10 (125))	(10 (5))
	（ローター式）	(0 (0))	(0 (0))	(4 (50))	(4 (2))
	（叩き式）	(0 (0))	(0 (0))	(0 (0))	(0 (0))
	（もぐり船式）	(164 (103))	(22 (105))	(5 (63))	(191 (102))
	原藻洗浄機	116 (73)	9 (43)	10 (125)	135 (72)
	原藻攪拌装置	231 (145)	33 (157)	15 (188)	279 (148)
	異物除去機	213 (134)	22 (105)	15 (188)	250 (133)
	熟成機	148 (93)	10 (48)	1 (13)	159 (85)
	生のり濃度調整機	149 (94)	22 (105)	13 (163)	184 (98)
	自動のり製造機	149 (94)	22 (105)	14 (175)	185 (98)
	選別機	154 (97)	22 (105)	13 (163)	189 (101)
	異物検出機	151 (95)	22 (105)	12 (150)	185 (98)
折曲機	180 (113)	22 (105)	14 (175)	216 (115)	
結束機	180 (113)	22 (105)	13 (163)	215 (114)	

注) 経営体数における []は、協業・共同経営体(内数)を示す。
他の項目における ()は、比率(%)を示す。

資料：県水産課調べ

28 漁港種別登録漁船数及び総トン数

年	港種 区分	第1種		第2種		第3種		第4種		県計	
		隻数 (隻)	総トン数 (t)	隻数 (隻)	総トン数 (t)	隻数 (隻)	総トン数 (t)	隻数 (隻)	総トン数 (t)	隻数 (隻)	総トン数 (t)
21		1,058	1,205	3,028	10,590	287	2,021	155	529	4,528	14,345
22		1,019	1,177	2,959	10,514	286	2,015	160	661	4,424	14,367
23		999	1,165	2,909	10,198	286	2,096	112	437	4,306	13,896
24		941	1,118	2,868	10,066	279	2,074	110	435	4,198	13,693
25		878	1,062	2,734	9,660	272	1,996	107	420	3,991	13,138
26		853	1,030	2,714	9,506	267	1,993	156	584	3,990	13,113

注) 漁船であっても一般港湾に停留している船は除く。

資料：港勢調査（県水産課）

29 漁港種別陸揚量及び陸揚金額

年	港種 区分	第1種		第2種		第3種		第4種		県計	
		数量 (t)	金額 (百万円)	数量 (t)	金額 (百万円)	数量 (t)	金額 (百万円)	数量 (t)	金額 (百万円)	数量 (t)	金額 (百万円)
21		11,968	3,679	46,264	15,202	21,599	2,625	590	240	80,421	21,746
22		10,626	3,600	52,371	15,169	24,753	2,939	554	252	88,304	21,960
23		8,314	2,707	49,323	15,348	22,367	2,834	511	284	80,515	21,173
24		9,223	2,888	49,856	16,511	21,838	3,056	551	369	81,467	22,824
25		9,144	2,921	50,706	15,011	26,133	2,828	527	287	86,510	21,047
26		6,668	2,299	50,516	15,139	29,544	3,275	543	306	87,271	21,019

資料：港勢調査（県水産課）

30 漁港基本施設整備状況（施設延長）

（単位：m）

港種	施設	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
第1種	外 か く	50,538	50,625	50,825	51,001	51,104	51,136
	係 留	8,773	8,970	8,970	8,970	8,970	8,990
第2種	外 か く	60,624	60,639	60,625	60,889	61,192	61,192
	係 留	21,209	21,663	21,746	21,547	21,757	21,757
第3種	外 か く	19,147	19,147	19,147	19,147	19,147	19,147
	係 留	6,874	6,927	6,927	6,927	6,935	6,935
第4種	外 か く	15,503	15,603	15,222	14,513	14,513	14,513
	係 留	915	955	955	955	955	955
県 計	外 か く	145,812	146,014	145,819	145,550	145,956	145,988
	係 留	37,771	38,515	38,598	38,399	38,617	38,637

資料：県水産課調べ

31 漁港整備計画別事業費実績

（単位：百万円）

事業	時期	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第8次	第9次		第1次	第2次
		26～ 29年度	30～ 37年度	38～ 43年度	44～ 47年度	48～ 51年度	52～ 56年度	57～ 62年度	63～ 5年度	6～ 13年度		14～ 18年度	19～ 23年度
修築等	修 築	346	730		1,859	3,104	9,174	10,649	11,996	16,687	広域漁港	3,657	2,948
	改 修	-	-	448	618	1,180	1,780	2,790	5,849	3,721	地域水産物	588	235
	局部改良	-	99	137	208	206	626	960	2,347	1,234	高度化(統合)・ 漁村再生交付金	757	583
	計	346	829	1,739	2,685	4,490	11,580	14,399	20,192	21,641	計	5,002	3,766
関連	関連道	-	-	186	178	200	178	306	-	405	関連道	-	-
	公害防止	-	-	-	-	123	88	-	-	-	公害防止	-	-
	漁港環境	-	-	-	-	3	22	15	120	1,408	漁港環境	1,725	355
	海岸	-	54	383	664	999	2,255	3,725	6,840	8,774	海岸	5,474	6,385
	災害	99	805	402	-	-	184	186	348	114	災害	21	-
	高潮対策	-	2,199	658	-	-	-	-	-	-	高潮対策	-	-
県 計	445	3,887	3,368	3,527	5,815	14,307	18,631	27,500	32,342	県 計	12,222	10,506	

資料：県水産課調べ

注) 関連事業は、計画年度が異なるが漁港整備計画年度に整理した。
 第9次には、次期長期計画の前倒し事業（平成13年度から新規に始まった事業）分は含まない。
 平成14～18年度及び平成19～23年度は漁港漁場整備長期計画。

Ⅲ 漁場と資源

32 海域におけるCODの経年変化

(単位：mg/ℓ)

水域区分	水域名	類型	地点名	75% 水質値						年平均値					
				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
伊勢湾	名古屋港(甲)	C	○N-1	3.1	4.2	4.6	7.1	3.5	6.0	2.5	3.6	3.7	6.1	3.5	4.4
			○N-2	3.1	4.0	3.8	4.5	4.4	3.6	2.4	3.3	3.3	3.9	3.9	3.2
			○N-3	2.1	3.7	3.3	3.7	3.7	3.7	1.6	2.9	2.6	3.1	3.4	3.0
			N-10	2.8	3.9	3.5	7.3	3.1	4.5	2.1	3.5	3.2	5.6	2.9	4.0
			N-11	5.7	4.8	3.8	5.3	3.0	6.0	4.3	3.9	3.2	5.2	2.8	4.5
	名古屋港(乙)	B	○N-4	2.0	3.3	3.3	3.6	3.7	3.6	1.6	3.0	2.6	3.1	3.2	3.1
	常滑地先海域	B	○N-5	4.6	4.5	2.8	2.7	3.4	3.7	4.0	3.4	2.8	2.5	2.7	3.0
			N-12	4.1	3.3	2.8	2.6	3.2	2.6	3.4	3.3	2.7	2.4	2.8	2.4
	伊勢湾	A	○N-6	1.8	2.9	3.3	4.0	3.6	3.5	1.6	2.6	2.6	3.1	3.1	2.9
			○N-7	3.4	3.6	3.2	3.0	3.3	3.1	3.2	2.8	2.6	2.5	2.7	2.8
○N-8			2.5	2.2	2.5	1.9	2.0	2.3	2.2	2.0	1.2	1.9	1.9	1.9	
○N-9			3.2	2.7	2.0	2.1	2.4	2.5	2.2	2.2	2.0	1.8	2.0	2.0	
N-13			3.4	2.6	2.3	1.9	2.6	2.9	2.5	2.2	2.1	1.9	2.1	2.2	
衣浦湾	衣浦港	C	○K-1	4.3	5.4	4.1	4.1	4.5	4.9	3.4	4.9	3.5	3.7	3.8	4.0
			衣浦港南部	C	○K-2	4.6	5.5	4.6	4.3	4.6	4.8	3.3	4.6	3.8	3.6
	○K-3	5.6			4.5	4.0	4.2	4.5	5.0	3.9	3.5	3.3	3.2	3.4	3.7
	衣浦湾	A	○K-4	3.4	3.9	3.2	3.1	3.2	3.6	2.7	2.8	2.7	2.7	3.0	3.1
			○K-5	2.7	3.1	2.5	2.7	3.1	3.0	2.3	2.3	2.3	2.3	2.5	2.5
			○K-6	3.8	3.1	2.7	3.3	3.2	3.7	2.8	2.5	2.6	2.5	2.7	2.8
			K-7	3.4	3.7	2.7	3.3	3.6	3.7	2.4	2.7	2.7	2.7	3.0	3.0
			K-8	3.1	3.3	2.9	3.0	3.3	3.2	2.6	2.9	2.7	2.5	3.0	3.2
渥美湾	蒲郡地先海域	C	○A-1	4.0	4.7	3.8	4.2	3.9	4.4	3.8	4.0	3.4	3.6	3.6	4.0
			○A-2	4.1	4.3	3.8	4.3	4.0	5.1	3.8	4.2	3.5	3.6	3.8	4.2
	神野・田原地先海域	C	○A-3	4.9	5.3	4.5	6.0	6.2	6.2	4.5	4.5	4.4	5.0	5.1	5.5
			○A-4	3.7	4.7	3.7	4.1	4.0	4.5	3.6	4.0	3.6	3.7	4.0	3.7
			A-11	3.8	4.2	4.1	4.9	3.3	4.2	3.9	3.5	3.5	4.2	3.1	3.9
			A-12	3.7	4.3	4.2	4.5	4.5	5.6	3.3	3.9	3.6	4.1	4.2	4.3
	渥美湾(甲)	B	○A-5	3.1	3.8	3.2	4.1	3.7	3.4	2.9	3.3	2.8	3.3	3.4	3.0
			○A-6	4.1	4.7	4.0	4.1	4.0	4.4	3.7	3.8	3.4	3.5	3.8	3.9
			A-10	3.5	4.7	3.7	4.6	4.0	4.5	3.3	4.1	3.3	3.7	4.0	4.6
			A-13	4.1	4.1	4.0	5.2	3.6	5.1	3.4	3.4	4.1	4.8	3.4	4.4
	渥美湾(乙)	A	○A-7	3.2	3.7	2.9	3.3	4.0	3.6	3.0	3.3	2.8	3.2	3.7	3.2
			○A-8	2.7	3.0	2.5	3.2	3.1	3.2	2.6	2.8	2.4	3.0	3.1	2.8
○A-9			2.7	3.6	2.9	3.3	3.8	3.4	2.8	3.0	2.8	2.9	3.6	3.8	
A-14			3.9	3.3	2.8	3.1	3.6	3.5	3.2	3.0	2.6	2.6	3.1	3.0	

- 注) 1. 地点名の○印は環境基準地点である。
 2. 75%水質値は、海域におけるCODの環境基準適合状況を判断するためのものである。
 3. 各類型の基準値はA：2mg/ℓ以下、B：3mg/ℓ以下、C：8mg/ℓ以下である。

33 河川・湖沼における主要環境基準地点のBOD (COD) の経年変化

(単位: mg/l)

河川名	地点名	環境基準	75% 水質値						年平均値					
			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
木曾川	犬山橋	A. 2mg/l	0.7	0.9	1.3	1.0	0.9	0.7	0.6	0.8	1.1	0.9	0.7	0.6
"	濃尾大橋	B. 3 "	0.6	0.6	0.9	1.0	0.9	0.6	0.6	0.7	0.9	0.9	0.8	0.5
日光川	日光大橋	E. 10 "	3.7	4.0	5.3	3.9	4.7	4.8	3.5	4.2	4.1	3.6	3.7	4.4
新川	萱津橋	E. 10 "	3.9	3.7	3.2	4.0	3.2	3.4	3.3	2.7	3.3	3.2	2.9	3.1
五条川	待合橋	E. 10 "	3.4	2.0	2.7	3.4	2.7	3.1	2.5	1.9	2.0	2.2	2.5	2.4
庄内川	枇杷島橋	D. 8 "	3.4	3.7	3.1	4.1	3.3	2.7	3.2	3.4	2.6	3.2	2.8	2.2
矢田川	大森橋	D. 8 "	6.4	6.4	6.2	7.1	6.5	7.1	6.2	5.2	5.9	5.1	6.3	6.2
荒子川	荒子川ポンプ所	E. 10 "	7.0	6.0	5.6	5.6	9.5	7.4	6.2	5.2	4.6	4.8	6.7	6.3
中川運	東海橋	E. 10 "	6.6	8.9	11.0	6.8	7.0	10.0	6.1	7.9	8.0	6.8	7.8	7.8
堀川	港新橋	D. 8 "	4.2	4.9	4.8	4.8	5.8	5.2	3.5	4.1	5.2	4.4	5.0	8.1
境川	境大橋	C. 5 "	2.9	3.7	3.4	3.4	2.8	2.6	2.5	3.6	2.7	3.4	2.5	2.1
逢妻川	境大橋	D. 8 "	3.1	3.6	3.5	3.6	3.7	2.2	2.6	2.9	2.7	3.3	3.1	3.5
矢作川	明治用水頭首工	A. 2 "	1.0	0.6	0.8	0.8	1.3	1.0	0.9	0.6	0.8	0.8	1.1	0.8
"	米津大橋	B. 3 "	0.8	0.6	0.7	0.9	1.4	0.6	0.7	0.6	0.6	0.8	1.2	0.6
矢作古	古川頭首工	C. 5 "	1.6	1.9	1.1	1.4	1.0	2.4	1.2	1.4	1.0	1.2	1.0	1.8
豊川	江島橋	A. 2 "	0.7	0.7	0.6	0.5	1.1	0.9	0.7	0.6	0.7	0.6	1.0	0.7
"	吉田大橋	B. 3 "	0.9	0.9	0.9	0.8	1.6	0.9	0.8	0.7	0.7	0.7	1.2	0.7
梅田川	御厩橋	C. 5 "	3.7	3.5	4.0	2.8	3.2	3.0	3.3	2.9	3.3	2.6	2.9	2.5
油ヶ淵	中央	B. 5 "	6.6	7.0	7.6	7.5	7.7	7.5	5.8	6.6	6.8	6.8	6.9	6.9

注) 油ヶ淵・中央については、CODの値である。

資料: 公共用水域の水質調査 (県環境部)

34 海域における全窒素・全磷の年平均値の経年変化

(単位: mg/l)

水域名	類型	地点名	全窒素						全磷					
			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
伊勢湾(イ)	IV	N-2	0.80	0.88	0.97	1.10	0.85	0.83	0.084	0.089	0.084	0.100	0.083	0.086
		N-3	0.57	0.46	0.51	0.60	0.52	0.53	0.045	0.030	0.050	0.065	0.053	0.055
		N-4	0.46	0.36	0.40	0.48	0.44	0.43	0.057	0.041	0.046	0.056	0.044	0.049
伊勢湾(ハ)	III	N-6	0.39	0.35	0.40	0.47	0.41	0.35	0.044	0.035	0.045	0.053	0.042	0.043
伊勢湾(ニ)	II	N-5	0.40	0.42	0.42	0.32	0.25	0.30	0.041	0.039	0.032	0.043	0.029	0.027
		N-7	0.43	0.36	0.42	0.36	0.24	0.33	0.038	0.035	0.041	0.045	0.025	0.028
		N-8	0.30	0.33	0.33	0.29	0.22	0.25	0.026	0.027	0.028	0.034	0.021	0.022
		N-9	0.32	0.30	0.35	0.34	0.23	0.23	0.022	0.020	0.023	0.030	0.019	0.026
		N-13	0.31	0.35	0.31	0.29	0.18	0.23	0.026	0.022	0.024	0.031	0.018	0.018
三河湾(イ)	IV	K-3	0.62	0.54	0.62	0.54	0.37	0.46	0.081	0.067	0.077	0.069	0.062	0.057
三河湾(ロ)	III	A-1	0.49	0.37	0.43	0.34	0.32	0.42	0.047	0.038	0.042	0.043	0.042	0.051
		A-4	0.75	0.57	0.70	0.51	0.50	0.55	0.096	0.060	0.086	0.066	0.054	0.075
		A-5	0.40	0.36	0.43	0.39	0.32	0.32	0.037	0.031	0.041	0.048	0.034	0.033
		A-6	0.48	0.41	0.44	0.39	0.34	0.40	0.046	0.040	0.046	0.048	0.039	0.046
三河湾(ハ)	II	K-4	0.43	0.39	0.42	0.35	0.27	0.38	0.047	0.041	0.042	0.042	0.040	0.039
		K-5	0.40	0.36	0.33	0.33	0.25	0.29	0.040	0.032	0.033	0.038	0.030	0.030
		K-6	0.36	0.32	0.36	0.31	0.21	0.29	0.037	0.030	0.033	0.036	0.027	0.030
		K-8	0.35	0.34	0.35	0.32	0.22	0.29	0.040	0.032	0.033	0.035	0.031	0.032
		A-7	0.37	0.43	0.37	0.33	0.35	0.28	0.036	0.034	0.033	0.040	0.039	0.027
		A-8	0.33	0.38	0.36	0.30	0.24	0.23	0.029	0.030	0.030	0.033	0.025	0.022
		A-9	0.35	0.34	0.40	0.29	0.23	0.32	0.031	0.027	0.035	0.032	0.029	0.040
		A-14	0.40	0.33	0.36	0.32	0.32	0.28	0.034	0.030	0.027	0.032	0.036	0.026

資料: 公共用水域の水質調査 (県環境部)

35-1 赤潮の経年変化（月別）

年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	県計
		件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	
21	件数	0	8	[2] 5	[1] 5	[2] 5	4	5	4	1	1	1	0	34 (34)
	日数	0	27	22	19	12	9	8	9	3	5	1	0	115 (115)
22	件数	5	2	10	[2] 5	[1] 3	4	[1] 6	2	1	2	1	1	38 (38)
	日数	14	6	25	37	24	15	38	8	3	19	4	16	209 (209)
23	件数	0	0	7	5	2	4	3	2	0	3	[2] 2	6	32 (32)
	日数	0	0	21	5	2	5	12	3	0	55	44	6	153 (153)
24	件数	1	5	3	4	2	5	1	1	1	2	1	2	28 (29)
	日数	1	10	11	4	2	12	1	1	3	16	5	15	81 (82)
25	件数	[1] 3	3	4	[2] 3	1	2	[1] 2	0	0	3	[1] 2	0	19 (19)
	日数	7	19	28	15	8	26	5	0	0	21	20	0	149 (149)
26	件数	5	[3] 5	[1] 5	1	5	[2] 5	[1] 4	0	1	[1] 2	1	0	26 (27)
	日数	34	28	31	6	28	23	21	0	18	13	1	0	203 (207)

注) 日数は延べ日数

資料：県水産試験場調べ

[]内の数字は前月から引き続いて発生した件数で内数

()内は渥美外海の発生件数を含む件数

35-2 赤潮の経年変化（水域別）

年度	水域	県計	水域区分		
			伊勢湾	知多湾	渥美湾
21	件数	34 (34)	9	6	19
	日数	115 (115)	12	18	85
22	件数	38 (38)	9	10	19
	日数	209 (209)	18	48	143
23	件数	32 (32)	4	9	19
	日数	153 (153)	4	58	91
24	件数	28 (29)	5	7	16
	日数	81 (82)	5	21	55
25	件数	19 (19)	2	4	13
	日数	149 (149)	2	35	112
26	件数	26 (27)	5	8	13
	日数	203 (207)	38	51	114

注) 日数は延べ日数

資料：県水産試験場調べ

()内は渥美外海の発生件数を含む件数

35-3 苦潮発生状況とその漁業被害

年度	発生回数	水域区分			漁業被害
		伊勢湾	知多湾	渥美湾	
21	7 (2)	2 (1)	0	5 (1)	あさりへい死、魚類等へい死
22	7 (3)	0	0	7 (3)	定置網等の入網魚へい死、ばかがい、かれい等へい死
23	4 (2)	0	0	4 (2)	豊川河口のあさり稚貝大量へい死定、置網等の入網魚へい死、とりがい等へい死
24	2 (2)	0	0	2 (2)	あさり操業自粛等
25	2 (1)	0	0	2 (1)	定置網等の入網魚が一部へい死、一部の漁場であさり等へい死
26	2 (1)	0	0	2 (1)	定置網等の入網魚が一部衰弱
27	4 (2)	0	0	4 (2)	魚介類の衰弱、一部の漁場であさり稚貝のへい死

資料：県水産試験場調べ

注) ()内は魚介類に影響が確認された件数（独立した発生地区ごとに1件とした）

36 沿岸漁業構造改善事業等実績

(1) 沿岸漁業構造改善事業実績

(単位：千円)

事業名	実施年度	事業項目	件数	事業費総額	国費+県費	備考	
第1次沿岸漁業構造改善事業 (補足事業を含む)	S37~45	漁場改良造成事業	84件	279,671	227,798		
		並型・大型漁礁設置事業	76件	179,544	168,073		
		経営近代化促進対策事業	61件	640,573	405,454		
		計	221件	1,099,788	801,325		
第2次沿岸漁業構造改善事業 (補足事業を含む)	S46~59	漁場整備事業	125件	441,879	384,881		
		漁業近代化施設整備事業	29件	860,225	478,244		
		計	154件	1,302,104	863,125		
新沿岸漁業構造改善事業 (前期対策)	S54~62	地域沿岸漁業構造改善事業	増養殖場整備事業	53件	251,545	204,511	
			漁業近代化施設整備事業	22件	649,700	440,926	
			漁村環境整備事業	9件	74,370	51,016	
			沿岸漁業構造改善推進事業	17件	7,373	5,497	
		漁村緊急整備事業	4件	380,265	233,061		
		漁業活性化緊急対策事業	1件	48,900	40,750		
		関連地域振興事業	3件	82,170	60,629		
		計	109件	1,494,323	1,036,390		
新沿岸漁業構造改善事業 (後期対策)	S63~H5	基本地域沿岸漁業構造改善事業	増養殖場整備事業	8件	138,887	115,497	
			漁業近代化施設整備事業	11件	1,084,470	665,045	
		全県地域沿岸漁業構造改善事業	3件	517,817	376,753		
		資源管理型漁業定着化推進事業	3件	132,197	81,559	1件は6年度実施	
		計	25件	1,873,371	1,238,854		
沿岸漁業活性化構造改善事業	H6~11	地域漁業活性化構造改善事業	漁業生産基盤整備事業	4件	122,787	100,333	
			漁業近代化施設整備事業	6件	293,639	170,858	
			漁村環境整備事業	4件	109,629	78,234	
		資源管理型漁業促進対策事業	1件	4,950	4,125		
		計	15件	531,005	353,550		
※沿岸漁業振興構造改善事業	H12~16	持続的漁業生産環境整備事業	1件	18,624	18,624		
		計	1件	18,624	18,624		
強い水産物づくり交付金	H17~	水産物供給施設等の整備	1件	873,672	611,550		
合計			526件	7,192,887	4,923,418		

注) 金額は、計算対象外事業費を含み、付帯事務費を除く。

資料：県水産課調べ

小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

※「沿岸漁業漁村振興構造改善事業」は、平成14年度に事業名が「漁業経営構造改善事業」に変更された。

(2) 水産業振興総合対策事業

(単位：千円)

事業名	実施年度	事業項目	件数	事業費総額	国費+県費	備考
養殖水産物ブランド化推進・強化事業	H15	養殖ブランド化推進支援整備事業	1件	74,224	51,956	

資料：県水産課調べ

(3) 漁港整備事業

(単位：千円)

事業名	実施年度	事業項目	件数	事業費総額	国費+県費	備考
漁村コミュニティ 基盤整備事業	H24~H25	渡船場上屋施設整備	1件	102,374	53,957	

資料：県水産課調べ

(4) のり養殖経営構造改善事業

(単位：千円)

事業名	実施年度	事業項目	件数	事業費総額	国費+県費	備考
のり養殖経営構造 改善事業	H24~	のり共同加工場施設整備	1件	1,534,370	841,001	

資料：県水産課調べ

37 水産振興対策事業実績 (県補助事業)

(1) 沿岸漁業振興特別対策事業実績 (12~19年度)

(金額単位：円)

事業項目	件数	補助対象 事業費総額	補助金		
			国費	県費	
漁業生産基盤 整備事業	沿岸漁場環境保全事業	15	149,769,120	0	74,533,000
	増養殖場造成改良事業	32	222,460,000	0	110,273,000
	資源培養推進施設整備事業	9	69,887,429	0	33,093,000
	漁場管理強化施設整備事業	22	72,178,556	0	36,047,000
漁業近代化施 設整備事業	漁業近代化推進施設整備事業	116	929,117,360	0	462,510,500
	流通等改善施設整備事業	170	2,903,257,284	436,786,000	1,181,657,500
漁村環境整備 事業	漁村環境整備事業	23	85,983,746	0	42,978,000
	漁業経営・担い手対策事業	19	364,324,030	0	177,847,000
地域資源活用交流促進施設整備事業	4	15,969,000	0	7,961,000	
水産物流通加工基盤強化対策事業	3	136,059,000	0	63,477,000	
養殖業高度化推進整備事業	8	468,722,000	37,112,000	209,623,000	
計	421	5,417,727,525	473,898,000	2,400,000,000	

(国庫補助事業との合体実施を含む)

(2) 漁村活性化総合対策事業実績 (26・27年度)

年度	補助対象施設	事業主体	事業実施主体	事業内容	補助対象 事業費	負担区分	
						県費	その他
26	運搬施設	南知多町	片名漁協	フォークリフト等	3,274,000	1,637,000	1,637,000
			篠島漁協	フリーカーブコンベヤ	1,560,000	780,000	780,000
			篠島漁協	フォークリフト	1,980,000	990,000	990,000
	漁船保全修理施設	西尾市	西三河漁協	船揚げ用軌条	2,570,000	1,250,000	1,320,000
	漁業用作業保管施設	南知多町	師崎漁協	水産倉庫	22,864,000	11,432,000	11,432,000
			日間賀島漁協	のり種苗管理施設	3,419,000	1,709,000	1,710,000
	水産物鮮度保持施設	西尾市	西三河漁協	冷凍施設	12,850,000	6,000,000	6,850,000
		南知多町	片名漁協	冷蔵施設	4,000,000	2,000,000	2,000,000
		蒲郡市	蒲郡漁協	製氷施設	4,950,000	2,475,000	2,475,000
	水産物荷さばき施設	南知多町	豊浜漁協	荷さばき用水槽	5,610,000	2,805,000	2,805,000
師崎漁協			荷さばき施設屋根	6,894,000	3,447,000	3,447,000	
26年度計					69,971,000	34,525,000	35,446,000
27	運搬施設	南知多町	篠島漁協	フォークリフト	1,920,000	960,000	960,000
			師崎漁協	フォークリフト	2,980,000	1,490,000	1,490,000
			師崎漁協	軽トラック	1,719,536	859,000	860,536
	漁船保全修理施設	田原市	愛知外海漁協	船上げ用船台	2,250,000	1,125,000	1,125,000
	漁業用作業保管施設	西尾市	西三河漁協	水産倉庫	4,700,000	2,350,000	2,350,000
	種苗生産施設	南知多町	日間賀島漁協	のり種苗管理施設	4,140,000	2,070,000	2,070,000
	漁場の整地	西尾市	西三河漁協	漁場の整地	3,200,000	1,600,000	1,600,000
	水産物鮮度保持施設	南知多町	師崎漁協	冷蔵施設	3,265,000	1,632,000	1,633,000
			片名漁協	冷蔵施設	2,016,000	1,008,000	1,008,000
	水産物荷さばき施設	南知多町	豊浜漁協	魚類移送機	8,890,000	4,445,000	4,445,000
美浜町		野間漁協	荷捌き施設	3,200,000	1,600,000	1,600,000	
西尾市		西三河漁協	海水井戸	13,619,000	6,809,000	6,810,000	
燃料等給油施設	西尾市	西三河漁協	給油施設	8,761,200	4,380,000	4,381,200	
27年度計					60,660,736	30,328,000	30,332,736

38 漁場整備事業実績

(1) 並型魚礁設置事業（公共）

	年度	箇所数	事業量	事業費	国費	県費	地元	備考
第1次沿整	51～56	25	空m ³ 11,826	千円 164,693	千円 82,090	千円 54,727	千円 27,876	
第2次沿整	57～62	30	14,700	183,600	89,685	59,790	34,125	
第3次沿整	63～5	36	17,260	284,682	142,341	94,894	47,447	
第4次沿整	6～13	18	18,493	317,724	158,862	105,908	52,954	南知多町地先、渥美町地先、 幡豆町地先、蒲郡市地先
長期計画	14	1	892	11,502	5,751	3,834	—	南知多町地先
計		110	63,171	962,201	478,729	319,153	162,402	

資料：県水産課調べ

(2) 大型魚礁設置事業（公共）

	年度	箇所数	事業量	事業費	国費	県費	地元	備考
第1次沿整	51～56	7	空m ³ 20,631	千円 204,200	千円 122,520	千円 81,680	千円 —	渥美外海（高松、黒八場）
第2次沿整	57～62	7	22,213	262,280	143,202	119,078	—	渥美外海（黒八場、軍艦、高松）
第3次沿整	63～5	5	15,362	278,540	139,270	139,270	—	渥美外海（軍艦、豊橋沖）
第4次沿整	6～13	13	35,487	762,212	381,106	381,106	—	渥美外海（豊橋沖、赤羽根沖）
計		32	93,693	1,507,232	786,098	721,134	—	

資料：県水産課調べ

(3) 人工礁漁場造成事業（公共）

	年度	箇所数	事業量	事業費	国費	県費	地元	備考
第1次沿整	51～56	1	空m ³ 21,135	千円 120,000	千円 84,000	千円 36,000	千円 —	渥美外海（赤羽根沖）
第2次沿整	57～62		32,956	385,500	264,850	120,650	—	
第4次沿整	10～13	1	22,054	543,860	299,123	180,747	—	渥美外海（田原市沖）
計		2	76,145	1,049,360	647,973	337,397	—	

資料：県水産課調べ

(4) 海域総合開発事業（公共）

	年度	箇所数	事業量	事業費	国費	県費	地元	備考
第2次沿整	57～62	1	空m ³ 24,375	千円 310,000	千円 182,250	千円 127,750	千円 —	渥美外海（赤羽根沖）
第3次沿整	63～5		49,370	740,000	427,000	313,000	—	
第4次沿整	6～9		16,250	373,500	205,425	168,075	—	
計		1	89,995	1,423,500	814,675	608,825	—	

資料：県水産課調べ

(5) 広域漁場整備事業（公共）

	年度	箇所数	事業量	事業費	国費	県費	地元	備考
長期計画	14～18	3	51,890空m ³ 1,143ha	千円 870,782	千円 435,391	千円 435,391	千円	遠州灘（高松、軍艦）、篠島地先
第2次長計	19～23	2	30,212空m ³	435,578	215,556	220,022	—	遠州灘（高松、軍艦）
第3次長計	24	1	3,375空m ⁴	38,489	18,031	20,458	—	遠州灘（高松）
計		6	85,477空m ³ 1,143ha	1,306,360	650,947	655,413	—	

資料：県水産課調べ

(6) 小規模増殖場造成事業（公共）

	年度	箇所数	事業量	事業費	国費	県費	地元	備考
			ha	千円	千円	千円	千円	
第1次沿整	52~54	3	4.5	119,200	71,520	23,840	23,840	日間賀島、師崎、豊浜（あわび）
第3次沿整	63~1	1	3.3	195,546	97,773	65,182	32,591	大井（あさり）
計		4	7.8	314,746	169,293	89,022	56,431	

資料：県水産課調べ

(7) 大規模増殖場造成事業（公共）

	年度	箇所数	事業量	事業費	国費	県費	地元	備考
			ha	千円	千円	千円	千円	
第2次沿整	57~62	1	64.9	467,000	258,950	208,050	—	渥美外海（赤羽根沖）
第3次沿整	63		2.9	61,500	30,750	30,750	—	
計		1	67.8	528,500	289,700	238,800	—	

資料：県水産課調べ

(8) 地先型増殖場造成事業（公共）

	年度	箇所数	事業量	事業費	国費	県費	地元	備考
			ha	千円	千円	千円	千円	
第3次沿整	2~5	3	6.1	491,280	245,640	245,640	—	豊浜、渥美、篠島（あわび、なまこ）
	4~5	1		577,000	288,500	288,500	—	渥美地区多機能増殖礁 （あさり、のり）
第4次沿整	6~12		41.0	1,867,690	933,845	933,845	—	
計		4	47.1	2,935,970	1,467,985	1,467,985	—	

資料：県水産課調べ

(9) 大規模漁場改良事業（公共）

	年度	箇所数	事業量	事業費	国費	県費	地元	備考																														
			ha	千円	千円	千円	千円																															
第3次沿整	3~5	7	52.8	1,187,460	593,730	593,730	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>三河湾1区</th> <th>三河湾2区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3</td><td>三谷</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>西尾</td><td>西尾</td></tr> <tr><td>5</td><td>衣崎、味沢、西浦</td><td>渥美</td></tr> <tr><td>6</td><td>栄生、西尾</td><td>豊浜、西美</td></tr> <tr><td>7</td><td>一色、衣崎</td><td>渥美</td></tr> <tr><td>8</td><td>藤豆、車輪豆</td><td>渥美</td></tr> <tr><td>9</td><td>吉良</td><td>渥美、常滑</td></tr> <tr><td>10</td><td>吉田</td><td>常滑</td></tr> <tr><td>11</td><td>西尾</td><td>豊浜、豊丘、大井</td></tr> </tbody> </table>	年度	三河湾1区	三河湾2区	3	三谷		4	西尾	西尾	5	衣崎、味沢、西浦	渥美	6	栄生、西尾	豊浜、西美	7	一色、衣崎	渥美	8	藤豆、車輪豆	渥美	9	吉良	渥美、常滑	10	吉田	常滑	11	西尾	豊浜、豊丘、大井
年度	三河湾1区	三河湾2区																																				
3	三谷																																					
4	西尾	西尾																																				
5	衣崎、味沢、西浦	渥美																																				
6	栄生、西尾	豊浜、西美																																				
7	一色、衣崎	渥美																																				
8	藤豆、車輪豆	渥美																																				
9	吉良	渥美、常滑																																				
10	吉田	常滑																																				
11	西尾	豊浜、豊丘、大井																																				
第4次沿整	6~11	19	147.2	2,868,858	1,434,429	1,434,429	—																															
計		26	200.0	4,056,318	2,028,159	2,028,159	—																															

資料：県水産課調べ

(10) 干潟・浅場造成事業（公共）

	年度	箇所数	事業量	事業費	国費	県費	地元	備考																														
			ha	千円	千円	千円	千円																															
第4次沿整	12~13	8	81.5	1,674,136	837,068	837,068	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">実施地区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>12</td><td>美浜、一色、佐久島</td><td rowspan="11">三河湾 浅海</td></tr> <tr><td>13</td><td>豊丘、栄生、衣崎、味沢、吉田</td></tr> <tr><td>14</td><td>美浜、西尾、吉良</td></tr> <tr><td>15</td><td>西尾、西尾</td></tr> <tr><td>16</td><td>一色、田原</td></tr> <tr><td>17</td><td>衣崎</td></tr> <tr><td>18</td><td>衣崎、吉良</td></tr> <tr><td>19</td><td>衣崎、吉良</td></tr> <tr><td>20</td><td>西尾、西尾</td></tr> <tr><td>21</td><td>西尾、西尾</td></tr> <tr><td>22</td><td>西尾、西尾、東幡豆、東幡豆</td></tr> <tr><td>23</td><td>西尾</td></tr> <tr><td>24</td><td>西尾</td></tr> </tbody> </table>	年度	実施地区		12	美浜、一色、佐久島	三河湾 浅海	13	豊丘、栄生、衣崎、味沢、吉田	14	美浜、西尾、吉良	15	西尾、西尾	16	一色、田原	17	衣崎	18	衣崎、吉良	19	衣崎、吉良	20	西尾、西尾	21	西尾、西尾	22	西尾、西尾、東幡豆、東幡豆	23	西尾	24	西尾
年度	実施地区																																					
12	美浜、一色、佐久島	三河湾 浅海																																				
13	豊丘、栄生、衣崎、味沢、吉田																																					
14	美浜、西尾、吉良																																					
15	西尾、西尾																																					
16	一色、田原																																					
17	衣崎																																					
18	衣崎、吉良																																					
19	衣崎、吉良																																					
20	西尾、西尾																																					
21	西尾、西尾																																					
22	西尾、西尾、東幡豆、東幡豆																																					
23	西尾																																					
24	西尾																																					
長期計画	14~18	11	104.4	2,086,780	1,043,390	1,043,390	—																															
第2次長計	19~23	11	23.6	447,582	220,986	226,596	—																															
第3次長計	24	1	1.5	39,112	18,270	20,842	—																															
計		31	211.0	4,247,610	2,119,714	2,127,896	—																															

資料：県水産課調べ

(11) あさりとさかな漁場総合整備事業（公共）

	年度	箇所数	事業量	事業費	国費	県費	地元	備考																
			ha 7,711空m3	千円	千円	千円	千円																	
第3次長計	25~28	7	15.1ha 7,711空m3	498,350	243,551	254,799	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>海域名</th> <th>干潟・浅場造成</th> <th>渥美外海漁場整備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>25</td><td>愛知県海城・遠州灘</td><td>西尾、田原</td><td>高松、重巖</td></tr> <tr><td>26</td><td>〃</td><td>西尾、田原</td><td>高松、重巖</td></tr> <tr><td>27</td><td>〃</td><td>西尾</td><td>高松</td></tr> </tbody> </table>	年度	海域名	干潟・浅場造成	渥美外海漁場整備	25	愛知県海城・遠州灘	西尾、田原	高松、重巖	26	〃	西尾、田原	高松、重巖	27	〃	西尾	高松
年度	海域名	干潟・浅場造成	渥美外海漁場整備																					
25	愛知県海城・遠州灘	西尾、田原	高松、重巖																					
26	〃	西尾、田原	高松、重巖																					
27	〃	西尾	高松																					

資料：県水産課調べ

IV 漁業生産

39 漁業総生産

項 目		年		21	22	23	24	25	26
		漁業	養殖業						
生産量 (t)	海面	漁業	業	70,184	81,045	77,478	75,171	81,039	80,949
		養殖業	業	19,013	17,564	14,989	15,496	15,338	14,906
		計		89,197	98,609	92,467	90,667	96,377	95,855
	内水面	漁業	業	272	238	197	178	422	319
		養殖業	業	8,566	6,082	6,759	5,114	4,381	6,222
		計		8,838	6,320	6,956	5,292	4,803	6,541
合計		98,035	104,929	99,423	95,959	101,180	102,396		
きんぎょ (千尾)		13,290	11,267	15,646	12,584	10,815	9,195		
生産額 (百万円)	海面	漁業	業	16,469	17,420	16,171	18,502	16,504	16,735
		養殖業	業	5,054	4,668	4,084	4,453	3,670	4,525
		計		21,523	22,088	20,256	22,954	20,174	21,261
	内水面	漁業	業	575	467	397	386	508	441
		養殖業	業	15,490	11,283	15,246	13,759	12,851	16,480
		計		16,065	11,750	15,643	14,145	13,359	16,921
合計		37,588	33,838	35,899	37,099	33,533	38,182		
うち きんぎょ		598	475	683	647	562	512		

資料：海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）、県水産課調べ
 注）内水面漁業の生産量、きんぎょは県水産課調べ。
 内水面漁業・養殖業の生産額は、県水産課が推計。
 小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

40 海面の種類別生産量

(単位：t)

年	21	22	23	24	25	26
魚 類	×	×	×	×	×	×
漁 業	36,861	47,086	42,944	39,342	47,720	54,870
養 殖 業	×	×	×	×	×	×
貝 類	×	×	×	×	×	×
漁 業	22,117	21,157	20,858	22,793	21,823	15,398
養 殖 業	×	×	×	×	×	×
水産動物類	3,264	3,969	4,434	3,666	3,240	3,020
漁 業	3,264	3,969	4,434	3,666	3,240	3,020
養 殖 業	—	—	—	—	—	—
藻 類	26,802	26,244	24,064	24,373	23,443	22,405
漁 業	7,942	8,833	9,242	9,370	8,256	7,661
養 殖 業	18,860	17,411	14,822	15,003	15,187	14,744
計	89,197	98,609	92,467	90,667	96,377	95,855

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）
 注）小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。
 ×は統計法に基づく秘匿数値。

41 海面漁業種類別地域別漁獲量

(単位：t)

年	地域別	沖合底 びき網	小型底 びき網	まき網	刺網	釣	その他 え縄	小型 定置網	ばち つ網	船 き び 網	採貝	採 藻	その他 漁業	計
21	県計	1,423	20,656	915	497	880	83	260		28,231		14,264	2,975	70,184
	知多	-	3,651	-	255	871	80	62		23,615		273	1,288	30,094
	西三河	×	×	×	×	×	×	×		×		×	×	×
	東三河	×	×	×	×	×	×	×		×		×	×	×
22	県計	1,332	18,961	2,571	475	729	49	×		38,477		15,231	2,942	81,045
	知多	-	3,707	-	254	716	48	86		28,906		233	1,301	35,250
	西三河	-	×	2,571	×	-	-	×		7,834		5,069	×	×
	東三河	1,332	1,644	-	×	13	-	125		1,737		9,928	×	×
23	県計	1,113	18,615	2,511	459	596	×	254		35,183		15,502	×	77,478
	知多	-	3,173	-	235	579	41	77		27,716		262	1,558	33,641
	西三河	-	×	2,511	×	3	×	64		6,183		4,623	×	×
	東三河	1,113	1,722	-	×	14	-	113		1,285		10,618	×	×
24	県計	1,329	18,969	×	466	613	41	240		32,602		16,928	×	75,171
	知多	-	3,495	-	236	594	36	73		27,102		372	1,953	33,861
	西三河	-	13,873	×	×	4	5	51		4,405		6,124	×	×
	東三河	1,329	1,604	-	×	16	-	115		1,095		10,432	×	×
25	県計	1,045	18,056	×	498	624	27	218		41,433		14,953	×	81,039
	知多	-	3,507	-	224	605	24	58		32,385		411	1,881	39,095
	西三河	-	13,427	×	198	2	2	53		7,535		5,670	×	×
	東三河	1,045	1,122	-	76	17	-	106		1,512		8,872	×	×
26	県計	861	12,328	×	505	×	49	259		47,954		13,268	3,493	80,949
	知多	-	2,910	-	229	629	47	69		37,086		393	1,927	43,290
	西三河	-	8,354	×	235	1	2	51		9,584		4,644	×	×
	東三河	861	1,063	-	41	×	-	140		1,283		8,232	×	×

注) ×は統計法に基づく秘匿数値。

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

42 海面漁業魚種別漁獲量

(単位：t)

魚種		年						
		21	22	23	24	25	26	
魚類	主な浮魚	このしろ	244	539	982	274	385	253
		まいわし	59	2,481	4,229	1,141	1,263	5,927
		かたくちいわし	21,307	19,482	17,404	15,168	28,829	27,386
		しらす	5,334	5,382	6,492	7,433	6,229	8,936
		あじ類	721	507	373	476	433	314
		さば類	224	283	120	166	168	314
		いかなご	1,267	11,589	6,777	8,209	4,827	6,230
	主な底魚	ひらめ	175	141	135	167	112	133
		かれい類	1,032	875	836	675	611	627
		あなご類	613	535	415	413	313	456
		にぎす類	599	536	331	556	418	377
		まだい	299	250	260	247	219	325
		くろだい・へだい	330	313	306	324	319	409
		すずき類	636	529	515	516	563	542
		とらふぐ※	129	69	63	63	36	61
	その他魚類	4,021	3,644	3,769	3,577	3,031	2,641	
	計	36,861	47,086	42,944	39,342	47,720	54,870	
	貝類	あさり類	18,263	17,635	16,703	17,562	16,063	10,563
		あわび類	2	2	1	3	4	2
その他貝類		3,852	3,520	4,154	5,228	5,756	4,833	
計		22,117	21,157	20,858	22,793	21,823	15,398	
水産動物類	いか類	1,172	966	813	945	864	1,043	
	たこ類	428	446	673	604	702	280	
	くるまえび	76	77	83	91	62	59	
	よしえび※	-	-	30	32	17	13	
	その他えび類	682	1,281	1,560	726	670	714	
	がざみ類	196	457	606	629	492	341	
	その他のかに類	61	47	48	56	34	39	
	なまこ類※	159	168	209	179	130	163	
	しゃこ※	414	518	414	377	205	323	
	その他水産動物類	648	695	649	614	414	528	
計	3,264	3,969	4,434	3,666	3,240	3,020		
藻類	7,942	8,833	9,242	9,370	8,256	7,661		
合計	70,184	81,045	77,478	75,171	81,039	80,949		

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部） ※印の魚種は県調べ

注）小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

43 海面漁業魚種別生産額

(単位：百万円)

魚種		年						
		21	22	23	24	25	26	
魚類	主な浮魚	このしろ	19	43	38	19	30	21
		まいわし	12	342	237	120	153	356
		かたくちいわし	682	487	487	516	951	822
		しらす	2,624	2,481	2,571	4,400	2,155	3,592
		あじ類	311	387	186	213	237	150
		さば類	86	61	40	45	56	61
		いかなご	267	1,182	583	624	816	910
	主な底魚	ひらめ	185	148	141	131	122	135
		かれい類	335	294	274	229	210	220
		あなご類	328	373	284	281	229	344
		にぎす類	102	100	81	90	75	83
	主な内湾魚	まだい	313	296	280	295	220	309
		くろだい・へだい	142	142	142	150	151	178
		すずき類	323	290	309	311	303	296
	その他魚類		1,950	1,816	1,778	1,719	1,536	1,506
	計		7,679	8,442	7,431	9,143	7,244	8,983
	貝類	あさり類	5,260	4,973	4,476	4,865	4,610	3,053
		あわび類	16	8	9	16	18	10
		その他貝類	1,528	1,655	1,744	2,116	2,460	2,540
計		6,804	6,636	6,229	6,997	7,088	5,603	
水産動物類	いか類	447	372	298	337	306	423	
	たこ類	148	303	430	404	445	199	
	くるまえび	338	313	336	325	269	263	
	その他えび類	400	508	430	356	393	430	
	がざみ類	152	301	445	400	337	278	
	その他のかに類	27	22	21	26	15	18	
	その他水産動物類	348	435	478	439	334	454	
	計	1,859	2,254	2,437	2,287	2,106	2,072	
藻類		127	88	74	75	66	77	
合計		16,469	17,420	16,171	18,502	16,504	16,735	

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

注）小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

44 海面漁業種類別魚種別漁獲量 (26年)

(単位：t)

漁業種類 魚種	愛知県	うち、主な漁業種類							
		沖合底 びき網	小型底 びき網	船び き網	まき網	刺網	小 型 定置網	はえ縄	採 貝 採 藻
魚 類 計	54,870	725	3,339	47,711	×	349	229	49	-
さ め 類	5	1	3	-	×	-	0	-	-
こ の し ろ	253	-	8	174	×	22	49	-	-
ま い わ し	5,927	-	4	4,538	×	2	4	-	-
う め い わ し	71	-	0	70	×	-	-	-	-
か た く ち い わ し	27,386	-	2	27,328	×	-	3	-	-
し ら す	8,936	-	-	8,936	×	-	-	-	-
あ じ 類	314	3	103	55	×	2	12	-	-
さ ば 類	314	0	14	180	×	0	0	-	-
ぶ り 類	53	0	2	1	×	0	3	0	-
ひ ら め	133	2	113	0	×	2	1	0	-
か れ い 類	627	12	540	-	×	40	14	-	-
に ぎ す 類	377	181	195	-	×	-	0	-	-
あ な ご 類	456	11	222	2	×	14	3	-	-
た ち う お	38	0	32	0	×	0	0	-	-
ま だ い	325	7	266	17	×	3	1	0	-
く ろ だ い ・ へ だ い	409	4	285	12	×	35	27	0	-
す ず き 類	542	0	344	41	×	29	42	-	-
い か な ご 類	6,230	-	0	6,230	×	-	-	-	-
ふ ぐ 類	110	3	49	2	×	1	3	47	-
そ の 他 の 魚 類	2,364	501	1,157	125	×	199	67	2	-
水 産 動 物 類 計	3,020	136	2,176	242	×	139	30	-	-
く る ま え び	59	-	49	-	×	10	0	-	-
そ の 他 の え び 類	727	51	395	229	×	50	1	-	-
が ざ み 類	341	0	214	0	×	35	9	-	-
そ の 他 の か に 類	40	12	20	0	×	5	1	-	-
す る め い か	96	24	71	-	×	-	-	-	-
そ の 他 の い か 類	947	28	884	13	×	6	15	-	-
た こ 類	280	17	146	0	×	29	3	-	-
そ の 他 の 水 産 動 物 類	530	4	397	0	×	4	1	-	-
貝 類 計	15,398	-	6,813	-	×	17	0	-	5,614
あ さ り 類	10,563	-	5,510	-	×	-	-	-	5,052
そ の 他 の 貝 類	4,835	-	1,303	-	×	17	-	-	562
藻 類	7,661	-	-	-	×	-	-	-	7,654
合 計	80,949	861	12,328	47,954	×	505	259	49	13,268

注) 小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

×は統計法に基づく秘匿数値。

45 主要市町別海面漁業・養殖業生産量 (26年)

(単位：t)

市 町	区分	海面漁業	海面養殖業
県計		80,949	14,906
常 滑 市		668	4,717
美 浜 町		208	1,999
南 知 多 町		42,414	5,419
そ の 他		-	-
知 多 計		43,290	12,135
高 浜 市		-	-
碧 南 市		11,369	-
西 尾 市		13,154	1,865
そ の 他		×	-
西 三 河 計		×	1,865
蒲 郡 市		2,747	-
豊 橋 市		×	-
田 原 市		10,342	906
そ の 他		×	-
東 三 河 計		×	906

注) ×は統計法に基づく秘匿数値。

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

46 地域別のり生産枚数（暦年）

年	地 域	生産量						生産額 (百万円)
		生換算重量 (単位：t)	板 の り				その他 生重量 (t)	
			生産枚数 (千枚)	くろのり (千枚)	まぜのり (千枚)	あおのり (千枚)		
21	県 計	18,603	495,053	482,367	3,583	9,103	37	4,766
	知 多	12,344	328,170	328,170	—	—	—	—
	西三河	×	×	×	×	×	×	—
	東三河	×	×	×	×	×	×	—
22	県 計	17,160	457,285	439,995	5,369	11,921	11	4,387
	知 多	12,924	344,335	344,335	—	—	11	—
	西三河	3,490	93,075	93,075	—	—	—	—
	東三河	746	19,875	2,584	5,369	11,921	—	—
23	県 計	14,552	387,401	365,227	4,113	18,061	24	3,748
	知 多	11,321	301,271	301,271	—	—	24	—
	西三河	2,332	62,187	62,187	—	—	—	—
	東三河	899	23,943	1,769	4,113	18,061	—	—
24	県 計	15,003	398,591	380,456	4,016	14,119	54	4,042
	知 多	11,794	313,053	313,053	—	—	54	—
	西三河	2,455	65,455	65,455	—	—	—	—
	東三河	755	20,083	1,948	4,016	14,119	—	—
25	県 計	14,836	394,118	374,405	3,175	16,539	55	3,277
	知 多	12,081	320,729	320,729	—	—	55	—
	西三河	1,944	51,845	51,770	75	—	—	—
	東三河	810	21,544	1,905	3,100	16,539	—	—
26	県 計	14,377	382,303	359,883	3,228	19,192	39	4,173
	知 多	11,811	313,913	313,913	—	—	39	—
	西三河	1,706	45,490	45,490	—	—	—	—
	東三河	861	22,901	481	3,228	19,192	—	—

注) 1月～12月

資料：海面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

15年からは、地域別の板のり生産額の統計データは公表されていない。

×は統計法に基づく秘匿数値。

47 地区別のり生産枚数（養殖年）

地区	年度	経営体数	養殖柵数（柵）			生産枚数（千枚）	生産金額（千円）	1経営体当たり			1柵当たり		100枚当たりの平均単価（円）
			支柱柵	浮流柵	計			柵数（柵）	生産枚数（千枚）	生産金額（千円）	生産枚数（枚）	生産金額（円）	
知多	21	219	19,077	50,824	69,901	320,493	3,075,724	319	1,463	14,044	4,585	44,001	960
	22	211	19,060	48,047	67,107	328,312	3,092,079	318	1,556	14,654	4,892	46,077	942
	23	199	18,284	47,049	65,333	279,352	2,951,779	328	1,404	14,833	4,276	45,181	1,057
	24	193	18,344	45,405	63,749	329,673	2,815,920	330	1,708	14,590	5,171	44,172	854
	25	179	17,202	43,687	60,889	325,732	2,606,839	340	1,820	14,563	5,350	42,813	800
	26	159	15,620	41,834	57,454	256,232	3,019,064	361	1,612	18,988	4,460	52,547	1,178
西三河	21	80	23,442	3,640	27,082	106,798	1,060,546	339	1,335	13,257	3,944	39,161	993
	22	55	15,078	1,720	16,798	62,497	546,997	305	1,136	9,945	3,721	32,563	875
	23	42	12,310	1,220	13,530	61,437	639,964	322	1,463	15,237	4,541	47,300	1,042
	24	29	9,916	720	10,636	55,794	568,610	367	1,924	19,607	5,246	53,461	1,019
	25	26	7,892	520	8,412	46,504	511,360	324	1,789	19,668	5,528	60,789	1,100
	26	21	6,533	0	6,533	35,323	451,112	311	1,682	21,482	5,407	69,051	1,277
東三河	21	17	6,518	1,080	7,598	19,285	184,866	447	1,134	10,874	2,538	24,331	959
	22	16	7,110	840	7,950	24,327	234,044	497	1,520	14,628	3,060	29,439	962
	23	14	6,827	744	7,571	20,081	219,124	541	1,434	15,652	2,652	28,943	1,091
	24	14	8,606	696	9,302	22,501	207,338	664	1,607	14,810	2,419	22,290	921
	25	14	8,710	474	9,184	23,035	213,797	656	1,645	15,271	2,508	23,279	928
	26	17	11,500	384	11,884	13,882	125,047	699	817	7,356	1,168	10,522	901
県計	21	316	49,037	55,544	104,581	446,576	4,321,136	331	1,413	13,674	4,270	41,319	968
	22	282	41,248	50,607	91,855	415,136	3,873,120	326	1,472	13,734	4,519	42,166	933
	23	255	37,421	49,013	86,434	360,870	3,810,867	339	1,415	14,945	4,175	44,090	1,056
	24	236	36,866	46,821	83,687	407,968	3,610,614	355	1,729	15,299	4,875	43,144	885
	25	219	33,804	44,681	78,485	395,315	3,632,227	358	1,805	16,586	5,037	46,279	919
	26	197	33,653	42,218	75,871	305,437	3,595,223	385	1,550	18,250	4,026	47,386	1,177

注) 年度は、11月から5月までとした。
 生産は、黒生のり、青ばらのり、青生のりも板のり換算して含む。
 経営体数は、黒のり及び青のり養殖者の合計

資料：県水産課調べ

48 内水面漁業魚種別漁獲量

(単位：t)

年		21	22	23	24	25	26
魚種							
魚類	ま す 類	27	23	19	16	15	15
	あ ゆ	164	144	129	134	105	106
	こ い	5	7	2	2	4	3
	ふ な	5	6	4	1	5	4
	そ の 他	20	12	6	5	4	3
貝類（しじみ）		50	45	37	20	289	188
その他水産動物類		1	1	1	0	0	0
計		272	238	197	178	422	319

注) 小数第1位を四捨五入するため、合計と一致しないことがある。資料：県水産課調べ
「貝類（しじみ）」は農林水産統計公表値による。

49 内水面漁業魚種別生産額

(単位：百万円)

年		21	22	23	24	25	26
魚種							
魚類	ま す 類	47	58	44	39	38	36
	あ ゆ	463	352	310	325	276	281
	こ い	3	3	1	1	2	1
	ふ な	2	2	2	0	2	1
	そ の 他	28	23	16	13	10	7
貝類（しじみ）		31	28	23	13	180	115
その他水産動物類		1	1	1	0	0	0
計		575	467	397	391	508	441

注) 小数第1位を四捨五入するため、合計と一致しないことがある。資料：県水産課が、全国平均単価をもとに推計

50 内水面養殖業魚種別収穫量

(単位：t)

年		21	22	23	24	25	26
魚種							
ま す 類		×	×	×	185	178	190
あ ゆ		960	872	813	848	1,063	1,114
こ い		×	×	×	—	—	—
う な ぎ		7,373	5,002	5,802	4,081	3,140	4,918
そ の 他 食 用	
計		8,566	6,082	6,759	5,114	4,381	6,222

注) ×は統計法に基づく秘匿数値。資料：内水面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）

51 内水面養殖業魚種別生産額

(単位：百万円)

年		21	22	23	24	25	26
魚種							
ま す 類		×	×	×	189	182	200
あ ゆ		1,281	1,280	1,187	1,259	1,760	1,895
こ い		×	×	×	—	—	—
う な ぎ		13,398	9,337	13,234	11,664	10,347	13,873
そ の 他 食 用	
き ん ぎ よ		598	475	683	647	562	512
計		15,490	11,283	15,246	13,759	12,851	16,480

資料：内水面漁業生産統計調査（農林水産省統計部）、県水産課調べ
注) きんぎよは県水産課調べ。その他は、県水産課が全国平均単価をもとに推計。
×は統計法に基づく秘匿数値。
きんぎよは、前年12月1日から当年11月30日までの集計値。

52 観賞魚養殖状況

魚種		年						
		20	21	22	23	24	25	26
きんぎょ	経営体数	142	137	126	119	114	112	103
	養殖面積(ha)	92	88	82	79	76	74	70
	販売量(千尾)	14,933	13,290	11,267	15,646	12,584	10,815	9,195

資料：県水産課調べ

注) 年は前年12月1日から当年11月30日までを示す。
26年から販売量にはすくい金魚も含む。

53 しらすうなぎ池入数量

(単位：kg)

地区		年度							
		20	21	22	23	24	25	26	27
県内産	海部	9	25	2	4	7	8	2	2
	碧海	12	10	5	8	9	4	11	92
	西三河	317	519	340	245	264	112	361	510
	東三河	13	24	9	12	20	5	89	31
	その他	0	0
	計	351	578	356	269	301	129	464	635
県外産	海部	51	48	58	26	45	31	61	45
	碧海	218	497	251	180	235	125	306	181
	西三河	1,857	5,681	1,479	1,105	1,369	817	2,453	2,412
	東三河	427	541	351	272	175	151	313	302
	その他	63	1
	計	2,553	6,767	2,139	1,583	1,824	1,123	3,196	2,941
外国産	海部	0	0	0	0	0	0	0	0
	碧海	240	26	109	228	128	127	133	45
	西三河	3,313	715	2,498	3,606	1,669	1,394	2,580	765
	東三河	0	30	190	53	10	32	45	0
	その他	0	34
	計	3,553	771	2,797	3,887	1,807	1,553	2,758	844
県計	海部	60	73	60	30	52	38	63	47
	碧海	470	533	365	416	372	256	450	318
	西三河	5,487	6,915	4,317	4,956	3,301	2,323	5,394	3,687
	東三河	440	595	550	337	205	188	447	333
	その他	25	35
	うち異種うなぎ	100	0
	計	6,457	8,116	5,292	5,739	3,931	2,805	6,378	4,420

資料：県水産課調べ

注) 26年度からの年度表記は前年12月から当年5月とする。
その他地区については、26年度から調査実施。
26年度からは異種うなぎを含む数値。25年度以前は不明。
小数第一位を四捨五入することにより、合計値と一致しないことがある。

V 流通加工

54 中央卸売市場における水産物の取扱数量・金額、平均価格

取扱数量：t
取扱金額：百万円
平均価格：円/kg

区分		年					
		21	22	23	24	25	26
生鮮水産物	取扱数量	88,644	82,516	76,397	76,069	72,845	70,510
	取扱金額	64,555	61,957	59,752	58,141	57,563	59,314
	平均価格	728	751	782	764	790	841
冷凍水産物	取扱数量	33,844	30,905	29,383	27,756	26,845	24,320
	取扱金額	29,564	28,345	27,786	26,147	27,240	27,877
	平均価格	874	917	946	942	1,015	1,146
加工水産物	取扱数量	45,161	42,077	38,493	36,718	35,902	35,416
	取扱金額	35,001	33,605	31,814	30,816	29,766	30,699
	平均価格	775	799	826	839	829	867
加工食料品	取扱数量	22,668	20,496	17,806	16,318	14,775	14,270
	取扱金額	9,691	9,052	8,536	8,066	7,540	7,558
	平均価格	428	442	479	494	510	530
計	取扱数量	190,317	175,994	162,080	156,861	150,367	144,517
	取扱金額	138,812	132,959	127,888	123,170	122,109	125,447
	平均価格	729	755	789	785	812	868

資料：名古屋市中央卸売市場年報（名古屋市）

55 水産加工品生産量

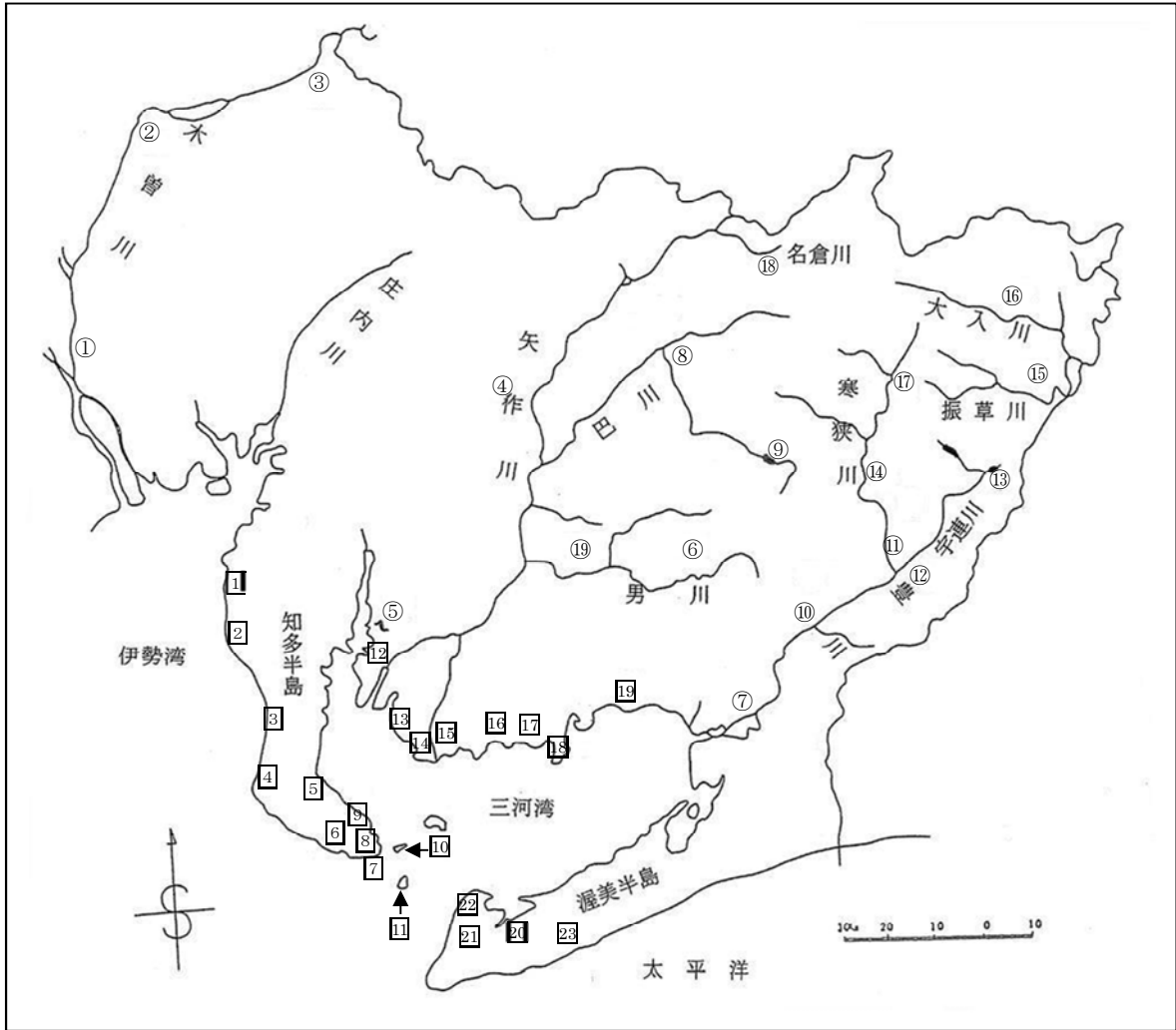
区分		年					
		21	22	23	24	25	26
ねり製	品	27,161	29,257	24,007	23,399	20,543	18,154
かまぼこ類		27,161	29,257	24,007	23,399	20,543	18,154
冷凍食品		11,718	11,736	12,766	12,896	15,789	13,171
素干し品		54	94	74	40	63	48
塩干し品		830	921	1,075	938	778	744
煮干し品		3,776	5,304	5,015	5,815	5,104	6,402
塩蔵品		×	×	2,260	2,423	×	2,350
くん製	品	-	×	-	×	×	×
節製	品	×	3,163	3,233	3,162	2,440	×
その他食用加工品		×	10,922	11,235	11,686	10,498	9,950
焼・味付のり		790,110	728,227	755,802	712,404	631,751	637,368
冷凍水産物		12,717	12,897	10,868	12,023	10,426	11,011

注) ×は統計法に基づく秘匿数値。

資料：水産加工統計調査（農林水産省統計部）

(付 属 資 料)

56 沿海漁業協同組合及び内水面漁業協同組合の位置図



沿海漁業協同組合

1	鬼崎	11	篠島	21	中山
2	常滑	12	大浜	22	小中山
3	小鈴谷	13	西三河	23	愛知外海
4	野間	14	衣崎		
5	美浜町	15	吉田		
6	豊浜	16	幡豆		
7	師崎	17	東幡豆		
8	片名	18	蒲郡		
9	大井	19	三谷		
10	日間賀島	20	渥美		

内水面漁業協同組合

①	立田	⑪	寒狭川下
②	木曾川	⑫	三輪川下
③	愛北	⑬	宇連川
④	矢作川	⑭	寒狭川中部
⑤	油ヶ渚	⑮	振草川
⑥	男川	⑯	大入川
⑦	下豊川	⑰	寒狭川上流
⑧	巴川	⑱	名倉川
⑨	三河湖	⑲	岡崎市
⑩	豊川上		

57 平成27年（平成27年1月～平成28年3月）の主な水産年譜

年	月	日	内 容
27.	2.	26	平成26年度水産試験場研究発表会（於蒲郡市・水産試験場）
	2.	13	『全国一の漁獲量！豊かな海の恵み「あいちあさり」』を知事へPR（於名古屋市・知事公館）
	2.	20	「あいちさり」商標登録
	5.	15	「水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本計画（第7次愛知県栽培漁業基本計画）」策定・公表
	6.	1	「内水面漁業の振興に関する法律」施行令によりうなぎ養殖業の許可制が開始
	6.	20	平成27年度愛知の水産研究活動報告会（於名古屋市）
	6.	27	「金魚の学校」の開催（於弥富市・弥富市総合社会教育センター中央公民館ホール）
	7.	7	藻類貝類養殖技術修練会（於半田市・半田市中央公民館）
	7.	10	愛知県養鰻漁業者協会が知事に愛知県産うなぎをPR（於名古屋市・知事公館）
	7.	28	少年少女水産教室（於南知多町・水産試験場漁業生産研究所）
	7.	30・31	親子あさり漁業体験交流会
	8.	19・20	あいちの農林水産業サイエンスワークショップ（於名古屋市科学館）
	9.	8	漁業士認定式（於名古屋市）
	10.	10	あいちのあさり料理コンテスト（於名古屋市・名古屋文化短期大学）
	10.	18	第2回三河湾大感謝祭（於碧南市）
	10.	21	うなぎ供養・放流祭（於西尾市）
	10.	31	水産試験場公開デー（於蒲郡市・水産試験場）
	11.	1	うなぎ養殖業者が初めての許可の一斉更新
	11.	12～17	あいちの農林水産フェア（於名古屋市・丸栄）
	11.	13	伊藤恵造氏（弥富金魚漁業協同組合長）条列表彰
	11.	14	水産海洋地域研究集会「第11回伊勢・三河湾の環境と漁業を考える」（於名古屋市・名古屋大学）
	12.	11	名古屋大学と共同で金魚の品種「スイホウガン」の体液を用いた動物用培地添加剤の特許を取得（特許番号5849257）
28.	2.	29	平成27年度水産試験場研究発表会（於蒲郡市・水産試験場）
	2.	21	あさりの魅力発信イベント（於名古屋市・金山総合駅）
	2.	27	うなぎの消費喚起イベント（於名古屋市・金山総合駅）
	3.	22	「食と緑の基本計画2020」策定・公表
	3.	28	「愛知県農林水産業の試験研究基本計画2020」策定・公表

58 愛知県の水産業に関する地勢

項 目	数 量	出 典
海 岸 線 総 延 長	668 km	海岸統計 平成27年度版（国土交通省河川局）
法 河 川 延 長	2,983 km	県建設部（28年4月1日現在）
伊 勢 湾 面 積	1,738 km ²	伊勢湾、三河湾及び東京湾の形態と汚染負荷 （西条・宇野木、1979）
三 河 湾 面 積	604 km ²	

動向調査資料 No.165 水産業の動き

平成 28 年 9 月発行

愛知県農林水産部水産課

〒460-8501

名古屋市中区三の丸三丁目 1-2

電 話 (052) 961-2111 (代表) 内線 3791・3792

(052) 954-6461 (ダイヤルイン)

F A X (052) 951-1645

E-mail suisan@pref.aichi.lg.jp

Home page <http://www.pref.aichi.jp/suisan/>



この用紙は、間伐材印刷用紙です。



あいちの四季の魚

